



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

7 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2006.7.1 発行
第 36 巻 第 1 号通巻 409 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
- 国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
- アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
- 京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長	井上 彰
副会長	西川寿一
副会長	平井久夫
書 記	堤 雄次
書 記	平野雅幸
会 計	山本一博
会 計	小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間

聖句

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

Kick-off / EMC-C

ヨハネによる福音書 第 1 章 1 節

『さらなるクラブ活性化のために』



第36期 会長 井上 彰

いろいろな社会的変化を受けながら、パレスクラブは 35 年もの歴史を作ってきました。価値観も年齢も異なるメンバーが奉仕活動をしています。今期「さらなるクラブ活性化のために」という標語を設定し、クラブの運営に取り組んでいきたいと思っています。

そもそもクラブの活性化とはクラブメンバーひとりひとりが高い意識を持ち、例会や奉仕事業に取り組むことなのです。全ての行動をクラブに、と言うことは出来るはずありませんが、個人が今より少し価値観を上げていただければ、クラブは確実に活性化されるはずです。Y's の本質を理解するようなオリエンテーション等の事業を継続的に行うことが必要になってきます。奉仕クラブの枠組みがあるために大きな改革は出来ませんが、ひとりひとりの自己研鑽によってクラブの活性化がうまれます。

メンバーのコミュニケーションも重要です。お酒を飲みながらの親睦もひとつの方法ですが、いろんな意見を交わして、自己の人生観、価値観を話すことも特に必要なことだと思うのです。少しでも高い意識を持って例会、奉仕事業への参加をすることがクラブの活性化につながります。

「私も参加しますから、メンバーの皆さん いっしょに参加しましょう」の思いでこの一年間努力しますので、メンバーの皆さんよろしく願いいたします。

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
6月第1例会	14名	6月第1例会	0円	切手	PT	月	円
6月第2例会	44名	6月第2例会	2000円	累計	円		
在籍者数	47名			現金	129000 PT		
出席率	96%	累計	343120円	累計	129000 円	累計	994534 円

6月第1例会（西日本区大会）（第841回例会）

日時 2006年6月10日11日

場所 名古屋国際会議場

隠塚 功

6月10日・11日、西日本区大会が名古屋国際会議場で行われました。パレスクラブからは為国会長、井上次期会長をはじめ、西日本区監事の大野君など合計13名が出席し、京都部の他クラブのメンバーや金沢クラブ、東日本区理事の浅見さんなどとの交友を温めました。

大会は、何と3000人が収容できる大会場、また懇親会は4階まで吹き抜けとなっているイベントホール。何もかもがスケールの大きさを感じるものでした。山代温泉で西日本区大会を私たちがホストしてから早や2年。今回西日本区大会に出席し、改めて当時が懐かしく思い出され、つい、あの時自分たちが行っていたことと、比較をしてしまいました。

なお今年パレスが受賞した西日本区アワードは6つ。その一つがノドロップ賞であり、この受賞は京都部でも2クラブだけ。メンバー増員もさることながら、退会者がいないことが一番の誇りです。皆さん一年間クラブへのご協力ありがとうございました。



6月第2例会（引継例会）（第842回例会）

日時 2006年6月28日

場所 京都ブライTONホテル

杉本泰造

35年の掉尾を飾る引継ぎ例会が6月28日(水)6時より開会されました。

「視点を変えよう。自分たちのためのクラブライフ」を会長標語にこの一年、パレス・ルネサンスとも云える、クラブの活性化と、自己の熱き信念と理念を達成された為国会長は、類いまれなきポテンシャルを備えている。

例会のプログラムは先ず、今期6人目の入会になる笹山直世君と金村孝一君両名の入会式から始まりました。何年振りかのメンバー増強でクラブは活気に満ちてきています。これも為国会長の魅力あるリーダーシップがメンバーの共感を得たものでしょう。パワーポイントによる一年の歩みも懐かしく思えアット云う間の一年でありましたが、特に35周年記念例会はメンバーが一丸となって取り組み、理想のコンセプト持って臨んだ記念例会でした。出席された方々から高い評価を得ました。

引継ぎ例会お楽しみみの三役によるショーやバンドは無く、プログラムは静かに進められ、YMCA同盟よりYMCA会員25年表彰を杉本、西中、安岡、各ワイズが受賞しました。いよいよ西日本区アワードの発表となり、今期は久しぶりに6個のアワードを受賞しました。

>>>次ページへつづく

特にEMC優秀クラブの受賞は最優秀クラブとして誇りを持って歩みたいものです。クラブアワードでは、EMC貢献賞を大野、高田、両ワイズが受賞。お二人は各々が2名の入会者を獲得しました。ご立派です。最優秀新人賞にはチャリティランで焼きそば200食を一人で焼いて売った福井ワイズが受賞、バイタリティ溢れた活躍がこれから期待されます。優秀ワイズメン賞には河合、三尾、平野、各ワイズが受賞。ご三名のワイズ活動に休みは無い。そして最優秀ワイズメン賞には、昨年に引きつづき岡見紫ワイズが受賞。二年つづいての受賞はパレス35年初めての快挙であり大いに喝采を送りましょう。

プログラムも為国会長から井上彰次期会長への引継ぎになりました。夫々の役員がそれぞれの役を終え、又新しい役員が生まれ、メンバーが等しく機会を与えられ研鑽していく。そこにパレスクラブの素晴らしさがあります。

最後に為国会長の自分の思いを素直に語ったスピーチは、感動を覚える最後の会長挨拶でありました。次なるステップに期待の大きい為国光俊ワイズです。

尚「西日本区アワード」はEMC優秀クラブ賞・EMCノンドロップ賞・青年会員獲得賞・出席率90%達成賞・BF目標達成賞・IBC締結クラブ賞でした。



第35期 為国会長キャビネットの皆さん
1年間おつかれさまでした & ありがとうございました！！

最優秀ワイズメンズ賞をいただいて

岡見 紫

昨年に引き続き今年も結構な賞を頂き驚いております。勿論非常に嬉しいのですが、他にも頑張った方が、何名もいらっしゃるのにと、すまなく思っております。昨年頂戴した時はなんの賞を頂いたのか瞬時には理解出来ず「これってなんの賞？えっ、最優秀ワイズメンズ賞？なんで私に？」とろたえたことを覚えております。

昨年頂戴したのはもう少しワイズの活動を頑張れとの叱咤激励と思いましたので、35期では地域奉仕委員長と35周年プログラム委員長を拝命し私なりに精一杯務めさせて頂きました。が、この様な栄えある賞を頂く程の仕事をしたかと言うと自信がございません。この賞は助けて頂いた会員の皆様のお蔭で頂けたと思っております。

今年の4月で入会して丸6年が経ち、覚えの悪い方なので、やっと少しワイズの事が判ってきた様な状態です。35期地域奉仕委員会では一年間の活動を毎月の議案から結果・報告まで全てを参考資料として残す様務めました。全ての行事が毎年一緒ではないのですが、新入会員でも直ちに事業を理解し奉仕活動に参加出来る様になればとの思いからの資料作成です。

古い会員には例年の事でも新しい会員には全て未知の事、これを忘れないでいたいと常々思っています。今期の田宮委員長にその資料を託した処一年の活動をほぼ把握され、より充実した活動の為張り切って下さっている様で嬉しく思っております。

35周年は河合実行委員長をはじめ皆様に助けられ、なんとか格好がついたと感謝の念で一杯です。その活動を通じてパレスの歴史、先輩諸氏のご尽力を改めて学び、良いクラブに入っているのだなどの想いを更に深く致しました。

また為国会長のリーダーシップと、平野ワイズをはじめ若い会員の実行力にも感動致しました。予算が潤沢とは言えない周年事業でしたが、手作り皆が参加協力したという実感の残る記念例会になったのではと感じております。若さ溢れる仲間も増え、パレスは35年を期により一層パワーアップしたのではないのでしょうか。会員数のみではなく名実ともに日本一のクラブになる様世代の差を越え、手を取りあって頑張りましょう。

議論大いに結構、そのあたりの仲良しクラブでない奉仕クラブであって欲しいと願っております。グローリーハレルヤ、京都パレスワイズメンズクラブ！

1年を終えて

第35期会長(直前会長) 為国光俊

1年間、また役員の皆様にとっては、準備期間を含めて1年半のあいだ、メンバーの皆様のお支えによりまして35期の会長職を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

引継例会の最後の挨拶では、柄になく熱い思いがこみ上げてきましたが、Nワイズの「ためにや！」の絶妙のタイミングのかけ声に助けられ、気持ちが落ち着いて最後まで締めくくることが出来ました。振り返って心に残ることは、このようにメンバーの皆さんに助けていただいたことばかりです。

私のこの調子のエエ性格を理解くださって、うまく持ち上げていただいたり、勢い余って少々とんちんかんなことをしても、やんわりと諭してくださったりと、私の性格をよく見抜いていただいて、会長職を全うできるようにと、温かく、ときには厳しく見守っていただいたのでは、と思っております。これからは、少しずつお返しをしながらクラブライフを楽しんでいきたいと思っておりますので、今後とも、よろしく願い申し上げます。



第9回東日本区大会

日時 2006年6月3、4日
場所 仙台国際センター
高岡 昇

6月3日(土)、4日(日)の二日間に亘り、宮城県の仙台国際センター、ホテル松島大観荘にて、第9回東日本区大会が、500余名の参加を得て開催されました。仙台国際センターで各種会議、セレモニーが行われ、午後7時より、日本三景、松島を一望できる、ホテル松島大観荘に会場を移して、晚餐会、フェローシップアワーへとプログラムが進みました。晚餐会では先日NHKでも放送されていた今年の津軽三味線全国大会の優勝者である、宮城県出身の高校三年生、浅野 祥さんの生の演奏を聴くことが出来ました。生の太棹の音色に会場は酔いしれました。

会場では浅見東日本区理事のホームクラブであり、パレスクラブのDBCでもある東京グリーンクラブのメンバーは勿論、もうひとつのDBCの熱海クラブのメンバーとも交流を深めることが出来ました。メンバー11名、メネット2名の参加、有難うございました。



第36期 役員抱負

人間愛に満ちたクラブ造りを

副会長 西川寿一

私達は過去36年間、お互いが人間としての成長と、より良き社会人としての品性と人格を磨く傍ら、謙虚に自己を見つめるための共通の場としてパレスクラブを定義づけてきました。そして小堀理論を継承し、親睦を大切にし、そこから生まれたエネルギーを、YMCAや地域社会に奉仕する事を基本として活動してきました。今期井上彰会長は、YMCAのサービスクラブとしての活動をより一層強化しようとされています。その活動を通じて互いに切磋琢磨して、人間性を高める事がクラブ全体の資質を高める事につながり、すばらしい人間集団を作り上げていく事になるのではないのでしょうか。すばらしい人間集団・仲間にはすばらしい人が集まってきます。人間愛に満ちた楽しいクラブ造りを目指してこの一年間、微力ですが井上彰会長をサポートし、三役一丸となって進んでいきたいと思っています。

自己研鑽の場として

副会長 平井久夫

2007年は同期の仲間の多くが定年を迎え、社会の第一線から退くそんな年となります。しかし私は、今やメンバー数が50名に達しようかとする、大変活気に満ちたパレスクラブの副会長を仰せつかりました。大変光栄に思います。彰会長を先頭に三役がガッチリとスクラムを組んで更に前進をしなければなりません。スクラムの方向をコントロールするのは、側面からの力が何よりも大切だと思います。その側面のポジションを西川副会長にお願いし、私はその後方を支えられればと思っています。貴重な自己研鑽の場を与えていただき有り難うございます。この機が私の人生の福となれば幸いです。

書記として

書記 平野雅幸

今期書記を仰せつかりました平野です。僕がクラブに入会して間もなく4年になろうとしています。書記の役割は実は2度目で、前回は入会して半年での書記でした。そのころは「まだ入会したての新人なもんで」とか「わかりません」というのが通用していました。(メンバーの寛大な心によるものでしょう)そのときの相方は河合さん。Kアニキにはずいぶんと助けてもらいましたし、いろいろなことを習いました。そして今度の相方はそのときの会長をつとめた堤さんです。いうなればオヤブンですね。オヤブンは困ったことがあると「そんなん、やめたらええやん」と、とてもシンプルかつ決断が早いので頼りになります。でも相方やめてもらったら困るので、ガンバリマス。冗談はさておき、今までの経験を生かし書記という仕事を通じて、円滑なクラブ運営に貢献できればと思っています。どうぞ楽しい一年でありますように。

第二書記をすることになりました

書記 堤 雄次

一年間よろしくおねがいします。今までに書記はやった事が有るような気もしますが、あまり印象に残ってない?・・・という事は、もう一人の書記が優秀な人物で何もかもやってくれていたのでしょうか・・・と思います。書記業務も時代の流れでパソコンをうまく使いこなせなければ、チョットと言うより職務を遂行できません。そこで今回はパソコンと〇〇〇を触らせたならパレスでトップクラスの平野君とコンビなので、パソコン迷人としては心強いかぎりです、ちなみに私も▲▲▲を触るのはパレスでトップクラスと思います。最初は皆さんイライラされるかもしれませんが、そこんどこヨロシク!!一年後には、おそらく迷人から名人へ変身してる可能性も・・・まあ無いと思いますが、よろしくおねがいします。

鍛錬の場?

会計 小林千春

「千春ちゃん、三役してくれへんか?」と、ムーンシャイナーにて井上会長、平野書記、一博会計のヨット三兄弟から膝を詰めて言い寄られ(脅迫による受任の強要)、さらに「三役やったら、夜遊びに出やすいで～」という悪魔の囁きもあったりして(誘惑による受任の強要)、下心満載で三役のお話をお受けしたのが去年の9月ころでした。ところがその後、夜遊びの出やすさに心配りをする必要がなくなり、ボクにとって三役を受任した意義の大半が失われたわけですが、だからといってお断りできるはずもなく(脅迫部分が生き続けている)、せめてメンバーのみなさんから受領した会費をその夜の飲み代に費消してしまわないよう自己鍛錬するべく、会計として頑張ろうと決意している次第です。冗談はさておき、個人的には適正且つ迅速な会計処理を目指したいと考えています。1年間、「井上丸」をよろしく願います。

会計です

会計 山本一博

今期は会計の大役を仰せつかる事になりました。大事なクラブのお金を預かる訳で、大変身が引き締まる思いであります。まずは当たり前ですが、正確かつ迅速に会計処理を行う事。それを役員会などでメンバー各位にフィードバックする事。当面はこの2つに全力を注いで参りたいと思います。そうした事に一所懸命取り組んでいるうちに、少しずつクラブ財政についての提言やアイデアが出来る様になる・・・そんな風に自分なれたら良いなと思います。どちらかと言うと得意ではない会計の仕事ですが、これも自己研鑽とあって精一杯頑張ります。よろしくお願ひ致します。

Yサ・ユース委員長として

Yサ・ユース委員長 吉岡明彦

今期井上会長よりの熱心なご依頼により、前期のファンド委員長に引き続き、Yサ・ユース委員長を務めさせていただくことになりました。Yサ・ユース委員会というワイズメンズ活動においても中心となる委員会の委員長をご指名頂き、非常にありがたく感謝するとともに、その役目の重要さに緊張をしております。

>>>次ページへつづく

非力な委員長を支える委員としまして、前期に引き続き山岸ワイズに副委員長をお願いすると共に、大野委員・川上委員・小櫻委員とYMCAから阿部委員と非常に頼もしい方ばかりで安心しております。各委員の皆さんと楽しくしっかりとした委員会を目指したいと思っております。委員長としましては、YMCAのサポートクラブとして各行事にみなさんの積極的な参加が出来ますように、各委員のみなさん・メンバーのみなさんと進んでいきたいと思っております。みんなが喜んで参加協力できる行事をみんなで作っていきましょう。非力な委員長に、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

地域奉仕委員長を拝命し

地域奉仕委員長 田宮慎治

昨年2月当パレスに入会した私に、井上会長より「田宮君、地域奉仕委員長を受けてくれませんか?!」の依頼を受けた際、正直「何故に私が・・・」と驚愕いたしました。しかしながら、入会し、何か私に出来る事は?!と考えると、これも「天命」と善意に考え応諾した次第であります。

36期の事業方針としましては、基本的に例年の奉仕事業活動を踏襲していきますが、5月6月と開催した準備委員会のメンバーにより、奉仕活動精神の原点というべき「金、物」には拘らない奉仕活動への参画を!!!という意見を頂戴しており、積極的に取り入れて行きたいと思う所存であります。また前期単年事業であった「共同作業所・どうぞ」へもランチ委員会開催の利用等で支援を継続して行きたいと考えております。他の事業委員会でも利用を是非お願い申し上げます。私の出来る範囲で精一杯勤めたいと思っております。若輩者ではありますが、御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

EMC委員長の抱負

EMC委員長 杉井恭敏

我がクラブの会則の序文にクラブは「親睦の内に素晴らしい人間を創るための、愛にもとづく自己研鑽の場である。」さらに「京都パレスワイズメンズクラブとしての、強い自覚と人間愛の拡がり、クラブの灯が谷間の裾野に迄とどくように、友愛と結束の輪が永遠に続き～」とあります。私達の先輩はなんと素晴らしい言葉を残してくれたのでしょうか。この理念を大切にこの1年下記の事を目指し、質、量共日本一のクラブに成るべく皆さんのご協力をお願いします。

①例会出席100% (他クラブのメイキャップ含む) ②ノンドロップ ③新規入会会員5名 ④リトリートセンターでの一泊オリエンテーションの実施 ⑤EMC例会(メンバースピーチ)の実施新人への目配り、気配り、心配り
皆でナンバーワン、一人一人はオンリーワンを目指そう!

交流委員長として

交流委員長 小西孝典

今期の交流委員会は、IBC・DBCのブラザークラブとの交流の充実を図る中で、クラブ内外の親睦の活性化を向上させる事を事業方針としております。実際には、昨年度パレスクラブの35周年記念式典に訪問頂いたブラザークラブへのお礼の意味を込め、IBCではインチョン・チェムルポクラブ40周年記念式典出席を中心に考えております。また、DBCでは東京グリーンクラブ(神田川船の会)訪問・熱海クラブを中心とする富士山部ホストの東日本区大会訪問を中心に考えております。上記活動だけではありませんが、色々な訪問や交流を通じメンバーの皆さんにIBC・DBCの楽しみと意義を理解して頂きクラブ内の親睦を活性化させ、メンバーのワイズメンズとしての意識向上に繋がればと思っております。そして、特に今期は委員から派遣補助費に付いて、貴重なクラブ費用の補助を頂いているのだから、何かの責任義務が発生するのではないか?との声があがり、レポート提出などを含め何かの形での義務履行を、検討・協議して行きたいと思っております。何だか話しが硬い方向に行ってしまいましたが・・・ぶっちゃけ、色々なメンバーの皆さんと一緒に楽しく賑やかな交流活動を行いたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。

ファンド委員長です

ファンド委員長 高田 敦

ファンド委員長・・・井上彰会長は何故か私をファンド委員長に指名された。自分の商売でもうまく金儲けできていない私にクラブの資金集めが出来るのか?複雑な思いの中、「よろこんで!」引き受けました。私もまだ入会して3年目でファンドの事はよく理解していませんが、私なりにいろいろ考えファンド委員と共に例年になく斬新なファンド委員にしようと思っております。妙にテンションの高いメンバーもファンド委員の一員になってくれたので、私自身36期もテンション高く、「年中夢中」で頑張っていきますので、メンバーの皆さん、ファンド委員を一つよろしく申し上げます。

広報委員長を請けてしまいました！

広報委員長 森田美都子

パレスクラブのブリテンがIT化されノンペーパーになって三年。広報委員長は特殊技能つまりITに関するプロでなくては不可能な委員会と、別世界扱い委員会となりつつあったところへ、今期パソコンだめだめ人間の私が栄えあるモルモット実験材委員長として仰せつかるハメ？に・・・。

「パソコンが得意でなくても委員会メンバーと担当三役がしっかり技術面をサポートしてくれば絶対出来る」のささやきに、一瞬悪夢と感じつつも“今期私が引き受ける事で、だれでも出来る広報委員長と間口が広がるきっかけになれば”と請けてシマッタ！どんな実験結果がでるやら・・・。36期広報委員会の皆さん方と担当三役さんにただひたすら教を請うのみです。

ドライバー委員長としての抱負

ドライバー委員長 田中一馬

36期は、ちょっとゆっくりさせてもらおうかなと思っていたところに、井上会長から電話がかかってきた。そういう時期であったこともあり、「あー委員長の要請やな？」とピンときた。「ドライバー委員長をお願いします。」と言われたが、断わる理由がなかったので気安く引き受けてしまった。「委員長選びも大変そうやし、まあええかっ」って感じであった。案の定4月の準備役員会はすっかり忘れて東京出張にいてしまい欠席、5月の準備役員会は普通に出席したものの、6月は偏頭痛に襲われ急遽欠席してしまった。こんなんで大丈夫？と自問自答しているが、幸い平井副委員長をはじめ、支えてくれるスタッフは強力なので、どうにかこうにか乗り切れそうな予感はある。とにかく事業方針にも書いたように、なんとか楽しい1年にしたいなあと思っている。最後に皆さんにお願い！「ええゲストスピーカーがいたら紹介してなあー」

財務委員長としての抱負

財務委員長 西枝 攻

パレスクラブは日本のワイズの中で数、活動全てにおいてダントツの力量を今の所は有しています。しかしクラブ設立から35年が経過しました。今から5年前、財政の仕組みを改め始めました。その際、奉仕クラブの財政は如何にあるべきか？財政活動の面からクラブ活動の原点を見直そうとしました。財政の仕組みは一段落しました。今期はそれを通して、老年、壮年、青年の各層の力の有機的活動の基盤を作ろうとえらい大層なことを考えています。多くのメンバーが集い、パレスの今後を語りあいましょう。当面の切り口は財務です。半期総会にはなんらの提言が出来るように、委員会を開催します。オープンな議論に参加することを通し、あなたの思いをクラブ活動に反映させてください。

以上が第36期井上彰会長を支える三役、委員長です。皆さん、よろしくお願い致します！！

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

BERGAMO (ベルガモ)

安達 雅直

皆さんは「ベルガモ」と聞いてまず一番先に何を思いつくでしょうか。皇太子妃雅子様が愛用されている高級靴でしょうか。「ベルガモット」という、ストレスを和らげる効果のあるアロマオイルでしょうか。このどちらもイタリア・ロンバルディア州にある BERGAMO(ベルガモ)という街が名前の由来となっています。今日は私のお気に入りでもある、このベルガモの街をご紹介したいと思います。「ベルガモ」はミラノから電車で1時間程に位置し、一つの街に滞在しながら数百年ものタイムスリップが体験出来る、とてもユニークな街です。ベルガモの駅を中心に広がる、都会的な建物が並ぶ新市街地。その街からも見える丘に広がる、歴史的な中世都市。この二つを結ぶ道を歩けば、イタリアが長い歴史の中で作り上げてきたものを走馬灯のように見ることが出来ます。この道を人々は何のような思いで通るのでしょうか。皆さんの足で、肌で、そして心で体験してみてください。

>>>次ページの写真をご覧下さい！

「ホテルから望むチッタ・アルタ」



>>>次回は「元京都部部長のオススメ」です。お楽しみに。

お知らせ

役員会報告

第35期関係

第1号議案 笹山直世君、金村孝一君入会の件・・・承認。引継ぎ例会で入会式

第2号議案 35期下半期事業報告の件(会長)・・・承認。

第3号議案 引継ぎ例会の会費の件・・・メネット、ゲスト8000円で承認。

第36期関係

第1号議案 各事業委員会の事業計画と事業予算の件・・・承認。

第2号議案 年間スケジュールと予算の件・・・承認。

第3号議案 7月納涼例会の件・・・メネット、ゲスト会費は7000円で承認。

第4号議案 財務委員会公募の件・・・公募締切後必要ならば三役より依頼で承認。

7月のスケジュール

1日(土) 18:30	キックオフ研修会	2日(日) 9:00	サバエワーク
5日(水) 19:30	7月度役員会	12日(水) 19:00	7月第1例会(定時総会)
26日(水) 19:00	7月第2例会(納涼例会:上七軒歌舞練場ビアガーデン)		

Happy Birthday

1日: 堤良枝メネット	5日: 三尾啓君・田宮慎治君	8日: 西村道隆君
9日: 瀬戸伊佐雄君	13日: 山岸百代メネット	18日: 金村孝一君
19日: 山本一博君	20日: 瀬戸智恵子メネット	25日: 杉井恭敏君
27日: 岡本圭司君・平井千香子君		30日: 安岡忠男君

Happy Anniversary

11日: 高田敦・由美ご夫妻	23日: 山本一博・智子ご夫妻
----------------	-----------------

YMCA NEWS

1.YMCAサマープログラム参加者募集中！

キャンプ・短期集中スイミングクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。

各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

電話 075-231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

2. オリエンテーション講座のご案内

～京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために～

正会員としてYMCA運動を積極的に担っていこうという意欲のある方を対象に、YMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2006年7月28日(金) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館 202号室

対象 京都YMCAに入会して3年以上の方、またはキリスト者で正会員としての志のある方

お申し込みは申込書に記入のうえ7月20日(木)までに受付またはFAX・E-mailにてお申し込みください。

お問い合わせ 電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 E-mail:kyoto@ymcajapan.org

3.平和のつどいのご案内

とき 8月4日(金) ところ 京都YMCA 三条本館

お問い合わせ 電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 E-mail:kyoto@ymcajapan.org

編集後記

今期の最大目標である「期日に必ず発刊する」を初刊はクリア。力強いメンバーのサポートのおかげです。一年間よろしくお願ひします。(委員長・森田美都子)

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会

委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

8 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2006,8.1 発行
第36巻 第2号通巻410号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
- 国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
- アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
- 京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会長	井上 彰
副会長	西川寿一
副会長	平井久夫
書記	堤 雄次
書記	平野雅幸
会計	山本一博
会計	小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間

Youth. Activities. Yeep Step

聖句 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書第5章9節

「サバエ開設ワーク」

Yサ・ユース委員長 吉岡明彦

7月2日早朝よりの豪雨のなか、その日は始まりました。豪雨での中止も考えられる程の雨も、ワークが始まり作業が進むうちに上がり、心地よい琵琶湖からの風がほほをなでる絶好の作業日となり、ワークでほてった体を冷やしてくれました。キックオフの翌日、36期初の事業に対し例年にも増して多くのメンバー(16名)に参加していただきました。作業は草刈を中心に各人がそれぞれの場所で昼食の時間も忘れてしまう程熱心にあたり、うっそうとした雑草がすっきり刈り取られ、その成果はYMCAのスタッフもビックリ、作業終了時点には辺りの景色が変わるほどでした。

YMCAのかわいいスタッフの作ってくれた、様々な味のカレーを楽しんだ後、その場にあったギターを利用して井上会長と川上次期会長との即興のジョイントミニミニコンサートが行われました。食堂はまるで、コンサート会場に変わり、参加メンバーが二人の演奏に一体化し参加メンバーの拍手喝さいが時間を忘れさせてしまうほどでした。参加メンバーの特権で楽しい時間を共有できました。36期井上丸の船出にふさわしい素晴らしい開設ワークでした。

YMCAがサポートする「青い海と白い雲のキャンプ」、これは一昨年からはじめた慢性疾患があり今まで自然体験が出来なかった子どもたちの為のキャンプです。夏の間、サバエキャンプ場において子どもたちが貴重なひと時を過ごし、多くの夢を持って成長することができる。健康な子どもたちだけでなく、多くの子どもたちへの貴重な体験の場となるサバエキャンプ場への積極支援として、YMCA サポートクラブである我がパレスクラブは、今後も開設ワークに取り組んで生きたいと思えます。



例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
7月第1例会	37名	7月第1例会	16,000円	切手	0PT	7月	7,770円
7月第2例会	40名	7月第2例会	10,000円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	95.9%	累計	26,000円	累計	0円	累計	7,770円

7月第1例会（定時総会）（第843回例会）

日時 2006年7月12日
場所 京都ブライトンホテル
永井 孝

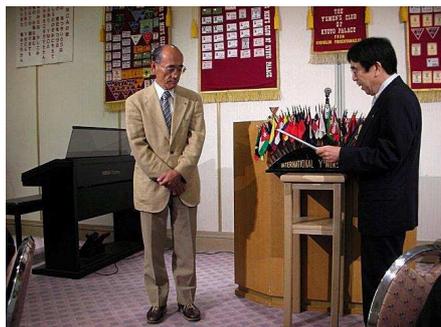
汗をかく、特にワークでかく汗をこれからの一年間大切に努力していきたいと井上彰第36期会長の初挨拶。しっかりと前を見据えての挨拶でした。

2006年～2007年度西日本区ご協力者として奈良傳賞資格審査委員会委員、JWF管理委員会委員を大野君、クリスチャニティ委員会委員として杉井君。ワイズリーダーシップ開発委員会委員として為国君が森本榮三西日本区理事より委嘱されました。一年間誠にご苦労様です。

第36期定期総会は井上彰議長のもと会員総数49名の内出席者34名委任状4名で開会。35期の事業報告、会計報告を為国第35期会長、谷口同会計にてスムーズに承認。オッと一言有り「事前に参考資料を配布し全員が目を通した後に事業報告をすべきではないか?」との杉本御意見番の御言葉。まことに正論。こういう人がいなければクラブは面白くない。但し、資料を先に見ればとても総会は50分で終わることは、なさそうですね。

会計報告に西村君が「繰越金の減り方が大きいので心配だ」との意見。同感です。井上彰会長減ると寂しいのであまり減らさないでね。36期事業計画案・予算案は井上彰会長のもと各事業委員会委員長、小林会計にてこれもスムーズに行く予定でしたがやはり一言「前からいっとることだが年間スケジュールの承認を受けた後で各事業報告の承認を受ければスムーズに行くんだがね。」とのこれも杉本君の二言目。おっしゃるとおり。彼はこのクラブにとっては、とても大切なメンバーです。又、宮本君から「YMCAへの関わりをメンバーがもっと増やせば良い。例えば、会員講座への参加とか。又、地域奉仕事業委員会へは和敬学園へのサポートだけでなくもう少し幅広い人達への事業を考えればいかが?」との意見。

今総会は例年以上に会員の熱心な反応があった為、時間を20分もオーバーすることとなりました。井上彰会長がこの熱い心を大切に一年間快い汗とそれから生まれるより良き結果をメンバーと共に得られますように。



7月第2例会（納涼例会）（第844回例会）

日時 2006年7月26日
場所 上七軒歌舞練場ビアガーデン
宮本 隼史

江戸八百八町、難波八百八橋、京八百八寺と言われるが、京の寺は千百は有ると数えられている。その内、約五十ヶ寺に椿寺、ひょうたん寺、六角さん、だるま寺など通称で呼ばれている寺が有る。その一つに「ちゃくれん寺」と近隣の人々から親しまれている寺が千本今出川に有る。石碑には豊公遺跡 湯たく山 茶くれん寺 浄土院と刻まれている。太閤秀吉が立ち寄った際、茶を所望したが、院の僧が秀吉は茶の達人である事を知りながら、茶を提供せず「さゆ」ばかりでもてなしたとの謂われが有る。

寺から約二丁西に花街上七軒が有り、昭和二十七、八年に改築された歌舞練場の回遊式庭園がビアガーデンになっている。十五世紀中ごろ北野天満宮の一部が焼失し、その修造の際に残った用材を払い下げてもらい、七軒の茶屋を建てた。天正十五年(一五八七年)に秀吉が北野大茶会を催した七軒の茶屋を休憩所として使用、その功績で茶屋株を得、今日まで続いているのが上七軒で、京都五花街で一番歴史が有る。

大きな被害を全国にもたらした記録的な集中豪雨で空模様が心配されたが、例会日当日だけは夏空で芸妓、舞妓さんの接待でガーデンでのビアパーティーは盛り上がった。太閤さんの北野大茶会に負けず劣らずの感、宴の半ば皆さんと話をと席を外そうとした時、小生に無粋なトラブルが発生、宴のお被楽喜前に中座した。

>>> 写真は次ページ



キックオフ研修会

次期会長 川上孝司

2006年7月1日第36期キックオフ研修会JR二条駅弥生会館において行われた。開会は少し遅れたが、西川副会長の司会で開始された。

最初に井上彰会長の初心の挨拶を受け、各事業委員会の活動計画と委員長の熱い思いが発表された。特にEMC委員長は、今期中にメンバー数日本一を達成することを表明、Yサ委員会では、YMCAへの協力体制を深めオータムフェスタへの全面協力を打ち出すなど、今までにない計画が発表された。他の委員長からもしっかりと活動計画が発表された。

懇親会は、井上会長の乾杯の音頭で「いただきま〜す」。今36期はみんなの期待を受けこうしてスタートしたわけであるが、うまくいか行かないかは、みんなが会長のことがどれだけ好きでいられるか、また会長が方針をしっかりと見据え、みんなを楽しい所へ引っ張って行ってくれるかにかかっている。

さあ、この一年井上彰会長と共に、有意義で楽しい時間を過ごそうではないか。



入会抱負

笹山 直世

この度、京都パレスクラブに入会させて頂く事となりました笹山直世と申します。現在、南区の上鳥羽の方で株式会社タモツ紙工という紙製のパッケージメーカーを、経営させて頂いております。

まだ数回ではありますが、例会へ出席し、メンバーの方々とほんの少し同じ時間を過ごさせて頂く事が出来、一番感じた事がエネルギーの強さでした。「みんなで何かを成し遂げていく力・・・良い！！」という事で入会を決めさせて頂きました。自己研鑽の精神を肝に銘じ、色々な事にも積極的に参加して行こうと考えております。

入会をご快諾頂きましたメンバーの方々に感謝致しますと共に、諸先輩方のご指導・ご鞭撻、宜しく申し上げます。又、パレスクラブを紹介頂きましたウエストクラブの高野さんと、我父に感謝致しております。



入会抱負

金村 孝一

アーキレックス設計事務所の三尾氏の紹介で京都パレスワイズメンズクラブに入会させていただきました(株)成工建設の金村です。入会する際にオリエンテーションで京都パレスワイズメンズクラブの今までの成り立ちをお聞きして感銘を受けたことができ、微力ながらも貴クラブの力になればよいと、思っています。

会社の紹介ですが、内装業ということでしたが、やさしい街づくりというキャッチフレーズで、住宅、ビル、マンションの新築・増築・改装となんでもやっております。

私個人の紹介ですが、京都の伏見で生まれ、伏見で育ち、伏見で仕事をやっております。大学は京都の学校は無理で、大阪の学校に行っておりました。性格は第一印象が少し恐ろしいとか、暗いとか思われるのですが、本当は明るい方だと思います。簡単な説明でしたけれど、これからも宜しくお願いいたします。



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

夢はハイシニアソフトボール世界大会へ・・・早く来い68才

杉井 恭敏

午前5時起床。早速ソフトボール片手に宝ヶ池運動公園へ。壁に向かってボール投げをすること1時間。右手で30分、左手30分。どちらでも投げられるように鍛える。午前6時、場所を宝ヶ池から車で10分の柘野運動公園へ移動。ここでチームメイトが10名近く集まる。バッティング、守備練習に1時間、たっぷり汗を流す。

水曜日、土曜日は午前6時から他クラブと練習試合。7時半には仕事があるので終了。平均年齢55才。所属クラブは入部2年目の桃園クラブ。主に西陣学区の人が多い。ソフトボールは結構重たいので、非力な私はなかなか飛ばないが、年上の人でもガンガン飛ばす人もいます。筋力がほしい(金力も)。

私はもっぱらライトの守備で、チームの居場所を確保している。回転レシーブもOK。これが私の朝の日課です。60才になって気づきました。もっと早くからやっておけばよかったと。55才半ばまでは家族のために、それ以降は自分のために準備しよう。明るい老後のために。68才からの世界大会まであと6年、73才まで連続出場目指して頑張るぞー。メンバー募集中です。



>>>次回は誰に?? 乞うご期待!!

奉仕クラブの基本原則(第1回)

「奉仕の心」について

(第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

8月号～来年4月号までの9回にわたり小堀憲助氏の講演録をブリテンシリーズ化してお届けします。多方面で小堀理論が話題に上る中、その原典を記す事により、「ワイズメンズクラブとは」を新旧パレス全会員が今一度深く認識するきっかけになればと願っています。

第1、奉仕クラブの定義

この世の中にいわゆる奉仕クラブというものがございます。これは正確に申しますと、一般的奉仕クラブとよばれるものでございます。

一般的奉仕クラブと申しますのは、一言で申しますと、地域社会に存在する良質な社会人が、例会で自己研鑽をはかり、その自己研鑽のエネルギーを千差万別の形で社会に還元するという機能を持ちましたものを一般的奉仕クラブと申します。ことばで定義しましても、実は解ったようで解らないのは、このところがございます。「何をやったら世のため人のためになるのか」というと、「それはあんたがたで相談してきめなさいよ」と突っ放されるわけです。

相談してみたけれども、どうもよく解らない。奉仕とは何だ？奉仕クラブとは何だ？という議論がもう朝から晩まで渦を巻いているのですが、頭脳の錬磨がなされておられませんと、ある時は「奉仕の心」のことをもって奉仕とよび、またある時は「奉仕の実践」のことをもって奉仕とよぶ。こういうことを「無一致奉仕」というのではないかと、問いかけておかなければならないのです。

ですから「どちらの奉仕をあなた方はするのだ？」という問いかけをして、その悪因縁とはっきり訣別を遂げておかないと、奉仕クラブというものは、制度として長い間繁栄することは出来ないのです。

第2、奉仕クラブの歴史とワイズメンズクラブの位置づけ

1、ロータリークラブとライオンズクラブ

一般的奉仕クラブができましたのが 1905 年にロータリークラブの創立をもってはじまるわけです。最初は無名のクラブでありまして、社会の信用状態もそんなにいいことはない。今の南山クラブよりもっとひどい。創立前に衆議をもって創立したという1905年3月23日の議事録が残されておりまして、創立会員9名でした。しかしそれが、2、3年で、会員数 900 名をもって構成する一大奉仕クラブに発展するに至ったのです。ロータリークラブが栄えはじめましたが、1910年以降のことでございますから、その1905年から1910年までの間の初期の試行錯誤というのは、まことに生みの苦しみだったと思うのであります。

この痕跡がこんにちのロータリーにもございまして、ロータリアンと称する一団の職業人は、とにかく理屈っぽいのですが、一方でひじょうに倫理的な奉仕クラブだということが出来ます。これに対し、1917年にテキサスのダラスでできましたライオンズクラブとよばれるクラブは、ロータリーに対する反省がございまして、実践を通じて心を顕彰するという奉仕クラブでございまして、前面に出てまいりますのが実践なんです。ですからライオンズクラブとよばれる奉仕クラブは、「奉仕の実践」のことをもって奉仕と考える。ロータリークラブは「奉仕の心」をもって奉仕クラブの中核目的と考えるとと言えます。

一般的奉仕クラブの歴史の中ではロータリーとライオンズというのが両極端を歩いておりまして、これが奉仕クラブの、一つの運動の幅というものを示しています。

2、ワイズメンズクラブの位置づけ

じゃワイズメンズクラブは、どこにあるかと申しますと、ライオンズとロータリーとの中間に位置しているようだというのが、前回の講演をみますと私の理論的な分析になっております。ワイズメンズクラブは従って、これはどうしてもロータリー側によりまして、奉仕の心をつくることをもって奉仕クラブの大眼目に置かなければならない宿命がございまして、じゃ「実践はやらないでいいの」といいますと、それはまた人間というものには五体がございまして以上、行動なしにこの世のことを規律することはできません。

昨日の湯浅先生のお言葉にもございましたように、地球を創造し給い、進化の原則に則って、森羅万象を掌られるところの絶対的な、或る種の実在というものを頭の中に入れてただけでは、なんにもならないので、これは、そういうものを自覚したら、その自覚に基づいてなにがしかのことをこの世の中で客観化していかなければならない、人間の義務がございまして。

したがって奉仕の実践というものは、ワイズメンにとっても重要な関心事でなければならないが、奉仕の心も大事だ、それで両方大事だが、大事のうちのどっちがもっとも大事だ、ということになると奉仕の心が本体で奉仕の実践は反射的な効果です。人間の行動は心の操作なしに決定する事ができませんので、これは、実はひじょうに軽く述べましたけれども、大事なところなのです。

実践と言うものは、奉仕の心の反射的な効果、つまり奉仕の心を踏まえた行動のところに、絶えずこう実践活動の裏に奉仕の心がくっ付いていくから、その種の行動が奉仕の実践になるのです。奉仕の心がなくて、むやみやたらと金銭をあちらこちらに持ってまいりましても、また或る行動を起こしても、それは行動ではありますが、奉仕の実践になるかどうかは慎重に検討してみなければならない。これは頭の中でよく整理をしておいていただかなきゃならない。この点についてはあとで触れますので、私が述べましたのは奉仕クラブの歴史の中から、ワイズメンというものの哲学というものをどういう具合に位置づけたらいいのか、というお話をまずもって申しあげたのです。

それから第2点は、奉仕クラブにおける理論的な、先程の述べましたライオンズとロータリーとの相違であるとか、両極端をだしてその中の考え方の幅というものを或る程度測定をしてみることに。

第3点は、ワイズの国際憲法の綱領に関する規定。あれは良くできておましてね、あれはもう読むたびに、日本にワイズメンズクラブをおつくりになった当時のYMCAの指導者の方々が、アメリカで例えば、トリムクラブができましたのが1924年オハイオ州のトレイドで、1930年にワイズメンズクラブと名称変更いたしましたとき、何かアメリカでは「YMCAの下部組織にワイズメンズクラブとよばれる奉仕クラブができたげな、それじゃあ日本のYMCAもそれをやらなきゃいけないえな」でそれで簡単におやりになったと思うのです。

3、国際綱領

私はワイズメンの国際憲法の綱領の規定を読んでみまして、私はワイズのことをあまりよく知らないのですが、私は奉仕クラブ、ことにロータリー、それからライオンズ・キワニスについては多少調べてはおりますけれどもワイズのことについてはあまり知らない。知らないがそれでいて、こう一般的な知識をもってワイズの国際憲法の綱領のところを読みますと、奉仕クラブのあり方というものを、よく踏まえてポールアレキサンダーはワイズメンズクラブを提唱してるわけです。

日本の指導者はどうだったのだろうか、「アメリカでやったから日本でもやる」と、「これからはあれになるよ」てんでおやりになったのが、今日のワイズメンの少なくとも3年前の私がお目にかかる前のワイズメンズだった。如何なる意味においても、死に体でございまして、あの種類のクラブの中から大をなすことを期待することができないとその時は絶対言えなかった。そのことを言っただけはこれは死者に鞭打つことになりますんでね。私にも多少の遠慮がございまして。

第3、ワイズとYMCAとの関係

私はワイズメンの人たちはYMCAの被害者として、むやみやたらと活動なさっておるんで、これは提唱する以上は責任がございまして。提唱なさる前に奉仕クラブというものは一体どういう原理的な枠組の中で活動しなければならないか。そしてその主眼目はいったいどこにあるのか、ということ、今後徹底的に、御研究になった上で提唱なさることが必要なんじゃないかなということ、もう今は生き体になりましたので自信をもって申しあげなきゃいけないということなのです。

したがってこの一点は今度また逆に別な視点をも入れまして・YMCAとワイズメンズクラブとのこれからのあり方というものを、今まさに再検討すべき時機に来てるのじゃなからうかと思うのです。

私はこの前の講演の中でもYMCAとワイズメンとの理論的な関連点に触れまして提唱団体であるがゆえに、ワイズメンの中に土足をもってはいってはいけません。奉仕クラブの中にはいるYMCAの指導者たちは、これは奉仕クラブの論理の中にしたがって入らなければいけないと思うのです。

>>>次月号につづく。お楽しみに

お知らせ

7月役員会報告

承認事項

- 1、7月総会に向けての資料の最終チェックの件：事業計画案を金曜日中に委員長あてに送付。
- 2、7月総会、納涼例会の件：納涼例会の二次会はファンド委員会で取り仕切りファンド二次会とする。
- 3、8月第1例会、第2例会の件：8月第1例会ゲストスピーカーは谷奥秀雄氏(集花園)、謝礼は3万円で承認。
8月第2例会は部長公式訪問とEMCオリエンテーション例会とする予定。詳細は委員会で打ち合わせ。
- 4、財務委員会委員構成の件：委員を岡見、川上、高岡、為国、田中、井上彰会長&三役で構成の承認。
- 5、全国YMCAリーダー研修会(10月8日)昼食会支援の件：10月7日～9日に花背山の家で行われる全国YMCAリーダー研修会の昼食会支援(10月8日)。Yサ委員会で調整の上、継続審議。

- 6、HA、HBのプレゼントの件： HAをひらの屋に発注（商品は未定）、HBはボールペンを使用する。
- 7、古い書類の保管方法の件： 川上ワイズの社屋に保管することを快諾いただいた。
- 8、ブリテン出席率表記の件： EMC委員会と京都部主査で算出方法を確認の上、EMC委員会で算出。
- 9、2006年地域奉仕事業研修会の件： 7月定期総会にてアピール。

8月のスケジュール

- 2日（水） 19:30 8月度役員会
- 3日～6日 国際大会（釜山）
- 9日（水） 19:00 8月第1例会（通常例会） ゲストスピーカー（谷奥秀雄氏）
- 23日（水） 19:00 8月第2例会（部長公式訪問・EMCアワー）
- 25日（金） 16:00 和敬学園地蔵盆

Happy Birthday

高岡 昇君	8月 1日		隠塚 功君	8月 14日		杉本泰造君	8月 14日
笹山直世君	8月 15日		山本好一君	8月 17日		山岸弘侍君	8月 29日
福井友美子さん	8月 6日		丹羽まり子さん	8月 6日		宮本眞知子さん	8月 13日
西中美仔子さん	8月 16日						

Happy Anniversary

該当者なし

YMCA NEWS

1. ワイズワーク感謝！

6月25日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月2・9日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、リーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。また、9月3日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願ひ致します。

2. 京都 YMCA 平和の集いのご案内

平和を実現する人々は幸い ～東北アジアではたす、わたしたちの働きは・・・

テーマ:「NGOの働きに学ぶ ～もうひとつの世界を目指して～」

日時:8月4日(金)午後7時～8時30分

場所:京都YMCA 三条本館

講師:君島 東彦(きみじまあきひこ)さん 立命館大学国際関係学部教授 非暴力平和隊・日本共同代表

参加費:無料 お申込み・お問合せ 電話(075)231-4388

3.後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月6日(水)午前10時より一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話(075)231-4388 スイミング・体育 電話(075)255-4709

編集後記

今月号から「小堀理論」シリーズ開始。毎回楽しんでお勉強いただければより充実したワイズライフが約束される事まちがいなしです。「お薦めじゅず繋ぎシリーズ」もどんどん名乗りを挙げてください、お待ちしております。

(委員長・森田美都子)

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

9 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2006,9.1 発行
第36巻 第3号通巻411号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
- 国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
- アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりみんなのために、みんなは一人のために」
- 京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長	井上 彰
副会長	西川寿一
副会長	平井久夫
書 記	堤 雄次
書 記	平野雅幸
会 計	山本一博
会 計	小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
Menette

聖句

なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。
フィリピの信徒への手紙 3章13節-14節

あいまいなメネットと私

山本 一博

ある日の夕食時、珍しく家内から話しかけられた。メネット(以下メ)「パレスの会長さんから招待状が届いたで。」私「あ、ホンマ。じゃあ例会へ来てよ。」メ「うーん、でも暫く行ってないし、行き難いわ。」私「そんなことあらへんがな。プレゼント貰えるし行こうな。」メ「あれ貰うたら、皆さんの前で喋べらなあかんやろ。」私「オレが代わりに喋ったるがな。」メ「でも、何となく行きにくいな。」私「なんでやねん。そんなに嫌なんか？」メ「誰も嫌やとは言うてないやん！あんたは女の気持ちりが分からん過ぎるねん。」私「・・・。」

はて、何か悪いことしたんやろか。単に虫の居所が悪かっただけなんだから。とにかく、こんな会話が時々ある。ワイズメンズクラブはメネットやコメントも含めて、家族単位でのお付き合いが特徴と入会前に聞いていた。実際そうになっていると思う一方で、案外そうでもないかなと思ったりもする。

人間ってのは天の邪鬼で、出席を強要されると嫌になるが、呼んで貰えなければ行きにくいと言う。アニバーサリーの月はご招待と言われても慣れるまでは難しかったり。。こういう事ってメネットに限らず、ゲストとして出席した時とか、新入会員の人も感じたりしておられるのではないだろうか。一方で、独身の人には不公平なシステムだとか、花見とか納涼とかの月がアニバーサリーの人はイイナ。。とか、もっと言えばそもそもメネットの活動って何なのよ？とか、余計な話や疑問も聞こえて来ない訳ではない。

さて、我が家の話に戻すと。。私「何が分かってへんと言いたいのか？来たらエエやんか。」メ「あんたは来いと言うだけで、行ったら行ったで放ったらかしにするやろ。」私「・・・。」

そうなんです。来い！来い！と言うだけじゃなくて、ちゃんと相手の立場を気遣って、思い遣りの心で接してこそ新しい出会いが広がるのですよね。メネット強調月間にあたり、我がメネットにもっと愛情と思い遣りを持って接する様に努力しようと思う今日この頃であります。



例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
8月第1例会	39名	7月第1例会	17,000円	切手	0PT	8月	39,463円
8月第2例会	41名	7月第2例会	14,000円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	95.9%	累計	57,000円	累計	0円	累計	47,233円

8月第1例会（通常例会）（第845回例会）

日時 2006年8月9日

場所 京都ブライトンホテル

井上 均

暑い日が続き、いよいよ台風シーズン。今日は台風7号も京都を通過することなく東の方へ移動して行き一安心。

立秋もすぎ、日に日に日中が短くなり、涼しくなっていくのかなあ、早く涼しくなりたいと思いながら例会場に向かう。5分前というのにメンバーが少ない……開会点鐘の時も空席が目立つ。会長挨拶のあと活動援助金が大野君、川上君に贈呈、その後諸報告がされた。本日のゲストスピーカーは集花園の谷奥秀男様です。KBSテレビ、ラジオにもご出演とのことです。「育て方」と言うテーマで、専門のフラワーアレンジメントと若者(社員)の育て方を織り交ぜてお話され、若者(社員)を育てる為には情報(カルテ)が必要で、その人に合ったアドバイスが出来る、また目標に対してチェックポイントを作りその都度チェックして進むことも必要。やる気をおこさせ、失敗をおそれず、失敗してもその後のリカバリーの方法を教える自信をつけさせると力説された。

そして最後に相手の気持ち(お客様の気持ち)を「感じて欲しい」感じる若者(社員)になるよう教え育てたいと締めくくられた。人を育てることは難しい。例会終了時には席は一杯になっていた……。



8月第2例会（部長公式訪問）（第846回例会）

日時 2006年8月23日

場所 京都ブライトンホテル

西川寿一

大槻信二京都部部長を多くのメンバーで迎えようという気持ちが伝わって、例会出席者が多く、急遽例会場も広い会場に移して行われた。

会長の挨拶の後、8月3日～6日韓国釜山で行われた国際大会に参加した大野君から報告があった。食事の後、大槻部長から部長標語「百花繚乱一京都部」について、京都部は7月末現在メンバー数458名で、西日本区の25%超を有する大きな勢力の部であり、美しい花が咲き乱れる様に、より一層交流を深めすばらしいワイズメンが育つ京都部になる事を願っていると話された。続いて随行でこられた岸本伸也EMC主査が”キャッチ ザ500”をスローガンとして京都部を500名のメンバーにしたいと話された。同じく随行でこられた村田嘉樹交流主査は各クラブの交流活動のアンケートを参考にして、新しいメンバーに交流の場に参加してもらって意識を高めてもらいたいと話された。続いて当クラブの荒川徹広報主査より、各クラブの情報を知り合う事が京都部をより一層強固にし発展させる事に繋がるので、情報開示に力をそそぎたいと話された。

次にEMCアワーに移り新人4名のスピーチがあった。トップバッターの丹羽君は、最近の出来事について親子の関係・先生と生徒の関係が少しおかしくなってきて心配であると話された。



2番目の安達君は、一ヶ月前に中国に行かれた時の話をされ、今や中国は偽物・海賊版で溢れている。金と権力さえあればなんでもできるような感じであると、さすが東大卒らしい観察力で話された。

3番目の下坂君はパソコンスクールの事業をされていて、今回はポイントカードについていろいろ話された。

最後の福井君は、18年間のいろいろな苦労話を話され自分ではこの世の中には無理な事は無い、意気込みが大事であるという事を常に念頭に置いていると熱っぽく話された。

新人4名のそれぞれ個性溢れた話に感銘を受け、このようなすばらしい新人を迎え入れた事は、正に今期井上会長の標語”さらなるクラブ活性化のために”を実感したすばらしい例会であった。



京都部EMC交流会

川勝政男

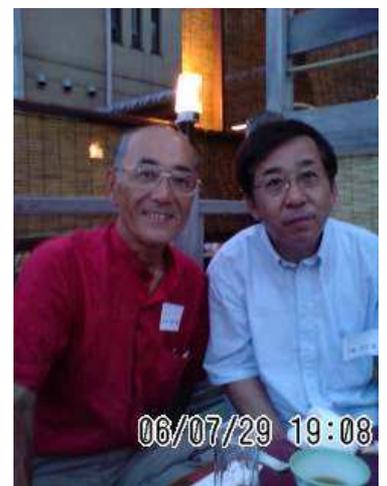
7月29日 午前中は今年最後の梅雨空で、この雨の中で行うのは少し寂しく思っていたのが嘘の様に、午後からは晴天に恵まれた。集合時間の午後7時からモリタ屋さんの鴨川沿いの床で、すき焼きでの京都部 EMC 交流会となりました。まずは京都部大槻部長の挨拶とビールでの乾杯で始まりました。

私たちのテーブルは、京都クラブ(石若会長・横田委員長)、京都グローバルクラブ(高橋会長・柳沢氏)、我がクラブからは杉井委員長と私が出席しました。ちなみに出席者数は35名でした。

みなさんと名刺交換・情報交換をしているうちにすき焼きの準備が始まりました。すき焼きでいつも思う事は、すき焼きを仕切る仲居さんの配膳にはじまり、砂糖・肉(もちろん関西では牛肉・東京では肉といえば豚肉を指すらしい)割り下と入れていき、さあ食べようかと思いきや、仲居さんにそれぞれの卵の入っている器に少しずつの肉を入れて貰います。このときほど仲居さんの行動が京都風(優雅に)に見えて、田舎育ちの私の箸が仲居さんの箸を飛び越して肉を取り行きそうに抑えるのに生つばを飲み込みます。50を過ぎたおじさんがこのような苦労をしているのは、中高生と何も変わらない自分が少し寂しくもあり、まだまだ食欲がおおせいでまだ若いナアと思いました。

おいしいすき焼きを食べながら時も刻々と進み、閉会の頃には子供たちが打ち上げる花火と午前中の雨の影響か、鴨川沿いのヒンヤリとした涼しい風がひとときの疲れを癒してくれました。

ところで昔であれば西陣の旦那衆が舞妓さんや芸妓さんたちと「いっぱい如何ですか」というような会話があったのだろう、と思いつつ交流会はお開きとなり、それぞれに「いっぱい如何ですか」の世界へ散って行きました。



釜山国際大会に参加して・8月3日～6日

大野嘉宏

20年ぶりの釜山は、以前のどちらかと言えば素朴な都会という印象とは打って変わって、林立する高層マンション、韓国で一番長い橋などその変貌ぶりに驚かされました。

開会式は、BEXCOという見本市会場のホールで開かれました。登録者数は発表によると1800名ですが韓国内からの登録者数が増えず、急遽開会式1日のみの登録を受け付け、やっとこの数字になったらしいのです。

日本からは約200名、西日本区は約130名の参加でした。開会式は、メリハリがなく正直あまり感動的とは言えず、ちょっとガッカリ、それでもロビーは再会を喜び合うワイズで溢れていました。

2日目からは会場をロッテホテルに移して、分科会やディナーパーティが開かれたのですが、食事のメニューが3日間とも同じだったという不満の声があちこちで聞かれ、やはり食べ物の恨みは怖いものだと思います。



和敬学園地蔵盆を終えて

田宮慎治

地蔵盆当日(8月25日・金曜日)は、お昼の気温が35度前後まで上昇し、残暑厳しい中、当初の集合時間を少し経過した2時に、地域奉仕委員が全員集合(瀬戸ワイズのメネット、ブレラのメンバー3名各応援参加)。まずは、分担した購入品の確認、かき氷、たこ焼きの二班に別れ、作業開始。三時半までには、概ね各班共に準備完了。

園生との「ふれあい」という園側からの要請を受け、昨年、調理場で行ったたこ焼きを園庭でする事となり、四時半の準備を、四時から開始。プロパンを使用する焼き器は点火、良好なるも、都市ガスを使用する焼き器の方にガスが十分供給出来ず、急遽、園側の了承を得、調理場にて対応。何事も早めの対応で事なきを得た。

前後して氷も配達され、四時半過ぎには、概ね準備完了。その間に年少、低学年の園生が準備作業の一部終始を固唾を呑んで(!?)見守っており、いかに彼(彼女)達の地蔵盆のバレスが提供する出し物(かき氷・たこ焼き)に期待が大きいかが、スタッフとして関わり実感した。



また開催日前日の出欠ボードを確認したところ、28名の参加表明(CS委員含)があり、多少のプレッシャーも感じておりました。それにもかかわらず、私用で一番肝心な時間帯に中座し、誠に申し訳ありませんでした。しかしながら、中座より戻ってみると、ほぼ滞りなく、進行しており、安堵しました。ひとえにメンバーのご理解・協力の賜物です。実施して、いたらぬ点も何点かありました。反省を踏まえ、より良き活動の為に、次期にきっちり申し送りしたいと思う所存です。

来年もまた園生の笑顔を見ることを楽しみにして集いましょう。本当にメンバーの皆さんに感謝申し上げます。「ありがとうございました!!!」

shineちゃんの委員会探訪シリーズ

「財務委員会」

広報委員会 河合信也

今期設置された特別事業委員会である財務委員会の第1回会合にお邪魔してきた。

何故か、この委員会だけは担当三役の欄に会長の名が連ねられ、井上彰会長の力の入れようが計り知れる。しかしながら、噂ではパレスの役を離れると死んでしまうかも知れない、パレス大好き議論大好き人間の西枝委員長のために設置されたとも…。(あくまで噂です)

定刻10分前に会場のココンに到着すると既に数名のメンバーが集まっていて、定刻には殆どのメンバーが揃い会議がスタートした。西枝委員長進行で「まずこの委員会は何をすべきか？」の問いかけから始まり、井上彰会長から設置目的が説明され、順次三役、委員と様々な意見が述べられた。内容については、委員会から公式な発表があるのでここでは割愛しますが、かなり熱心な意見交換がなされた事をお伝えします。

ここでメンバーの皆さんにご質問します。あなた方が毎月納めているクラブ会費は、どのように使われているかご存知？ ポテト等で収益をあげているファンド資金の用途はわかる？ 今現在クラブ資金はいくらぐらいあるか知ってる？ 結構知らないメンバーがいるんじゃないの？

自分達が汗水垂らして集められたお金がどの様に活かされているかは、メンバー全員が認識すべき問題ではないでしょうか。この委員会では、そういう分析から財政面に関わる全ての問題を勉強していく場だと感じました。日頃から感じているクラブへの疑問や不満等々、ご意見をお持ちのメンバーもたくさんおられると思います。そういう方々には是非ともこのオープン委員会である財務委員会への参加をお奨めします。陰で不満や愚痴を言っても、な～んも変わらんからね。

●出席者:西枝、井上彰、西川、堤、小林、山本一、岡見、川上、為国、田中、川勝、高田、河合

●二次会のみ:平野、岡本



shineちゃんの委員会探訪シリーズ

「Yサ・ユース事業委員会」

広報委員会 河合信也



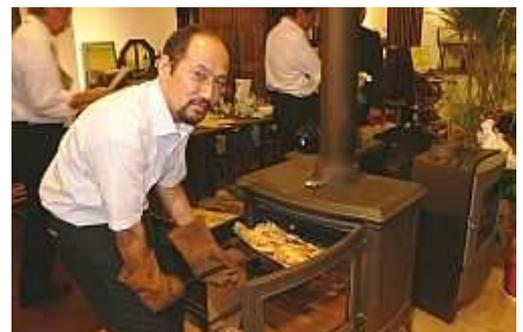
今回のYサ・ユース事業委員会は、先日オープンされた川上ワイズの新店舗において、来る10月8日(日)に花背で行なわれる全国YMCAリーダー研修会での協力でパレスクラブが提供するピザの実習が行なわれた。

手馴れた川上ワイズの指導の下、当日持ち込むものと同じ薪ストーブに火を興し(当然ながらクーラー併用です)、委員さん達が手分けして2種類のピザ生地にはピザソースを塗りトッピング、「もっとチーズを多くしなきゃ」「こっちの生地のが美味いわ!」「焼き加減はこんな感じやろか?」等々ワイワイガヤガヤ次々とピザを焼き上げては試食タイム。

薪ストーブは、安定した温度を保ち輻射熱効果によって、ピザの焼き加減も本格的で確かに一味違う。レシピ、時間配分、コストと本番に向けてのデータもバッチリ、全国のYMCAリーダー達もきっと喜んでくれるであろう。

今期メンバーの積極参加を目指すYサ事業委員会、自らも楽しめる事業展開がポイントで、そういう意味でも今回の委員会は、大変楽しく充実したものであった。メンバーの皆さん、こんなに美味いピザが食べられるのだから、花背も遠くはないと思うよ。

●出席者:吉岡、山岸、大野、川上、小桜、西川、小林、河合



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」
私のITモバイル活用術 2006年夏

下坂大司

私が現在使っている MY パソコンは、パナソニックの Let'sNOTE B5 版(www.panasonic.jp/pc/)である、たぶん 2 年半ぐらい使っている。このパソコンの良さは軽くて(1200g)、電池駆動時間が長い(8時間)こと、会社と家で無線 LAN で便利に使っている、出張でも常に持参し新幹線の中で録画した DVD を見ながらビール飲んだりウトウトしている。ケースがアルミで頑丈でこれまで何度も落としたりあちこち持ち歩いてぶつけたが壊れない。強くて軽くて長持ちでこれぞお勧め。

つぎに iPodShuffle(定価 7900 円 www.apple.com/jp/ipod/)これも優れたもので 200 曲ぐらい録音できる、週 2 回ぐらい行くジムで常に活躍する、エアロバイクやトレッドミルなどの時間をかけるプログラムも音楽を聴いてリラックスするので苦にならない。また、低温サウナにも持ち込んでいるが、汗にぬれても大丈夫、振動、高温にびくともしない。ジム通いが長続きする秘訣は、ipod にあり、おかげで体脂肪が5%減った。

携帯は、通常 FOMA を使っている、画面の字が大きいことが気に入って(年寄り用?)最近買い換えたが、携帯メールは、指が動かなくいらするのでほとんどしない。出張用にもう 1 台 au を持っているが、これがよく繋がる FOMA とは大違い、新幹線やビルの多い東京では au でなければ、11 月になったら、番号を変えずに他社の機種に変更できるので、我慢して待つところ。

結局、私の IT モバイル戦術は、特別な機能はほとんど利用しないとかよくわからない状態で、軽いか壊れないとかよく繋がるなどの理由で活用している。これが、コンピュータ関連会社の経営者の実態でした。



奉仕クラブの基本原則(第2回)

「奉仕の心」について
(第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

第5、ワイズメンの心がまえ

1. 奉仕クラブの「奉仕」とは

第一は奉仕クラブに所属されてる方は、奉仕について絶望感をもたなければいけない。南山クラブは13人と申しましたが、これは30何名をもって構成するパレスクラブの場合でもおなじことだと思うのです。

奉仕についての絶望感を持つとは、勿論実践という意味です。奉仕の実践についての絶望感を持たなければいけない。これは1907年にあの初期ロータリーが、奉仕概念というものを自覚いたしまして、いろんな試行錯誤をいたしております時に、開発せられた原則でございまして、われわれはこれを見逃がすことはできません。

困った人を救うということは、素朴な人達は考えるのです。われわれはまあ一応功成り名遂げてとまでいかないまでも、クラブライフを楽しめるだけの物心両面のゆとりというものを持つようになった、だからわれわれの親睦というものを盛り上げながら、何かこれを世のため、人のために使おうとする。世の中には不幸せな人達がたくさん居る。不幸せな人はみな馬鹿かというそうではない。心がけが悪いから不幸せになるかという、それもそうでもないのです。

人生には、いろいろ勝負どころというものがございます、普段は何でもないので、その壁を突き破るところに、人生における自己の発展というものを達成することができる要素がございます。その勝負点がやってきた時に病気をするとか、交通事故にあうとか、自分は真面目につとめてきたけれども、どうも自分の人生はついていなかった、もうこの歳になって50を越えては再起不能だ、その状況になってから、もう人生ってものは淋しいもんだなあという。こういう人達はたくさんおります。

こういう人達、私はこれを別な言葉で言いますと、制度の歪みに落っこって救済を求めている人達に、その救済を求めていることの具体的な内容を、われわれが金銭的、物質的、または労力的に寄附すること、金銭を求めている人のところにはお金を届ける、物品を求めている人のところには物品を届ける。そしてわれわれの労力を求めている人のところには労力を提供すると、こういう形で世のため、人のためにわれわれのエネルギーを還元しよう。一回二回はよろしいのであります。向こうが涙を流して喜びます。いいことをやったって、ワイズメンの奉仕、まさに健在たり、と、こういう具合に言えるだろうか、ということなのであります。

2. 何が出来るか

こういう制度の歪みに陥ちて救済を求めている人達を、片っ端から救済をすることをもって奉仕クラブの使命だと、仮りに考えるならば、これは絶対的に誤りだということが判ってくるわけです。

まず第1に金銭が足りないのです。それと第2に頭数が足りないのです。南山は13人しかいません。13人じゃなんともならないですね。

そこで、じゃわたしの議論を聞きましてね、大いに勢力が増えた、500人になったと考えていただきます。2つ問題が起こってまいります。500人でもなんともならない。まず自分の生活のことを考えなきゃなりません。余力をもって生かさなければなりません。

それから日本の場合には税法上のいろんな特則がございまして、人に寄附行為というものを、原則として赤い羽根以外は禁止するというのが原則的な建て前でございまして、その他の募金については都道府県知事に対して事前に許可を得ておかねばならないし、許可条件については、たいへんきびしいものがあるということで、公的な醸金というものはなかなかできにくいような状況もございまして。

500人でも金銭は無いのです。クラブも自滅しなきゃならない。社会も救われなから共倒れにならなきゃならない。それから500人に成りますと、クラブ親睦は成立するのかという問題がございまして。

3. 奉仕クラブの適正員数

平均的に申しまして、奉仕クラブの親睦が維持できる上限は、大体、50人から75人が限度だ、それを超えたら別のクラブを作らなきゃならない場合が多いという事でありまして。

東京ロータリークラブや大阪ロータリークラブの様に、300名以上の人数の有る大きなクラブでは、奉仕というものも無ければ親睦というものも、クラブ全体としては何ひとつ無いという事を明言しておきたい。親睦の無いところに奉仕を生みだすエネルギーというものは出てこない。というところからみますと大体75人でおさえなければならぬ。これはクラブによっては多少200名ぐらいいまでそれを維持できているところもございましてけれども、まあまあ奉仕クラブの力量から申しまして75名が限度だろうと申しあげておけばよろしいようです。

そうすると話は元へ返ってまいりまして、実践を中心に考える限りは、奉仕クラブのメンバーは絶えず絶望感にさいなまれなければならない、こういうことになります。実は奉仕クラブ、初期のシカゴのクラブの中では大激論がございまして、この点について、一つの結論を得たのが大体1920年のことであつた、という具合にお考えいただきたい。このロータリーの経験は、ありとあらゆる奉仕クラブが利用して差しつかえのない原則だということを申しあげておけばよろしいでしょう。

4. 職業の遂行は奉仕になるか

そうするとその時にへそ曲がり氏がひとりおりまして、これはロータリーの奉仕哲学を作った人です。この人は次回の私の主要なテーマになりますが、「職業の遂行」は奉仕になるかどうかテーマがあるのです。

皆さん方は職業の遂行は奉仕にならないという立場を取っているのです。これは私利私欲の追求であつて、利潤獲得を目的にするものは奉仕の世界から排除しなければならない。この原則は実はライオンズクラブでも厳密にとられておりまして、これがライオンズクラブの活動の一つのプラス、マイナスになっているということが出来るのです。しかし、わたくしはワイズにあつてこそ、職業の遂行は奉仕になる。

奉仕になる理由はこの一時間の話の中でも多少、出てはまいりますし、それからそれについての細かい、原理、体系立てた原理のお話については、次回ももっとも詳しい形でお話し申し上げることが出来るだろうと考えております。何はともあれ、奉仕クラブのメンバーというものは、実践の角度から見ると限りにおいて、奉仕についての絶望感というものをいつも持っていなければならない。ですからそうするとどうということになるかと申しますと、1908年に「職業は奉仕になる」ということを言われた学者が言うのには、奉仕クラブでなければ達成することのできない奉仕というものがあるだろう、こういうことを言ったのです。

>>>10月号につづく。お楽しみに



お知らせ

8月役員会報告

承認事項

- 第1号議案 活動援助金贈呈の件。8月第一例会において、荒川ワイズ、大野ワイズ、川上ワイズに活動援助金を贈呈すること。
- 第2号議案 8月第二例会、EMCアワーの件。部長スピーチ15分、随員2名各5分、丹羽ワイズ、福井ワイズ、安達ワイズ、下坂ワイズ各6分、EMC委員長10分のスピーチ時間とする。EMCアワーの内容は委員会で検討する。
- 第3号議案 9月第一例会(京都部会)の件。の京都部会の登録費はクラブ補助とすることを承認。
- 第4号議案 9月第二例会(ゲストスピーカー九条病院理事長松井様)の件。内容は予防医学について。
- 第5号議案 10月8日(日)YMCAリーダー研修会昼食支援の件。川上ワイズのストーブでピザを焼く予定。詳細は継続審議。
- 第6号議案 10月22日(日)ワイズポテトの件。10月22日に行うこと。
- 第7号議案 10月14、15日(日)東京グリーン神田川船の会訪問の件、参加費用補助金は人数が多ければ頭割りとする。

9月のスケジュール

- 6日(水) 19:30 9月度役員会(ブライトンホテル)
- 10日(日) 15:30 9月第1例会(振替例会) 京都部部会・琵琶湖ホテル
- 27日(水) 19:00 9月第2例会(ゲストスピーカー・九条病院理事長・松井氏)

Happy Birthday

- 5日 西川和子
14日 福井将一
19日 西村寿子
21日 松崎政代
21日 下坂大司

Happy Anniversary

該当なし

YMCA NEWS

1. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月2日からの願書受けつけ開始に備えて、募集活動を実施中です。

【健康福祉学科】

スポーツや遊びの指導における専門性を持ち、障がい児や健常児を問わず、子どもたちの健康的な成長を手助けできる保育者を養成します。

【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。

2006年春就職率100%(全員正職員採用)達成!

【社会福祉学科(夜間2年制)】

社会福祉士への近道がここに!

2006年春社会福祉士国家試験合格率 本校91.6% 全国平均28.0%

皆様からご紹介くださった方が当校を受験される場合は受験料(20,000円)を免除させていただきます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させていただきます。

お問い合わせ等がございました際は、専門学校辻中(Tel075-432-3191)までご連絡をお願い致します。

京都 YMCA 国際福祉専門学校 辻中康宏

電話 075-432-3191 FAX075-432-9440

e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

2.後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ スイミングスクール ユーススポーツ

9月6日(水)午前10時より 一般の方の後期募集がはじまります。
お知り合いの方でご興味がある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。
ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。
お問い合わせ・お申込み共に下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話(075)231-4388
スイミングスクール・ユーススポーツ 電話(075)255-4709

3.京都 YMCA 英語学校無料体験 "サンプルレッスン" 予約受付中!

10月から開講する秋期英会話コースに向けて、レッスンを無料で体験して頂けます。

《成人英会話 体験レッスン》

9月22日(金) 準中級レベル
9月26日(火) 初級レベル
9月28日(木) 準中級レベル
9月29日(金) 中級レベル
各日とも 午後7時から7時45分

《中学生英会話 体験レッスン》

9月22日(金) 午後6時から6時40分

《高校生英会話 体験レッスン》

9月29日(金) 午後6時から6時40分

お問い合わせ・お申込みは 電話(075)255-3287

編集後記

先月号は例会場で“ブリテンまちがいさがし”を募ってみた。せっかく期限厳守で頑張って編集をしているブリテンに一人でも多くの目が注いでもらえないかとの一瞬の試みであった。

思いのほか熱心なチェック度に広報一同うれいしいタジタジであったと同時により引き締まったの校正を悟った。どうか熱いご意見は、あくまで広報委員会下記への連絡でいただく事をここに重ねてお願いする次第である。

M a i l pr@kyoto-palace.com

F a x 075-257-6566

T e l 075-257-6767

(委員長・森田美都子)



京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

10 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2006,10.1 発行
第 36 巻 第 4 号通巻 412 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
- 国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
- アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
- 京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

- 会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
BF

聖句

わたしが求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身だからです。
コリントの信徒への手紙 二 第 12 章 14 節

広報主査のお役目

荒川 徹



広報主査のお役目は？現実クラブ内における広報委員長の主な仕事はブリテン製作ではないでしょうか。

さて京都の主査とは、いったい何をしたら良いのかな。基本はワイズの活動を広く広報、宣伝する事だと思います。それでは誰にどのようにするのか。

そこで今期の活動方針として「インターネットの京都部内への拡大を図る。ワイズ活動を広く伝える為の活動をする」という二つのテーマをあげさせて頂きました。まずはじめの取り組みと致しましては、現状京都部のHPの閲覧状況などを棚卸して、HPをより活性化するための調査を実施させて頂く事にしました。皆様からのご意見を頂き、改善、改良できる事は取り組んでいきます。目的はHPを通じて京都クラブ内の情報を早く広く伝える為です。そして他クラブの情報を広くメンバーが知る事によつての、ワイズ活動の広がります。

次の取り組みは、まずはこちらもリンクしてもかまわないという京都部のメンバーの理解があつての事ですが、ワイズメンが持っておられる各々のHPへのリンクを考えています。リンクするには、今の京都部のHPでは内容がそぐいませぬので、考える必要があると思います。目的は一般の方々へのワイズメンズクラブの広報とEMCです。出来ることなら、このリンクから一般の方々のクラブ訪問、しいては入会へとつながればと考えています。手順を踏んで考えていきます。

以上が今期主査としての主な取り組みですが、西日本区広報主任荒川様(同姓)からの依頼事項も近々にあると思いますので、クラブメンバー諸兄のご協力お願いいたします。

※関連リンク

京都部荒川広報主査 <http://kyotobu.jp/05buyakuin/yakuinmain.files/13koho.htm>

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
9月第1例会	36名	9月第1例会	0円	切手	0PT	9月	0円
9月第2例会	37名	9月第2例会	14000円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	91.7%	累計	71000円	累計	0円	累計	47233円

9月第1例会（京都部部会）（第847回例会）

日時 2006年9月10日

場所 びわこホテル

高田 敦

パレスクラブに入会して丸3年経つが、初めて京都部会というものに参加した。今まではただ不参加という訳ではなく、仕事のトラブルで急遽不参加という事態だった。

今回当日もトラブルが無いことを祈りながら自宅を後にしたが、大雨が降ったり止んだりのいやな天気、少々遅刻して琵琶湖ホテルの現地に到着。思っていたより沢山の人が、会場に入ると結構お金かかってそうな雰囲気、遅刻した為に後ろの方の席に空きは無く仕方なく小西さんと前から3列目の席に着いた。お決まりのセレモニー？少々退屈だったのか、寝不足の私は一瞬爆睡、気がついたら終わってました！すんません。

休憩を挟んで、次は待ちに待った食事。いそいそと会場へ入ったが何やら雰囲気が違う。ひとまず食事はお預けで音楽鑑賞（プログラムちゃんと見な）。おお岡見さん舞台出てはる、ハーモニカの演奏？おおこのおじさんメチャハーモニカうまいやん。ウクレレの経験は無かったけどハーモニカは小学校の時吹いたことあるからもしかして俺もいけるかも・・・と大きな勘違い。音楽が出来る人は良いなあとつくづく実感。

ようやく食事、お酒も飲みながらメンバーと楽しく会話、ちょっと知っている他クラブのメンバーの方にもご挨拶。思っていたより京都部会楽しい、なかなか他クラブのメンバーと会うことも少ないので来年も是非参加したいと思った。遅刻せずに。



※関連リンク

京都部 <http://kyotobu.jp/>

京都部荒川広報主査 <http://kyotobu.jp/05buyakuin/yakuinmain.files/13koho.htm>

京都部部会 <http://www1.odn.ne.jp/century-vs/bukaidai1hou.html>

9月第2例会（ゲストスピーカー：松井道宣様）（第848回例会）

日時 2006年9月27日

場所 京都ブライtonホテル

西中 日向

やっと朝晩が涼しくなり過ごしやすい季節になってきました。ブライtonホテルにて9月第2例会がゲストスピーカー松井道宣先生(医療法人社団同仁会京都九条病院理事長)をお迎えして848回例会が始まりました。

楽しい食事もあり、いよいよメインのゲストスピーカーによるお話になった。「治すことは防ぐ」という題で始まり、生活習慣病という言葉が最近よく耳にするようになり、高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満のことである。私自身、糖尿病であるので身にしみて聞き入っていた。一に予防医学が必要である。

特に糖尿病は食事や運動に気をつけなければならない。食べ物は甘い物、カロリーの高い物や食べ過ぎは禁物である。インスリンの出が少ないのが糖尿病なので、インスリンの注射や薬で調整しなければならない。

糖尿病で何が一番恐いかと言えば、合併症である。まず目が見えなくなる網膜症、足や手が腐る壊疽、透析をしなければならない腎臓病等が発生する。

生活習慣病も40歳までの若い人はなりにくい、40歳を過ぎれば注意しなければならない。食生活を改善し、毎日のカロリーの取りすぎに注意が必要であると思う。糖尿病はこの50年間に増えているそうだ。京都九条病院ではもっと新しい取り組みとして、DNA検査、遺伝子と疾病とか色々な研究をされておられる。同仁会クリニックでは習慣病のメディカルサポートをされている。

私にとって本当に良いお話を聞かせて頂きました。松井先生ありがとうございました。御座いました。



※関連リンク [九条病院 http://www.kujohp.com/](http://www.kujohp.com/)

烏賊つり

平野 雅幸

高田ファンド委員長の運転する車に乗り込み、釣り好き五名(河合、高田、堤、吉岡、平野)は、福井県のスーパーセンター『PLANT2』へ。なぜか福井方面に遊びに来たときには立ち寄ってしまう・・・大好きなんですこのスーパー・・・ついつい財布のヒモが緩んでしまい甚平(草履付き1980円)を購入してしまいました。

おっと本題、今回のターゲットはマイカ(剣先イカ)です。ファンド委員長の立案で釣りをしてあわよくばファンドと、エビで鯛を釣るような企画です。実際にはスッテという疑似餌を枝状にぶら下げた仕掛けを沈めて以下を烏賊誘って釣ります。竿でも手釣りでも可能と聞いていたので、僕と吉岡ワイズは手釣りをチョイス。あとの三名は竿で挑戦。釣は道具ではない、テクニックだと言いながら漁港で正装に(甚平)着替える。イメージも大事ですからね。

沈み行く太陽を目指して、ディーゼルエンジンを唸らせながら波しぶきをあげて釣り船は走ります。排気ガスにやられてY岡ワイズは痛恨のダウン。酔ってからでも効くと、可愛らしい薬剤師さんにすすめられた薬を渡したのですが効かなかったみたいでした。ごめんなさい。

原発を眺めながらひた走り、暗くなる頃に最初のポイントにつきました。船長の指示のタナ(水深)に仕掛けを沈めイカを誘います。

初めてなのでイカのアタリがよくわかりません。釣れないとボヤイテいると、エビを付けた仕掛けを沈めるとアジが釣れる事もあると船長談。高田ワイズにエビをもらい沈めてしばらく待っていると・・・竿が落水しそうなアタリ！キターー!!でアオハタゲット。でもイカは釣れず・・・高田ワイズはゲットしたようですぐにお刺身にいただきました。

あまりイカの力が悪いらしく、ポイントを移動することに。30分ほど走って、スパンカー（船から水中に展開するパラシュートのようなもの）を流して船を潮に乗せます。これぞイカ釣り船といわんばかりに灯りをともしイカをよせます（走光性のあるプランクトンに魚が寄ってさらにその魚を狙ってイカが寄ってくる）。

日付もかわろうかというころによく最初のアタリがありました。魚のようにプルプルガツガツという感じではなく、ムニョーンムニョーンとイカにも軟体動物チックな感触。やっとなコツをつかんで数ハイ釣る事が出来ました。

メンバーで一番沢山釣ったのは・・・1位 高田ワイズ、2位 堤ワイズ、3位河合ワイズ、4位 H野、5位 Y岡ワイズという結果でした。趣味と実益をかねた素晴らしい企画を立ててくれた高田ファンド委員長に感謝！

次の企画を楽しみにしていま～す。



※関連リンク

釣船「幸翔丸」 <http://www.minnaga.com/kousyoumaru/>

釣果 http://www.minnaga.com/system/kousyou/contents/fish/fish_details.php?sea_id=90527&cont_name=%8DK%E3%C4%8A%DB

shineちゃんの委員会探訪シリーズ

「ドライバー委員会」

広報委員会 河合信也

いつのまにかシリーズ化されてしまった。正にシマッタという心境だが、結構歓迎されて楽しい事も分かったので、不評で止めると言われるまで続けようと思う。

今回の訪問はドライバー、この事業委員会の特色はランチを楽しみながら会合をするというスタイルで、昼12時に烏丸ホテル2階レストランへ、定刻には殆どの委員が顔を揃え真面目な顔で話している。

クラブ活動の要である例会、その計画・実施をする委員会だけに時間厳守を徹底している。その為に遅刻罰金制度まで設けていて、この日もあるメンバーが僅か数分遅れただけでも罰金を科せられていたが、是非共どんどん遅刻して全てニコニコにして戴きたいものだ。

本日の議題は12月以降の例会企画内容を中心に、10月に開催されるリトセン・オータムフェスタに至る議論まで、真剣にくり広げられた。（小生、真剣に聞き入って写真撮影を忘れるぐらいでした、ゴメン）

例会出席はメンバーの権利であり義務である、その重要な例会を楽しく充実したものにする為には勿論メンバーの協力も不可欠ではあるが、やはりドライバー事業委員会の役割は大きい。

今回の訪問で田中委員長以下精鋭揃いの面々が、与えられた役割を淡々とこなしていく姿をみて期待が膨らんだ。今後の例会は間違いなく楽しくなりそうだ。

メンバー諸君、休むと損をする事になると思うよ。

（出席者：田中、平井千、為国、隠塚、井上彰、山本一、小林、河合）敬称略



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

美味しい蕎麦を求めて

為国 光俊

床瀬蕎麦ってご存じですか？国道9号線をひたすら西へ、和田山から八鹿を抜け国道312で神鍋スキー場へは行って、細い曲がりくねった山間の峠を越えたところにある床瀬。本当に人里離れた静かな山あいにある、小さな村です。冷たくおいしい水、つなぎに使う天然の山芋、薬味用の天然ワサビと床瀬には蕎麦作りに欠かせない要素が整った地といえますが、お店はたった3軒のみで、昔からそばを栽培してきたこの地では、地元の蕎麦打ち名人がお店を構えてられます。知らなければ通りすぎてしまうような民家に「床瀬蕎麦」の看板が…、開け放たれた広い大広間にあがると囲炉裏がきつてあり、山間を吹き抜けてきた風が爽やかに部屋のなかを通り抜け、ふる里に帰ってきたような郷愁を感じます。

お目当てはもちろん蕎麦ですが、同時に椎茸、ヤマメ、マツバを注文します。打ちたての蕎麦を待っている間に、それらを食すという算段です。机に出された七輪の炭火を熾し、ヤマメを焼きながら山椒の実で日本酒をチビチビ、さらに椎茸は傘を下に向けて焼きすぎないように片面だけを炙ります。傘の内側に汗をかいてきたら充分で、食すると、とてもみずみずしく肉厚の椎茸の旨みが口一杯に広がります。そうこうしているうちに塩を打ったヤマメも焼き上がり、白く輝く身を箸でほぐしながらカリカリに焼いた皮と一緒に、さらに日本酒で…、山の幸と川の幸、贅沢極まります。続いては、マツバをやっつけにかかりましょう。鶏肉の鎖骨の部分の左右二本の骨の片方が繋がって一体になっていてVの形になっていて松葉に似ていることからマツバと呼ばれていますが、ササミより脂がのっていてジューシー、肉をせせりながら食べるのが最高です。マツバは捌いて取り出すのに手間がかかるらしく捨てられることが多いと聞きますが、一度食べると病みつきになってしまいます。市内では残念ながら見たことがありません。これは炭火で脂を落としながら焼いて、ビールでいくこととします。

さて、お腹もそこそこ満足しだした頃、待望の蕎麦が打ちあがってきました。そば殻も一緒に挽いているだろうと思われる黒めの田舎蕎麦の様子ですが、包丁は細めにはいって喉ごしが良いのが特徴です。そして仕上げは清流の冷水でしめてあり、食欲をそそります。やはり蕎麦は味もさることながら香りを楽しみたいものです。空気と一緒に吸り込み鼻孔から抜くようにしてやれば蕎麦の香りを存分に楽しめます。食べるときに音をたてても良いとされている世界でも希有なものですが、やはりこの食べ方こそが一番美味しく感じられるのでしょう。お腹一杯になってしまいました。年齢を重ねるにつれ、食の好みが変わってきたようです。美味しいものをチョビチョビといくのが最高ですね。あー、満足、満足。



奉仕クラブの基本原則(第3回)

「奉仕の心」について

(第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

第6、ワイズメンは良質の職業人でなければならない

1、ロータリークラブは、一業種一会員制、ワイズメンズクラブは一業種二会員制というものをとっておりますが、この点については特に御注意をいただきたいのです。どんなに奉仕の心を持った人達でも、地域社会に存在する職業に科学的な職業分類の原則を適用いたしまして、1つの職種からは2人しかとることができないのです。

奉仕家が10人いたら、それでも、なおかつ二人とったら、あとの人はとれないのです。こういう職業人排除の原則、奉仕家であってもはいれないのです。これの持つ意味をよく御理解いただきたいのです。

一業種に二会員制の原則のよって立つ基盤は何かと申しますと、良質な職業人を選出するという事なんです。日本人はしばしばロータリー、ライオンズでは、お金持ちをもって良質な職業人と考えるってところがいけないのです。そうじゃないのです。

2、お金持ちであってもいい、貧乏人であってもいい、小学校しか出てない人でもいい、一つの職種から二人だけ、最も良質だと思われる人を、クラブの存在根拠だと考えるということであります。こういう考え方をおやりになったことがどうもないみたい。反応がだいぶおかしいですから、これは奇想天外などこからくるなっていう感じがあるのです。それが奇想天外なうちは素養のないワイズと言わなきゃならない。ポールアレキサンダーは馬鹿ではなかったことなのです。

慎重に検討して、これをやっておる。ロータリーに対して一業種二会員制にいたしましたのは、一業種一会員制では、厳格に見るという考え方があったからにちがいないと思うのです。私はこれについては争いません。

業種によっては非常に倫理的な業種もあります。お医者さんがそうです。それからお坊さんがそうです。世間知らずではありませんけれども、大学教授もそうです。それから土建業者になりますと、これは倫理基準はうんと低いのです。その事はかまわないのです。

奉仕クラブの側は、どの職種にしる倫理基準が高ければ高いように、低ければ低いように、どの職種についても、もっとも良質な人を二名とってこれをワイズの奉仕活動エネルギーの根源体と考えよう、こういう考え方なのです。

3、どうして多勢いるの中から二人しかとらないのだろうか。これについての回答は簡単でございます、良質な思考というものの内容分析を試みれば判ることです。

良質な思考とはなんだ。自分と他人とを分かたぬ思考を持つがゆえに、他の業者、自分の業、職業ばかりではなしに、業界に対してリーダーシップを負うことができる。人間は、ピストルを突きつけ、サーベルをガチャつかせるだけで、人の尊敬を勝ち得ることはできないのであります。これは中世ローマ帝国のその全盛期に、原始キリスト者が動いた歴史を眺めてみれば明らかなのです。

長期的なたたかいは原理の側に利がございまして、武力による制覇というものは一時的なものではない。こういう具合に考える心構えが奉仕クラブのメンバーのどこかになければならないのです。

日本人でもありますな。御婦人がいらしゃる所じゃいけないのですが、「からだは任したけど、心まで任しちゃあおりませんよ」って芝居のせりふがありますね、あの言葉です。あれは奉仕クラブの基礎利用です。

4、ですから業界における支配も単なる力の論理だけでは、長期的に決定することはできませんね。自分の企業、自分の心に良質な思考があるゆえに、自分の企業が発展する。自分の社会内における生活的な基盤というもの確立するが、しかしその考え方というものを、人が絶えず手本に眺めているのだなということになれば、「お前のからだはお前ひとりのものであってお前ひとりのものじゃあないぞ」って、こういう考え方がよく判ります。

だから「俺は軽卒に判断できないぞ、俺が判断する時には、いろんな人がそのまねをするんだ、だから慎重に事柄をきめなきゃならないぞ」というような人達をワイズはワイズの活動の基本単位と考えているという事実をよく御理解いただきたいのです。

5、じゃ、そのような良質な人達はそれで自分で栄えているんだから何もその奉仕クラブに入らなくていいじゃないのっていうと、実はそうじゃなからうと、こういうんですね。

どうしてか。地域社会に存在する良質な職業人を、みんな奉仕クラブのメンバーとして取ったとしますね、だけど土建業者さんは土建業者さんの発想をクラブに持ち込むわけです。それから、大学教授的な発想を持ち込むわけです。大学教授というのは世間知らずですし、それから今日の奨励にありました聖なる愚者であります、人がどう考えようと人に対して訴える。こういう要素がありましよう。

こういうのは仏教では、法身説法と、法の身の説法とこう言うのです。日蓮がやりましてね、これを折伏という、よばれるのがこれ、人がどう思おうと正しいものを体得したる以上は人に対してそれを押し付ける、こういう姿勢がひとつ出てまいります。これは奉仕クラブの中では持ち込んでもらっては困るわけなのです。大学教授にはどうしてもそういう要素は持ち込んでもらっては困ると言っても、大学教授を選んだ以上は、そういう要素は、どうしても入ってまいります。

商人の方は、お客さんだいに考えるという考え方、お客さんのためなら、なんでもです、いつかはうちの店から買ってくれるかも知れないということになりますと、これはお客さんの言うことは尊重するので、この発想が全然ちがいますね。

第7、例会の必要性

1、ちがう人達が例会で、心の交わりをいたします時に自分の心の足らざるところを補って立ち去る。そうすると、これはまあ別なことばを通じて言えば、どんな良質な人でも自分の業界に居る限りにおいては井の中の蛙になる。この井の中の蛙を、良質な蛙に二週間に一度の例会に参集した時に、他の同じ良質な人達のちがった発想との接触の契機をつくるのだということが、奉仕クラブの理論づけの一つの重要な柱になっているということを、どうか御理解いただきたいわけです。

2、したがって親睦、親睦とは申しますけれども、これは自己反省でしょう。それからこれは集合的にみますと切磋琢磨なのです。だから親睦イコール自己反省、切磋琢磨。切磋琢磨を行ないますと、自己改善、パーソナルベターメントの問題があります。この個々の自己改善のことを、「奉仕の心」とこういう具合に言うのです。だからわたしは心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る、これが奉仕クラブの「親睦の原型パターン」である、とこういう具合に述べているわけで、心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る。しかしここで慎重に考慮していただきたいのは、ことばに酔わないでいただきたいってことなんです。心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去るための最大の障害になっているものは何かということをはっきりさせておかなければなりません。

>>>11月号につづく。お楽しみに

お知らせ

9月役員会報告

承認事項

第1号議案・10月第1例会の件。ゲストスピーカー・(株)マルハン 韓会長。

第2号議案・10月第2例会の件。ゲストスピーカー・同志社大学 村田教授。

第3号議案・新入会員3名(下坂君、笹山君、金村君)の委員会配属の件の件。

10月1日付けで、下坂君をドライブ委員会、笹山君をファンド委員会、金村君を地域奉仕委員会に配属。

第4号議案・11月第1例会(オータムフェスタ、振替例会)の件。

11月11日(土)18:00よりEMCアワー、翌12日(日)オータムフェスタは三役主体で行い詳細は継続審議。

第5号議案・ファンドポテトの件。10月22日実施。詳細は委員会一任。

第6号議案・西枝君、弔慰金の件。慶弔規定に基づき9月第2例会。

第7号議案・杉井君、田中君お見舞金の件。慶弔規定に基づき9月第2例会。

第8号議案・独身メンバーのHAにかわるセレモニーについて。継続審議。

確認、報告事項

1) 和敬学園サツマイモ収穫。10月29日実施。11月3日を予備日。サツマイモ収穫後焼き芋を行う。

2) 入会候補の動向。村田氏(西枝君紹介)9月第二例会にゲスト出席の予定。

3) 神田川船の会について。10月14日～15日(9月13日締め切り)に実施。

10月のスケジュール

4日(水)19:30 10月度役員会(ブライTONホテル)

8日(日)10:00 YMCAリーダー研修会奉仕・花脊山の家

10日(水)19:00 10月第1例会(ブライTONホテル)ゲストスピーカー・(株)マルハン 韓会長

14～15日 東京グリーンクラブ神田川船の会交流会

22日(日)ワイズポテト(京都卸売市場)

25日(水)19:00 10月第2例会(ブライTONホテル)ゲストスピーカー・同志社大学 村田教授

29日(日)和敬学園サツマイモ収穫日

Happy Birthday

4日 永井 邦子メット 10日 荒川 徹君 12日 別所 修君 14日 平野 雅幸君

21日 岡見 紫君 29日 井上 均君 29日 井上 智子メット

Happy Aniversary

2日 別所君ご夫妻 5日 杉井君ご夫妻 5日 田中君ご夫妻 9日 杉本君ご夫妻

10日 西川君ご夫妻 23日 為國君ご夫妻 29日 西枝君ご夫妻 30日 西中君ご夫妻

YMCA NEWS

1. 京都YMCA国際協力キャンペーン

今年も10月1日～11月末の期間を京都YMCA国際協力キャンペーンとして国際協力募金を行います。国際協力キャンペーンは皆様方の暖かなお志をもとに、世界の人々が国境や民族を越えて、人間らしい生活の出来る平和な世界を作り出すために使われます。

京都YMCAでは、ここで集まった募金を日本YMCAを通して、開発途上国の人たちや女性の社会参加自立への援助や、明日の国際社会を支える指導者養成のために使用いたします。

また、自然災害被災者救援などの緊急支援の為に、若者に異文化に触れ、平和や貧困について考えてもらえるスタディーツアー実施を支える為に使われます。

例会にて募金袋を配らせていただきます。どうか皆様方の暖かな心をお待ちしております。

キャンペーン期間 10月1日～11月30日

また、街頭募金を11月5日(日)に予定致しております。皆様のご協力をよろしく願い申しあげます。

2. ウィンタープログラム受付開始

今年も最高の冬をYMCAですごしませんか。 スキーキャンプ、デイキャンプ、鉄棒・とびばこが好きになる教室を開きます。お友達をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

<スキーキャンプ>

受付 ◎会員優先 11月6日(月)～8日(水) 午前10時～午後6時

お電話にて受け付けます。電話(075)231-4388

期間中Eメール・FAXでも受け付けます。(24時間)

E-mail camp@kyotoymca.or.jp

FAX (075)251-0970

詳しくは <http://www.kyotoymca.or.jp> をご覧ください。

11月9日(木)午前10時から一般の方の受付を開始します。

9日からはお電話のみの受付となります。

<デイキャンプ/鉄棒・とびばこが好きになる教室> 会員優先受付

受付 ◎ 会 員 11月10日(金) 午前10時より

◎ 会員・一般 11月10日(金) 午後2時より

お申込み・お問い合わせは ウエルネスセンター 三条 6階 電話(075)255-4709 まで

編集後記

この頃パレスのメンバーに電話するや「原稿の追い立て手屋さんですか？」と答える人多しで、なかなかの効果。皆様締め切りを固く守っていただく習慣に徐々に馴染んでくださっている事が人知れずうれしい。

今月号ブリテンはいかに・・・

秋の夜長、ワインや熱燗でも片手にゆっくり読み馴染んで独り言コメントでもいただけたら委員会一同意気を感じる次第である。

Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

Tel 075-257-6767

(委員長・森田美都子)

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

11 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2006,11.0.1 発行
第36巻 第5号通巻 413号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
- 国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
- アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
- 京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

- 会長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書記 堤 雄次
書記 平野雅幸
会計 山本一博
会計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間

Public

聖句 はっきり言っておく。わたしの言葉を守るなら、その人は 決して死ぬことがない。

Rrelations

ヨハネによる福音書 第8章 51節

Wellness

ファンド委員長になって

ファンド委員長 高田 敦

ある日会長に『ファンド委員長やってくれへんか』と言われた。私にとっては全くの想定外、自分の商売でも、金儲けは下手くそなのに、なんでやねんと正直思った。しかし諸先輩方の『頼まれたら断るな』と言う教えを叩き込まれている私は、不満にも思いながら無意識に首を立てに振っていた。しかし困ったものだ、入会して3年目、ファンド委員になったこともなく、委員はじゃがいも売ってはる位しか知らない。ファンドポテも取りに行っただけで参加したことも無かった。

にもかかわらず例年以上の利益目標、不安を抱きながらの期が始まった。ポテは元々の十勝からのじゃがいもを仕入れている訳じゃないので、販売をすることの意味が無いという意見もあり、あれやこれやとじゃがいもに変わるものを考えたがなかなか見つからない。会長からは『例年通り』とネガティブな意見。どうせ委員長やるなら、来期につながるような事をやっていきたい。ルーティンでこなしてはいきたい・・・しかしタイムアップ、とりあえずじゃがいもメインで販売することに。

早速ファンドポテの準備、今期は目標も高いことから新しい企画を取り入れた、まずは入会して間もないメンバーに対してファンドの事に理解を深めてもらう協力はしたいけれど、じゃがいもは沢山いらぬというメンバーには、じゃがいもを買ったつもりで利益分だけを現金でファンドしてもらう。前者については最終的に西川副会長の協力もありほぼ達成した感があった。現金ファンドについては賛否両論ありいろいろ問題は含んでいたかもしれないが、そんなに沢山じゃがいもを買えない私には「あり」ではないかと思った。

ファンドポテ当日は案の定経験がない私はおろおろ、ファンド委員長としてメンバーにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げる。ファンドポテも例年以上の収益を上げることができた。これもパレスメンバーの協力があって達成できたこと、つくづくパレスクラブはすごいパワーが潜在しているクラブだと実感した。メンバーの皆さん、ファンドポテにご協力ありがとうございました。ファンドポテが終わって次はファンド例会、立て続けでさすがにしんどい。もっと事業を分散することができないのだろうか？今度は仕事も忙しくなってきたらファンド例会の準備も少々ギブアップ気味だが、担当三役の堤さんのフォローで何とか進めている状態。「堤さん感謝！今度奢ります。」関係のない森田さん下見に付き合っていて助かりました、今度何かします。

今期のファンド例会はより楽しいものにしようと思っています、メンバーの皆さん期待してください！？それとファンドにご協力もお願いしますね。

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
10月第1例会	38名	10月第1例会	3000円	切手	0PT	10月	0円
10月第2例会	35名	10月第2例会	4800円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	93.8%	累計	12200円	累計	0円	累計	47233円

10月第1例会（ゲストスピーカー：韓昌祐様）（第849回例会）

日時 2006年10月11日

場所 京都ブライtonホテル

小桜武彦

天高く馬肥ゆる秋酣の10月第1例会、井上会長は今期特に力を入れているポテトファンドの話から始まった。YMCA サポートや地域奉仕等の原資ともなるファンドのメイン事業、ポテトを1ケースでも澤山お願いしますと訴えたあと、8日花脊で行われたYMCAのリーダー研修会の奉仕の報告とお礼へと続いた。

司会が田中一馬ドライバー委員長から杉井恭敏 EMC 委員長に替わり、今期最初の新入会員村田佳秀君の入会式が執り行われた。昭和45年1月生まれの36歳、パレスでの活躍が期待される。続いて久しぶりに訪問する東京グリーンクラブの神田川船の会に参加するメンバーへの援助金の贈呈が行われた後、井上会長の意を受けて西川副会長のポテトファンドの経緯と意義のスピーチ等があった。

食事の後永井ワイズ紹介のメインゲスト(株)マルハン会長 韓昌祐氏の講演に移った。

韓氏は1931年(昭和6年)2月15日韓国慶尚南道三千浦市生まれの75歳、1945年(昭和20年)10月22日来日され苦学の上、法政大学を卒業されたという。卒業後ファッションデザイナーになりたくてフランスへ行こうと京都の峰山町の姉夫婦に相談に行った処、義兄にボロンジョンに言われ義兄の経営するパチンコ店の手伝いをさせられたのが現在の氏の運命の始まりであった。

昭和38年3階建てのビルで喫茶店、洋食、中華の店をやっていたが義兄が韓国へ帰る事になりパチンコ店も自ら経営する事になる。店は順調に行き店舗も増やし38歳の時当時ブームのボーリング場を始め、42歳の時6店舗になったが、これからという時負債60億円を抱えてブームが去ってしまった。

自殺を考えたが家族の事を思いがむしゃらに働き何とか乗り越え、紆余曲折の後 現在売上高1兆円、資産1400億円世界のレジャー企業65社中第8位の大レジャー会社に育て上げられた。

氏の経営哲学は先ずパチンコのイメージアップから始まり企業に道徳、倫理、人間性がなければ絶対伸びないし社会にも受け入れられない。その他急ぐ仕事より、正しい仕事を先にせよ、学力より実力…等々これまでの経験から得られた様々の考えを述べられた。実績があるだけに説得力のある話であった。

今後の目標は企業が社会に広く認知されるべく株式の上場と2010年には売上5兆円を目指すという。氏は又社会的文化的にも様々な活躍をされており日本國より勳三等瑞宝章や韓国から無窮花賞(勳一等)など受賞されたりロスアンジェルス名誉市民や韓国の二つの大學から名誉博士号を与えられたり東京フィルの理事や京都ユネスコ協会の理事等、日韓米に亘って貢献や奉仕をされているという。

本社が京都の出町にあるというから京都にももっと貢献して頂きたいと思う次第である。(知らないだけでされておられるかも)質疑応答では川上ワイズからパチンコの機械の質問があったが紹介者の永井ワイズも気を揉むほど時間延長となりニコニコは中止となって本日の例会も無事お開きとなった。



10月第2例会（ゲストスピーカー：村田晃嗣様）（第850回例会）

日時 2006年10月25日

場所 京都ブライtonホテル

別所 修

本日の例会はメインゲストに同志社大学法学部教授 村田 晃嗣様、そして大野君ゲストの黒田 様をお迎えしての開催です。

まず井上会長より、10月14日にグリーンクラブ主催の神田川船の会に出席し、グリーンクラブの皆様にご心温まる歓迎を受けた事に対して感謝の気持ちをのべられました。

そして、11月12日(日)に振替例会として開催されますオータムフェスタで山本一博実行委員長の下、綱引き大会が開催される事、そしてより多くの会員及び一般者への参加の呼びかけで大会を盛りあげようとのアピールがあり大会成功への力強い気持ちが感じられるスピーチでの例会開催の挨拶となりました。

そして、続いて各委員会の諸報告、食事タイムへと移り、今回メインゲストでテレビ等、他方面で活躍されている村田 晃嗣様のスピーチとなりました。

今日のお話は今一番話題になっている北朝鮮問題を中心に、日中関係の重要性、安部内閣の今後、そしてアメリカの今後の動向など、テレビ放映とはまた違った切り口で、熱のこもった大変わかりやすい解説で、会場にこられた方も熱心に耳をかたむけていました。

そして、本日はメネットのゲストもお迎えしてハッピーバースデー・ハッピーアニバーサリーへと移り、華やかで楽しい例会となりました。



第37回全国YMCAリーダー研修会

日時 2006年10月7日

場所 花脊山の家

小林 千春



第37回全国YMCAリーダー研修会が、10月7日から9日の3日間、花脊山の家にて行われました。これに対して京都部としては、YMCAのサポートクラブとして支援するのみならず、これを機会にユースリーダーとの交流を果たすべく、8日に世界の料理を昼食として提供することになったそうです。そこで、パレスクラブでは、川上ワイズ提供の薪ストーブをフル活用して手作りピザを振る舞い、昼食交流会に参加することになりました。

午前10時ころから薪ストーブの設営を始め(薪ストーブをユニックでつり上げて降ろすという豪快な設営方法でした)、一段落したところで会長から挨拶。そして、ピザの試し焼きを行いました。事前にYサ委員会でリハーサルはしていましたが、雨が降ったりやんだりの生憎の天気だったり風が強くて難儀するなど思わぬ難関が

立ちふさがるのも野外活動の醍醐味だったりします。

また、当日のサプライズとして、西中ワイズから無農薬野菜が提供され、無農薬野菜サラダも提供することができました。西中ワイズ、ありがとうございました。個人的には、生で食べてもタマネギに甘みがあり、ピザのトッピングに使って火を通すのはちょっともったいないかなと思いました。

さて、一段落して他クラブの昼食を見回すと、子羊の丸焼きやチヂミ、カレーにトムヤンクンなど国際色豊かな食事が準備されていました。

12時になっていよいよ交流会開始！すると、準備しておいたピザとサラダが瞬く間になくなってしまい、ピザを焼くこととサラダを盛りつけることに追われっぱなしになりました。

リーダー達の空腹も満たされて、次は活動報告です。広島YMCAのリーダーからは被爆地として核兵器廃絶に関する活動報告、京都YMCAのリーダーからは京都市内の病院訪問の報告、ウイングクラブからはインドランチYMCAへの支援報告(インド直輸入の紅茶を販売して収益金を送金しているとのこと)、ウェルクラブからはリーダー支援に関する活動報告など、積極盛んな様子が伝えられました。

そして、最後にリーダーとの名刺交換。リーダーが手製の名刺を携え、我々と名刺交換するというものです。ボクも大阪と横浜のリーダーと名刺交換し、直接コミュニケーションをしたのですが、いやまあ何というか大変エネルギーでした。活力にあふれてます。出てきた腹をさすってばかりじゃダメだなとちょっと反省しました。参加された皆さん、おつかれさまでした。大変充実した交流会でした。



東京グリーンクラブ「神田川船の会」交流会

日時 2006年10月14日

小西 孝典



今日10月14日はパレスの交流事業、「神田川船の会」の日です、京都駅新幹線ホームで井上会長・森田さん・高田さんと待ち合わせです。

3時間ほどで両国の隅田川横の水辺ライン(集合場所)に着きました。この事業をサポートされているグリーンクラブのメンバーの方々は受付で、多数の参加者を案内しておられました。

現地集合の安達さんも遅れる事無く無事5名揃って乗船です。何年前の船の会は台風の為中止になったと聞いた事がありますので少し心配していたのですが・・・今回のメンバーは皆さん行いが良いのか??本日は晴天です!!

私は以前東京で6年ほど勤めておりました、この「神田川船の会」には密かに興味が有りました。サラリーマン時代いつも橋や道路から見下ろしていた神田川、その下の川面から見上げる景色はどんなだろう??

やはり想像以上に感動しました!!いつも御茶ノ水駅から何と無く見下ろしていた神田川から今日は駅を見上げているのです。駅の利用客も遊覧船など見た事無い様子で驚いていました。そしてもっと驚いたのが、駅から道路から、車中から橋の上から、多くの人が船に向かって手を振ってくれました。まだまだ東京の人情も捨てた物じゃ無いなと感じました。

JR中央線が上を走っています、さだまさしの歌にも有る見事な作りの聖橋や、重厚かつ歴史を感じる日本橋の下、良く利用した首都高速道路の下を通過し、おたくの聖地・秋葉原を見上げ、2時間半の行程があつという間に感じ、本当に貴重な体験をさせて頂きました。

今回この事業で26年間、毎回千代田区の小学生も無料招待され、河川の清掃や整備、水の浄化を啓発されている東京グリーンクラブやYMCAの頑張っておられる姿勢が良くわかりました。

そして、歓迎会・二次会・三次会とグリーンクラブのメンバーの方々と二次会からの飛び入り参加の平井千香子さんとの交流も楽しく友情を育め、かつ勉強になる物でした、東京グリーンメンバーの皆様本当に良い体験を有難う御座いました。



じゃがいもファンド事業

日時 2006年10月22日

福井 将一



初めてポテト販売に参加させていただきました。収益を青少年育成事業に役立てるということで、四十件ほど声かけせてもらいましたが、快く「少ししか協力できんけど」と注文いただきました。

感謝です。ありがとうございます！ワンケースずつでも量じゃない、気持ちだなと本当にうれしくなります。人様の役に立つ事をぼちぼちやって行きたいと思います。

和敬学園生招待・サツマ芋掘り

日時 2006年10月29日

地域奉仕委員会 岡見 紫



十月二九日秋ばれの空の下、小学校の遠足の時の様なウキウキ気分でサツマ芋掘りにいそしんだ。和敬学園から引率も入れ十七名、クラブから会長以下十一名の者が参加した。

今期は和敬学園・樋口園長の「都会育ちの子供達に土に触れ、食べ物を実際に自分達の手で収穫する体験をさせたい。」という願いに応じてサツマ芋掘り体験という新しい地域奉仕事業にとりくんだのだ。

田宮委員長の伝手で京田辺市の奥西さんの畑を一部お借りし、四畝のサツマ芋畑にして戴いた。殆どは奥西さんにお世話頂いたのだが、お盆の暑い盛りに田宮委員長も草引きに行ってくれたお陰で立派なお芋になっていた。奥西さんの手でもう葉も刈り取られすぐに掘り出せる様準備がされていた。ありがたい事だ。皆でワイワイ言いながら四十分程で収穫を終える事が出来た。近くの太平洋輸送株式会社の御好意で駐車場を貸して戴き、そこで芋を洗って新聞紙の上で乾燥させた。採ったお芋を奥西さんがふかし芋にして下さった。焼き芋も畑の隅の焚き火で焼いて貰った。

お昼を駐車場の敷地で楽しく戴く。子供達は育ち盛りとあって凄い食欲だ。田宮委員長は一人あたり2個計算でおにぎりを購入したのだが、3個食べる子供が続出した為広報委員会の西枝・森田ワイズの分がなくなった程であった。屋外で戴くとたとえコンビニのおにぎりであっても妙に旨いものだ。



和敬学園に沢山のサツマ芋をお土産に差し上げ、我々は一袋千円で購入しニコニコ資金とした。皆の笑顔と丸々と育ったサツマ芋を載せて車は一路帰途についた、

単年度事業ではあるが、事情が許せば来期も継続したら良い事業ではないかと感じた。

今期の地域奉仕委員会は、ランチと配食弁当と喫茶のお店「はい どうぞ」でのランチミーティングを何度か行なっている。

この「はい どうぞ」は、前期パレスクラブ地域奉仕事業で単年度支援した、NPO法人 小規模共同作業所ふれあいほうむ“どうぞ”（障害があっても地域で働き社会参加したいという人々の願いをかなえるべく開設された共同作業所だそうです。）が、今年3月にオープンされたお店で、そこで作られている手作りクッキーや小物類も店頭には並べられ販売されている。あいにく今期事業での支援はしないが、出来る限りそのお店を委員会で利用しているようだ。そこで、小生も始めて訪問させて頂いた。BIVI二条から西へ少し入った木造民家を改装したお店は、明るくて中々お洒落な雰囲気だ。

早速ヘルシーで美味しいランチを賞味しながらの会合が始まり、役員会報告のあと、来る10月29日に行われる和敬学園生・サツマイモ収穫招待の最終打ち合わせが行われた。今年6月に植え付けされた苗が順調に育ち、田宮委員長が試し掘りしてきたサツマイモを見せて貰ったが結構な出来栄えで準備万端であり、当日のお天気を願うばかりだ。皆さんに参加のアピールを、と一瞬思ったがこのブリテンが発行される時には終わってるやん（残念）。号外版も検討しようかな～（アカン委員長に怒られる）。

また、国際協力募金については本来Yサ事業ではあるが、募金の使途が世界中で危機に瀕する人々の為のものでグローバル コミュニティーサービスの観点からは当然ながら地域奉仕委員会としても全面的に協力するとの確認がなされた。

さすがに何事にも真面目に取り組んでおられる。（当たり前や！オマエが不真面目なだけや、なんてお叱りはご容赦を・・・）今後もワイズデー、献血、TOF例会等々、最後まで事業は目白押しですが、ご活躍を期待したいと思います。

奉仕クラブであるパレスが直接奉仕に関わった事業を行っているのが、この地域奉仕事業とYサ事業だけです。そこで何が言いたいか、奉仕クラブメンバーとしてはこれらの事業への積極参加が基本的義務ではないのか？

てな訳で、皆さんの積極的な参加及び協力をお願いしたいと思います。

（出席者：田宮、岡見、平井久、ゲスト高岡・河合）敬称略

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

年がら年中の読書

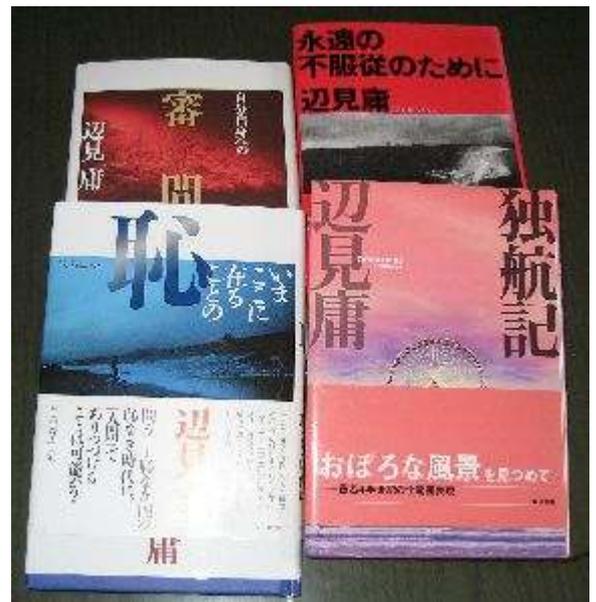
西枝 攻

夜毎、布団に入り、睡眠剤を一粒飲み、睡魔が襲うまでが、読書タイムである。ここ数ヶ月で胸にドスンと来たのは辺見庸著「自分自身への審問」「いまここに在ることの恥」（いずれも毎日新聞社）の2冊。作者は講演中に脳出血で倒れ、さいわい命は取りとめたが、リハビリ中にガンが発見され、1年4ヶ月の闘病生活の間、パソコンとの闘争をし、今回上記2冊の書が発刊された。

私に書評を書ける程の能力はないのでやめるが、数年前、著者の「もの食う人々」という書に出会いさらに「永遠の不服従」にめぐり合った。それがきっかけとなって、今のような読書スタイルが出来た。それを通して著者の政治、社会、死、神、人間への確かな見方と何を読むべきかの多くを学んだ。そしてこのあたりから、若い時代に読んだかもしれない、泉鏡花、太宰治、坂口安吾や諸々を数冊枕もとや、手洗いでウン子やりながら読む癖がついた。もう完全な乱読状態でもある。

新幹線などでの出張時は至福の時である。今読書は趣味をこえた、生活に密着したものになりつつある。そして読書に必要な目だけはメンテナンスをやらうとも思っている。

週刊文春、週刊新潮もなかなかだけど、この2冊と毎日新聞の夕刊で合計約700円を使って、東京出ても新横浜過ぎた頃には、読了である。その点「文庫本」は京都着くまで充分堪能できて、500円前後。これほどの趣味はない。



「奉仕の心」について
(第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

第8、ワイズメンとして障害になること

1、これはまず第1に、自覚がないとだめです。この例会に参加することの自覚がないとだめです。これはひじょうにだいじな所です。「自分が自分に対して言いきかす」、こういう要素がないと、何年たっても自己改善はなされない。

だからワイズメンズクラブのメンバーと、ワイズメンというのを分けたいと思いますね。自覚のない会員は、これはイン・アクティブ的メンバーですね。どんなに積極的に動いてもイン・アクティブ的メンバーでございまして、こういうのをワイズメンズクラブの会員とこういう具合によぶんです。ワイズメンとはよんじゃいけない。

自覚のある会員がワイズメン、こういう具合にいえばよろしいのだらうと思います。自覚だけはつけてあげられないのです。あなたがあなたについて言い聞かせなければだめなのです。

こういうことです。自分の中にはですね、即自的な自我というものと、対自的な自我というものがございましてね。即自的の自我というのは、お腹がすいたら御飯をたべる、夜眠くなったら寝ると、肉体の欲望によって支配せられたところの自分のことを即自的の自我と申します。

対自的な自我というのは、これは、湯浅先生の領域でございまして、自分と絶えず、絶対者とを対峙させて、絶対者の前に立った自分というものの言い分ていますか、言うことによ一耳を傾けて、即自的な自我の軌道修正を行なう、こういう自我のことを対自的の自我と申します。

実は自覚の問題と申しますのは、対自的の自我の問題でございまして、御自身が御自身によ一語言ってきかせるという気持ち、肛構えがないと奉仕クラブというものは絶対に始まらない、こういうことです。

2、それから第2点、これは自己改善の障害ですね。自覚のない人は奉仕クラブのメンバーとしては、これはもう何にもならない、むしろ退会した方がいいのです。会費負担だけで、経済的なマイナス要因になりまして、それ以上のものを何にも与えてくれない。自覚がございまして、経済負担以上のものを、奉仕クラブが与えてくれますから、したがって、この金銭は決して高いものにはならない。

パレスクラブの会費はひじょうに高いというお話をうかがっておりますが、これはパレスクラブが、どういう業績をあげているかということによってきまる問題であって、会費それ自体の高低を議論するわけにはいかない。これはなにも会費が高ければいいことができるということ、申しあげているのじゃなくて、会費が安くても自覚があればやれることはあるだろということ、申しあげているのです。

3、もうひとつは自己改善というものは期間かかるってことです。これは自分の対自的の自我をもってする、即自的の自我の抑制を、と申しますか、発展をこのクラブの活動に参加することを媒体として行なうという理論行動を示すことができますので、たとえばわたくしが京都のパレスクラブの会員だったといたしまして、おれはいいクラブにはいっちゃったなあってね、とにかくあのクラブにはいると磨かれるんだ。で、俺はこんなに磨かれて、磨かれすぎてしょうがないよ。これって、いいから会費が安いねえーなんていうことは絶対におこらない。という原因は、なぜかと申しますと、自分にとって自分は無限に近いということなのです。

いかなる電子顕微鏡をもってしても、自分というものを測定する基準を自分は持たない。だからこの長期間かかるということになりますと、無自覚的に起こってくる。自覚せいなんてことはおかしい、無自覚的に起こってくる。あるモーメントを経ますとね大へんな苦勞をすとか、それからクラブの中、内外でよろしい、外でもよろしいです。外で企業経営でたいへん苦勞をした。そしたら俺ワイズにいたおかげで、この苦勞を乗り切って、なるほどワイズで体得したものがこれだったんだなということが、自覚の体験にかえてくる場合もございまして。

4、この自覚的、無自覚的というのは、実はこの実践活動をこちらへ組みますときに、この二つのことをよく頭の中に入れてなきゃならない。こちらの実践活動は無自覚的なものを自覚的にさせるために、こちらのプログラムを組む、こういうかたちでこちらと密接な関係がございまして、特に御注意をいただかなきゃならない。

これは重要なところだということなので、いつも無自覚なばかりではおかないぞ、そういう活動もクラブでは企画、立案、実施するのだ、こういう形になってまいりますから。さあこれだけの説明をいたし、だから自覚がなきゃならないし、長期間かかるってことは辛抱してもらわなきゃ困るし、奉仕クラブの辛抱は世俗の問題でなければならぬのです。

第9、ワイズは宗教活動ではない

1、そんなに宗教がよければ、さきほど述べましたように教会にいらっしやい。ロータリーをつくりましたポールハリスとよばれる弁護士は、敬慶なクリスチャンでございまして、シカゴの街に出てまいりまして、知り合いのない、それで自分と同じようなさびしい思いをしている人が身の廻りに何人かいるのだらうと思って見廻したら、由舎から出てきた中小企業の経営者、特にこれが甚だしい。なんとかしなきゃいけない、こういう種類のさびしさを救ってくれるのは教会でなければならぬと思って自分は教会に通った。

1898年のその彼の記録が残されておましてね。教会といえども、現代都市生活から発生する、殊に職業人の感ずる疎外感というものを救済するには無力であった、とっております。

だから、なにか別なやりかたで、これを作っていかなきゃ、解決していかなければならないというので、職業人の社交クラブ、これが2年後に奉仕概念を生みだしまして、職業人の奉仕クラブになるに至ったということなのです。

- 2、だから、YMCAでもできないようなことを、YMCA運動の延長上に何かのことをしようという切実な問題意識もなしにワイズメンズクラブというものには捷唱できないと思うわけであります。ですから本来宗教団体では出来ないようなこと、だから世俗の人間の中の諸善諸悪をもった人達が、その諸善諸悪をもまた例会の中にある程度持ち寄って、肩と肩とを寄せ合うという姿勢がどうしても必要だろうということであります。

だからバンドをやらなきゃならない時はバンドをやる、それから七面倒臭い議論をいうのがあったらそれを黙ってきくとか、それから自分なりに控え目なことではあっても、何かお茶でも酌んでいるとか、何でもよろしい。そういう世俗的なつきあいをしながら、自己改善というものを求めていく。

その自己改善によって得られた心の向上のことを、パーソナルベターメントのことを、この奉仕クラブはこれを奉仕の、あらゆる奉仕の実践に直結するものになる「奉仕の心」と、こういう具合にいう、あるいは「奉仕」と、こういわずに何ならなんにも奉仕の実践は起こらないんです。ですからここは特に御注意をいただきたい、というのが、これが総論的な説明です。

- 3、だけど、これではよく判ったことにはなっていないのです。そこで、この中をこれはまず、ラッキョの皮を一枚ポーンとこうめくってみたら、これがでた。もう一枚めくって、さて芯に何かがあるかを出してみる、とこういう形になるのです。これがよく判ってないと、こっちがいかないのです。

ですから自己改善だの奉仕の心になるほど判ったと、考え方の筋道は言われてみりゃその通りだ。ですから地域社会における一職種の中でリーダーシップを負っておられる、良質な職業人、若い人もある、年寄りもある、そんなことはどうでもいい、大学を出ても出なくても何でも教養なんか構わない、それらの人達に「生涯教育の場」を与える唯一の団体が、これが奉仕クラブだということが分かります。ひじょうに大事なものが出てくるってことなのです。

>>>12月号につづく。お楽しみに

お知らせ

10月度役員会報告

承認事項

第1号議案 オータムフェスタ振り替え例会の件(三役)

為国ワイズを実行委員に推薦。別紙資料をオータムフェスタ実行委員会に提出。『どうぞ』のクッキーを一万円分購入することを承認。当日のゲスト会費(一人2000円)はクラブ負担で行うこと。

第2号議案 第二例会(ファンド例会)の件(ファンド委員会)

白沙村荘にて行う(下見後最終決定)、ゲスト会費6000円、メネット会費・5000円。酒類は当日ファンドとして販売する。ボジョレーについては事前に予約販売を行う。

第3号議案 クリスマス例会の件(ドライバー委員会)

PTを三役、ドライバーで構成する。アトラクションとしてマジシャン『カラー』を30万円(交通費込み)。

第4号議案 YMCAユースリーダー研修会の件(Yサ) 奉仕事業会計より2万円の拠出。

第5号議案 11月5日国際協力街頭募金の件(Yサ委員会)

募金箱をメンバーに配布し後日回収。街頭募金へはメンバーが自主的に行くこと。

第6号議案 ワイズデーの件(地域奉仕委員会) 11月18日に実施。詳細は後刻。地域奉仕委員会一任。

第7号議案 ファンドポテトの件(ファンド委員会)

価格はポテト1700円、かぼちゃ、玉ねぎ、サツマイモは2100円で承認。20個未満の配達については3000円ファンド。当日の手伝は、弁当支給し、出欠は引き取りのみも出席扱いとする。

第8号議案 EMC1泊オリエンテーションの件(EMC) オータムフェスタ準備の為、延期。

第9号議案 村田さん入会の件(EMC) 10月第一例会で入会式。二次会補助として5000円の拠出。

第10号議案 高岡君お見舞金の件(三役) 会則に基づき、見舞金を承認。(9月第2例回にて渡し済み)

第11号議案 退会者の件(三役、EMC) 三尾啓君退会は7月1日付けで受理。

第12号議案 独身メンバーのHAにかわるセレモニーについて(三役)

次期より実施するかどうかを含めて次期準備役員会への申し送り事項とする。

11月のスケジュール

1日 11月役員会・ブライツホテル

5日 YMCA国際協力募金

12日 11月第1例会(振替例会)リトセンオータムフェスタ参加・午前10時開始

22日 11月第2例会(ファンド例会)白沙村荘・午後7時から

Happy Birthday

13日 吉岡明彦君 19日 西川寿一君 17日 川上ひで子メネット

Happy Aniversary

2日 田宮慎治・宣子ご夫妻 3日 小桜武彦・八重子ご夫妻 10日 荒川徹・恵子ご夫妻
28日 堤雄次・良枝ご夫妻 30日 隠塚功・文香ご夫妻

YMCA NEWS

1. 世界YMCA・YWCA合同祈祷集会

毎年11月第2週は、世界YMCA・YWCA合同祈祷週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りがさげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同で祈りのひとときをもつべく計画しております。

とき 11月13日(月) 開場 午後6時30分
会場 京都YWCA(上京区室町町出水上る)
テーマ 「生き方を変え、コミュニティを変革する」
参加費 500円(簡単な軽食を用意します。)

2. 施設改修資金募集リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしています。都会の雑踏を離れてご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。子どもも大人も楽しめるゲームや催しもあります。送迎バスあり(事前申込要)。

日時 11月12日(日) 午前11時15分～午後3時
場所 京都YMCAリトリートセンター 電話0774-24-3838
入場料 チケットをお求めください。(大人2,000円 小学生1,000円 幼児 無料)
※チケットのご購入が施設改修資金になります。駐車場無料。

3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月5日(日)は京都YMCA国際協力街頭募金の日です。
このプログラムは京都YMCA国際協力キャンペーンの一環として行われます。
平和を訴えていく一つの機会として、是非ご参加・ご協力ください。

日程 11月5日(日)
集合 午後12時30分 京都YMCA 三条本館
国際理解セミナー(国際理解・国際協力について)午後12時45分～午後1時30分
街頭募金 午後2時頃～午後4時頃
解散 午後4時30分 京都YMCA 三条本館
募金場所 三条河原町・三条大橋など市内10ヶ所

※雨天決行(警報の出る可能性のある実施については当日午前10時に判断いたします)。

天候不順の場合は事務局にお問い合わせください。

※当日昼食を済ませてご参加ください。

編集後記

秋到来。今月は絶好の季節を迎えパレスメンバー諸氏にも色々な動きあり。
丁度具沢山の寄せ鍋?のようなそんな内容盛り沢山のブリテン11月号。
お好きな薬味をトッピングしてふーふーしながら味わって頂きたい。

Mail pr@kyoto-palace.com
Fax 075-257-6566
Tel 075-257-6767

(委員長・森田美都子)

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

12 2006

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
200612.1 発行
第36巻 第6号通巻414号
CHARTERED 1971

クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 “One for all, all for one” 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書記 堤 雄次
書記 平野雅幸
会計 山本一博
会計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
EMC-M

聖句

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。
わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。
ヨハネによる福音書第1章14節

心をもとめて

今月はEMC強調月間です。この紙面で今一度EMC委員会の役割について学んでみます。EMCとは①Extension②Membership③Conservationの略でそれぞれの頭文字をとったものです。

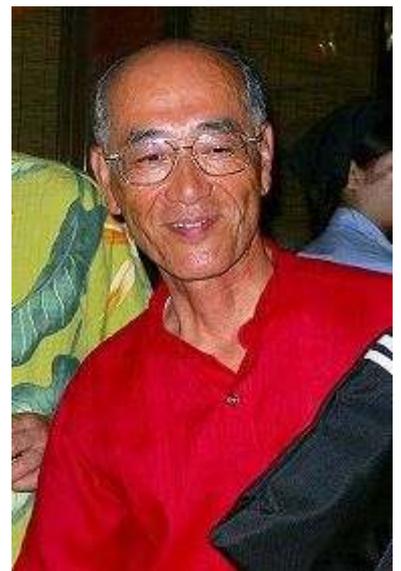
①Extensionとは、新しいクラブ作りをサポートすることです。クラブのメンバーがおおよそ4、50名以上の人数になってくるとその若いエネルギーが核分裂を起こすように、時として新しいクラブ作りの機運が盛り上がってきます。時にはあなた自身が新クラブのキーメンバーとして移籍する覚悟が必要です。こうしてワイズメンズクラブは増殖して行きます。

②Membershipとは、会員増強の為の働きのことですがクラブが力強い活動をつづけるためには、少なくとも20名の会員が必要ですが30~40名が理想的です。新しい会員を獲得するためには、クラブは絶えず新鮮な魅力と若々しい友情がなければ不可能です。

③Conservationとは、具体的には出席率の高揚運動として理解されています。会員の脱落は例会の欠席となって現れます。欠席者に対するアフターケアは、新会員の獲得以上にむつかしいことです。やむを得ず例会に出席できなかった会員のために他クラブを訪問するメイクアップによる出席制度があります。当委員会は喜んでその方のために同伴します。以上がEMC委員会の働きですが、今期パレスクラブは5名のメンバー増を計画しています。この数字が達成されたら人数では世界一のクラブになるはずで、数は力でもあります。あと4名です。皆様のご協力よろしくお祈りします。

以上3つのことを達成するには、クラブ運営に「心をもとめて例会に至り、境地を得て例会を去る」との基準が大切だと思います。

EMC 委員長 杉井恭敏



例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
11月第1例会	31名	11月第1例会	0円	切手	0PT	11月	0円
11月第2例会	36名	11月第2例会	34,000円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	91.5%	累計	156,000円	累計	0円	累計	47,233円

EMCに思うこと

EMC 副委員長 川勝政男

「EMCについて」何かを書きなさいと指名され、(ホナ)書きましょうというほどEMCについて考えたこともなく、自分なりに入会してからの事について書かせていただきます。

パレスクラブに入会して今年の12月で7年目を向えます。何がワイズで何がYMCAも分からずに入会して確か2年ほど過ぎ、周りの方々が私をパレスの一員として認めて貰っているような気がしていた頃に、ある大先輩からあなたはもう新入会員ではなく列記としたパレスクラブの一員だから自分から行動しなさいと注意され、嬉しいようで・少し自分に寂しく思ったことを思い出します。それから4年が過ぎました。

以前、友達の入会式で私は、「50歳を過ぎたらこんなに大勢の友達を持つことはできません。あなたはこのクラブに入会することで同時に45名(確かあの頃のパレスクラブの会員数)の友達が出来ました。」とスピーチをしましたが、今まさにそれを実感しています。

入会2年目に韓国を訪問3年目に交流委員長になり東京・熱海を訪問、4年目に京都YMCA創立100周年記念でリトセンに研修・宿泊棟建設の設計コンペがあり、幸いにして私の案が採用されて、他クラブの方々・YMCAの方々とも知り合いになりました。5年目に書記で台湾を訪問し、今年の西日本区の大会で他のクラブに在籍している設計業界の先輩に30年ぶりにお会いし、感動もしました。またEMCとして他クラブ例会に出席し、今では200から300名それ以上のワイズの和が拡がりました。

私がパレスに入会しなければ、きっとこの様な人間関係ができなかったでしょう。ところで私は思います。これからはどうすればいいだろうか。

パレスクラブは、奉仕クラブである為にYMCAに・地域の為に奉仕で帰さなければならない。私は、EMCでもっと・もっと友達の輪を広げて、この中から少しずつできることで奉仕という名の和を拡げてゆきたいものです。



11月第1例会「オータムフェスタ例会」(第851回例会)

日時 2006年11月12日

場所 リトリートセンター

吉岡明彦



11月の第一例会としての、オータムフェスタが行われました。リトリートセンターが何も無い茶畑の中から、木を植えられ造られた当時のお話を興味深く聞くことが出来ました。今のりっぱな宿泊棟・研修棟他多くの建物が無い時代のご苦労が良くわかりました。初めてこの話を聞かれたメンバーの方もいらっしゃったと思います。

朝早くから、川上次期会長ほか多くの皆さんに集まっていたいただき、ピザの準備・音響の準備がテキパキと進められました。送迎用のバスも到着し、各メンバーがそれぞれの役割分担に応じ用意が進み、気分も盛り上がった頃開始時間となりました。開始早々パレスのピザは好評で、如何に早く焼き上げるか、暖かいピザを待たせずに渡せるかメンバーに工夫していただ

きました。

会も盛り上がった頃、いよいよ綱引き大会が始まりました。クラブ対抗で、みんなが参加できる綱引きはぴったりの企画でした。(山本一博さんエライ!)メタセコイヤの木の広場が皆さんの熱気であんなに熱くなるとは思いませんでした。なかでも、番外として行われた、子ども達対ベテランのメンバーの方の綱引きは特に盛り上がったように思います。大会の結果は予想通り(?)パレスの優勝で終わりました。

終盤には、ステージで井上会長・川上次期会長も参加されコンサートが行われました。みんなが良く知っている歌が中心で、みんなで盛り上がり会場がひとつに成れたと思います。仕事の後、夜遅くまで練習された成果の感じられる素晴らしいコンサートでした。多くのメンバーが参加され、秋の一日を楽しめた例会だったのでないでしょうか。

※オータムフェスタ例会写真集



11月第2例会「ファンド例会」(第852回例会)

日時 2006年11月22日

場所 白沙村荘

谷口武士

11月第二例会は、深まりゆく秋にふさわしく日本画家橋本関雪の邸宅跡として名高い白沙村荘で開かれた。池泉回遊式の名園は、国指定名勝に選ばれるのが、なる程と信じられるすばらしい庭である。座敷の鴨居の立派さに感嘆しきり、3500坪の敷地にまた唾然!! そうそう本日はファンド例会である。私は、ファンド委員として早めに到着し西村Ysの指示でグラスの準備などなど・・・午後7時、為国Ysの司会で始まり、事業報告、ハッピーバースデー、ハッピーアニバーサリーと続き、橋本副館長の挨拶をいただく。

高田ファンド委員長の例会進行の説明、西村Ysのさまざまなワイン、飲物の紹介。そして次期会長川上Ysの音頭で乾杯、食事が始まる。

日本が1番早く解禁になるボジョレーヌーボーは、ワイン好きの人には楽しい季節でもある。さまざまな種類の料理が並び、鹿の刺身もあり、3人の美しいお嬢さんに軽口を言いながら、ワインの苦手な私は、日本酒で戴く。ワインに関するクイズが有り、為国Ys、永井Ys、隠塚Ys、堤Ys、田宮Ysが当たってワインを持ち帰った。

お酒を飲む例会であるが、もちろん飲酒運転者は誰もおりませんぞ?!



「京都部ワイズデー・HIV/AIDS ワークショップ」

2006年11月17日(金)19時～

YMCA三条本館202号

地域奉仕委員 杉本泰造

五年間のワイズ統一活動事業であります、HIV/AIDSの偏見と差別を無くすワークショップ(勉強会)が京都部の主催で開催されました。

この事業は今年で二回目を迎え多くの人々の注目を集めています。今回は京都産業大学教授 鬼塚哲郎氏を講師に迎え「アジアのエイズ」のテーマで貴重なお話を聞きました。京都部から地域奉仕委員は必ず出席して下さいとの事で私と会長が出席しました。ワイズとYMCA男女のリーダを含め40名の参加があり202の部屋は熱気に溢れていました。

鬼塚教授は、エイズは人類の遭遇した最強のウイルスで「医学的困難では」・ワクチン開発の困難・耐久性ウイルスの出現・生体から駆逐不能・「社会的困難では」・行動監視の難しい行為(性行為、薬物使用)で感染・人の油断を誘う・差別、偏見を誘うと様々の人間の幸せを奪う事例が出てくる。今世界のエイズ患者は3860万人でアフリカ・アジアに多い。日本では感染者7392件・エイズ患者3644件と毎年若い人が増えている。それは殆どがエイズに対する無知から来ており、罹って始めてパニックになる。ワイズメンとしてエイズに対する関りはこれから避けて通れない課題であります。

最後にグループごとのワークショップがあり若い人達とのエイズに対する話が色々とでましたが、書面にするには憚れる言葉が多数ありますので此処では割愛致します。明日は我が身、我が家と為らぬよう皆さん良く考えて行動しましょう。次回のワークショップは2007年2月18日(日)ワイズデーとしてエイズ問題を取り上げて開会されます。多くの人々の参加を願っています。



「結婚しました(喜び)」

平野雅幸・直美

2006年11月18日、大学時代の同級生で、同じサークルに所属していた女性と上賀茂神社にて結婚式を挙げました。妻の名前は直美といいます。アウトドア好きですのでパレスの行事にも度々参加させていただく事になるかと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、上賀茂神社での挙式の後には三条神宮道のパビリオンコートという会場で披露宴。親しい方々の協力を得て素晴らしい披露宴を行うことが出来ました。最初は和服で一度お色直しの時間を頂いて洋装にチェンジ、進行の都合で限られた方にしかマイクを向けさせていただく事が出来ませんでした。さまざまなエピソードやお祝いの言葉をいただきました。義父さんの精一杯挨拶される姿を見て、ちょっと目から汁が出て言葉に詰まってしまったのは予想外でした。

その後、マイクロバス2台に参加者を寿司詰めにして、ミステリーツアーと称し天保山の海遊館へと向かいました。道も混雑しており、時間の読みも甘かったために参加者には退屈な時間になってしまった感じがします。当の本人たちは希望の場所で二次会を行うことが出来ましたので大満足でしたが……。一日お付き合いただいた方はさぞかしお疲れになられたことと思いますが、一生の記念に残る素晴らしい一日となりました。

パレスクラブからは早速にHAの招待状を頂き、また過分なるお祝いを頂戴しまして誠に有難う御座いました。本来であれば11月第二例会には妻もそろって参加させていただくべく予定していたのですが、疲れからか体調を崩してしまい連れて行く事が出来ませんでした。またあらためてクラブの皆様にはご挨拶させていただきます。どうぞこれからも一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」
「僕のリサイクル」

杉本泰造

何時も考えているのは、人間は何処までリサイクル出来るかであります。還暦を過ぎる頃から、老眼・頭髪の変化・高血圧・糖尿・前立腺肥大と、怒涛のように加齢症候群が押し寄せて来る。歳をとりたくない、人に年齢を云いたく無い。人間はかならず枯れてくる。僕の場合、一番顕著に現れて来たのが45年もしてきたゴルフであります。先ず飛ばなくなってきました。以前はこの松を越えてきたのに、松が移動したのかと思う程に・・・それに肝心なところでパターを外す。昔はシングルで肩を張ってホームコースを闊歩していたが正に「名馬も老いては驚馬になる」と情けないゴルフをしておりますが、最近フト考えたのは10年前のゴルフにどの様にしたらリサイクル出来るか、思案六法考え試しています。

先ず飛ばない分セカンドが打ちやすいフェアウェイを外さない。パター、アプローチを重点的に練習する、これは年齢関係なく上手になれる。段々足が遠のくクラブ競技に積極的に出て、同年齢の上手な人の技をぬすむこと。特に競技のもつ独特の緊張感は10年前の自分にリサイクルさせてくれます。これで少し上達したら対外試合に出て予選通過を目指し、決勝に出る・当面の目標は関西グランドシニアの予選にでることです。ちなみに予選を通過出来る力のあるゴルファーのハンディは8以上で、所詮夢であります。リサイクルの為に挑戦しなければならない。YMCAの理念であります智・徳・体を磨く事は僕のリサイクルには理想ですがこれが又なかなか難しいのです。煙草を吸う姿は歳を増す。お酒を沢山飲んで酔っ払う姿は情けない。

人間のリサイクルには節制がつきまといます。若さは衰えるが、花は散った後実をつけます。これからは心の成長も心得て、自分自身をリサイクルしていきたいと思っております。「ところで、写真の可愛い女の子はさて誰でしょう」。



>>> 次回は誰に?? 乞うご期待!!

奉仕クラブの基本原則(第5回)

「奉仕の心」について (第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

第10. 奉仕の心はどうして一作れるか

さあそこで奉仕の心というのは、じや、これはうちは結構だと、自己改善といってもそう目に見えないし、自覚の無自覚的なものが、あらかただ、ということになると、判ったようで判らない、こういうことになりますので、そこで判ったようなところへもっていきこう。そうすると、こういうものをつくるための親睦というものが、何から成り立たなきゃならないかという問題がでてまいります。

第1に、奉仕クラブのメンバーは、奉仕の心をつくるため、体得するためには、自ら奉仕の受益者たれ、こういうことを言わなくちゃいけない。これは何を言いたいのかと申しますと、奉仕クラブのメンバーの間で困ったことがある。或いは商売上のことがあるかも知れません。それから家庭生活上の相談があるかも知れません。それから他人の相談を持ち込まれて困っている、というようなことがあるかも知れません。その物心両面すべてについて、ワイズメンが相互の間でまず助け合い運動をしなければいけない。助けられないものがなんで助けられることの意味合いを体験的に自覚することができるか、これはおやりになってますか、やってないでしょう、やってないと思うのです。だいじだと思うのです。

何か心配ごとが起こったら、例えば病気になる。ワイズメンと関係のあるお医者さんのところへとんでいく。ワイズメンのお医者さんは、「ワイズメンで良いね、これだけ来てくれると、保険の点数が増えちゃって、おれ結構商売になるな」それはいけないのです。「よく来てくれた、病気は治さなきゃならない、わしにまかしといってもらいたい。金銭のことは後

廻しだ」と、出世払いについてもあるし、あるいは払わなくともいいだろうと、これがなければきいちゃうんですね。

こういう種類の助け合いは、ありとあらゆる場合で、起こり得るだろうと思うのです。日頃は例会と例会との間に離れてますね。離れてる時に、何か一旦緩急あったら、「そうだ、この専門の分野のあれがいたな」てんで、そこのところへ飛んで行って、「どうした、どうした」と。そんなことなら俺にまかしてきてくれよ、これが今の奉仕クラブの中でほとんど行なわれていない。日本ではですね。だからこれをやっていただきたい。

それから第2に、これは実は第3とひじょうに関係をもってまいりましてね、なぜこれをやるか、体験的の自覚が必要だ。メネットのかたがたでもやっていただきたい。こういうことが行なわれないと奉仕の心なんてものは、絶対にこの体験的な世界の中にはいってこない。

こんにちの奉仕クラブが衰退しつつあるのは、これがないからだ、といってもいいと思います。

第3に、世俗の論理の切断点、世俗的なものだと言いながら、世俗の論理の切断してところがおもしろいとこなのです。

世俗的なのです。宗教的ではないのです。だけでも奉仕クラブの世界にはいったら、世俗の論理を切断する、これはひじょうにだいじなところなのです。

ひとたび奉仕クラブの世界にはいます時には、これは出来るだけと言っておこななきゃいけないのです。これは世俗的団体の特徴なのです。宗教だと厳然とやらないといけません。できるだけ世俗の論理を切断するようにしなければなりません。これは何かと申しますと、2週間に1回の例会に集まる時にまず世俗の憂きことを忘れる、これが第1です。

それから第2に、年よりは年よりのように、それから若者は若者のように、自己改善の契機を求めために集うわけです。だから、おれは年よりの、人生経験はあるのだぞ、お前の言うことなんぞ聞かないよという、こういう姿勢だと奉仕クラブは瓦解しちゃうのです。

だから、奉仕クラブの中にはですね、世俗の論理というものを絶対に持ち込んではいけません。この世俗の論理を持ち込まないというところに、奉仕クラブが、一点宗教性があるとよばれる要素がチラッとでてまいりまして、ここのことなんです。わたしはYMCAとはできるだけ、自立して自立しきれぬものでない、自立するものが深いところでこの太い綱で結びつけられている、ここから逃がれることはできないということです。

ですから、YMCAの指導者もワイズメンの中におはいる時には、自己研鑽の目的をもって入っていただきます。キリスト者はワイズメンの例会で仏教徒に会い、そこ心から新たな発想を得て、よりよいキリスト者になって立ち戻っていく。

昨日の湯浅先生のお話の中にも、宇宙を掌られる万能の主の存在は、進化の法則に適応すべきものである、ということをおられる。

進化の法則を一体われわれは何によって知るか自分の殻の、思想の殻の中にもっている人間というものは、容易に、日常性の中に埋没して、自己を見失う危険性というものがございます。

それに衝撃を与えてもらうためには、自分と全く発想のちがう人に会うのが一番よろしいということ、奉仕クラブは原理的にその根底にもつておる、ということをおしあげておこななければいけないのです。世俗の論理は絶対にできるだけ切断してもらわないと困るということです。

第3番目に、わたしが東洋人でありますから、東洋人はこういう種類の思考を持っておりますから、これを東洋的な感覚のこぼれで捉えることができる。高度の因縁の自覚、これをソリタリテイ。ソリタリテイとは紐のことを申します。だけでも具体的に目に見える紐のことをストリングと申しまして、これはソリタリテイとはいわないであります。

ソリタリテイと申しますものは目に見えない紐のことをいうのであります。その心をもってみればみることのできる、目に見えない紐をもって自分を中心にして、宇宙のすべての人たちが結ばれていると、こういうものを自覚する。だけどこの考え方は漠然としすぎる、これをクラブメンバーの相互の間で、だから相互扶助と関係がある。高度の因縁の自覚をやらなきゃいけない。ひとりの会員が休んだら、他の会員の心はどんなにさびしいだろうと、こう思えば、自分ひとりが休むわけにいかない、ひとりが死んだら、他の人たちはどんなに悲しむだろう。悲しんでいる自分というのは、他者ぬきには存在しないでしょう。

ここにわたくしが言いたいのは、奉仕哲学の「親睦の活動の中に、高度な自他を分かたぬ思考がなければならない。自分なくして他人はない、他人なくして自分がない。それを体験的に自覚する」このためにクラブライフというものがある。遊ぶ時には遊んだらいい、冗談をいう時には冗談をいうたらいいが、中心になるものはそういうものでなければならない。ここに奉仕クラブのひじょうな尊さというものがあるんだ、この3つのものです。この3つのものが具体的な親睦の内容になってこなければならない。

これを絶えずみながら、具体的なプログラムというものをチェックしていただく・プラン・ドゥ・アンド・チェックと、こういうのでしよう。

チェックするにもわたし昨日お話きましてね、いまの状態じゃこれはプラン・ドゥ・アンド・チェックにならないなあと思っていたのですが、これを聞くんですね、プラン・ドゥ・アンド・チェックができるようになる。これをもとにおやりいただきたい。ほかにもいろいろ原則がございますが、これが主要なものでございます。このいずれかを抜きますと、奉仕の心はできあがらないから、したがって奉仕の実践は成り立たない。そういう具合に言わなければいけない。

第11. 奉仕のあり方

さあ、わたくしは最後に言いたいのです。これは素朴な善意の中から世のため、ひとのために動こうとする、多くの善意ではあるが無反省的な奉仕クラブメンバーに対して言いたいんです。

国家社会というものは19世紀から今日に至るまで、激動いたしておりましてね、自由と平等を目標にする社会の中から、われわれは今や福祉社会というものをつくりあげようということを国家は積極的に取り組むようになっております。憲法第25条に、国民はすべて健康にして文化的な生活を営む権利を有する。国家は社会保障、公衆衛生、その他の問題について最善の改善努力をしなければならない。名文の規定がございます。

この憲法25条の規定というのは、従来の憲法の歴史の中に存在していなかった規定というものが突如でてまいりまして、国家の基本的な性格が、こんなに著しく変わったのかという…ことをわたしも法律家はひじょうに、ショックを受け、また好ましい発展だということでこれを眺めるわけであります。

皆さん方が素朴な善意をもって活動せられる、養老院を扶助するとか、肢体不自由児をどうこうするとか、いう、いわゆる福祉の問題と申しますものは、これは国家社会、または地方自治体社会が政治権力を結集することを通じて、国家の責任、地方自治体の責任において実現することが期待せられるようになっている。法的な裏打ちが、このようにしてなされ、その時に奉仕クラブのメンバーは、その素朴な善意を一体どこへ持っていったらいいのだろうか、こういう問題がございます。

皆さん方がおやりになろうとするなけなしの金銭をはたいて、そして忙しい時間をさいて、頭数がないのに、むやみやたらとやろうとしているもの、これ、やっちやいけないって言ってんじゃないですよ。一国家の制度には限界性がございますから、しかしそれは本来的には、これは国家または地方自治体が法的な義務のもとに実現すべきものだ、制度だ、こういうことなんです。それと一緒に無手勝流のですね、奉仕クラブが競争して、どっちが勝つかということをお考えおきいただきたいと思うんです。

>>>1月号(最終回)につづく。お楽しみに

お知らせ

10月役員会報告

承認事項

第1号議案・11月第1例会(オータムフェスタ例会)の件(三役)。オータムフェスタPTを三役、Yサ、ドライブで構成、リーダーに山本君を任命することを承認。地域奉仕委員会がリトセン食堂補修のためのバザーに出店(クッキー販売)する事を承認。送迎バスを用意する事(バス代+高速代)を承認。

第2号議案・11月第2例会(ファンド例会)の件(ファンド委員会)

ファンド委員会より提案の収支目論見を原案通り承認。レセプタント依頼を承認。

第3号議案・12月第1例会の件(ドライバー委員会)

グリーンテック(株)山田会長を承認。

第4号議案・12月第2例会(クリスマス例会)の件(ドライバー委員会)

メネット・ゲスト8000円、小学生以下は無料、ドアプライズ景品代としてメンバーからの徴収を承認。

第5号議案・1月第1例会(新年例会)の件(ドライバー委員会)

会場を嵐山『良彌』で承認。

第6号議案・1月第2例会(半期総会)の件(三役)

半期報告書を書記まで提出(締切12月15日)の旨を確認。

当日、国際協力募金をYサ委員会で回収する事を確認。

第7号議案・国際協力募金へのクラブからの募金の件(Yサ委員会)

1月第2例会で回収する募金に加えてクラブよりも拠出し2月第2例会にて贈呈する事を承認。

第8号議案・10月第1例会スピーカー謝礼の件

10月第1例会のスピーカー(韓様)への謝礼の拠出と全額ニコニコでの受入を、事情説明の上、10月第2例会にて実施した旨を事後承認。

報告確認事項

1. 三役主催忘年会(12/29)について →現在、会場選定中。
2. 委員会の出席状況について →委員長と担当三役でより具体的な工夫を!
3. 京都クラブより要請のロビーコンサートについて →見送る事に決定
4. 11月15日グローバルクラブ訪問の件 →EMCが参加者を募って実施
5. 和敬学園サツマイモ掘りの件 →非常に好評であった
6. ワイズデー→京都部からの要請に添って会長と地域奉仕委員長で対応

12月のスケジュール

- 6日 12月役員会
- 13日 12月第1例会 (ブライTONホテル)
- 16日 会員クリスマス集会
- 20日 12月第2例会 (クリスマス例会)
- 29日 三役主催忘年会

Happy Birthday

- 4日 小櫻君、 16日 河合君、 18日 井上均メット、 23日 西枝メット、 31日 田中メット

Happy Aniversary

- 2日 金村君ご夫妻

YMCA NEWS

1. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

- 日時：12月15日(金) 受付開始午後6時30分 ロビーコンサートとクリスマス礼拝(午後7時から)
- 場所：三条本館および三条通・新京極周辺でキャロリング

2. スキーキャンプ参加者募集中!

会員外の方は各キャンプ費用のほかにシーズン会費2,000円(ファミリーは4,000円)が必要です。

A. 白山スキー 初心者～中級者向き 対象 小学1～6年生

- 日程 2月9日(金)夕～12日(月・祝)夜 3泊4日(3泊9食)
- 定員 80名(最少催行人数15名)
- 行先 白山瀨女(せな)高原スキー場(石川県)
- 宿泊 金沢学院大学白山麗研修センター
- 費用 47,000円(内申込金9,000円)

B. リトルキッズスキー春 初心者～中級者向き 対象 小学1～2年生

- 日程 3月26日(月)朝～30日(金)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)
- 定員 60名(最少催行人数25名)
- 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)
- 宿泊 木戸池温泉ホテル
- 費用 65,000円(内申込金10,000円)

C. 小学生スキー春 初心者～中級者向き 対象 小学3～6年生

- 日程 3月26日(月)朝～30日(金)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)
- 定員 80名(最少催行人数25名)
- 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)
- 宿泊 木戸池温泉ホテル
- 費用 65,000円(内申込金10,000円)

D. パワフルスキー 初心者～中級者向き 対象 小学1～6年生

- 日程 1月5日(金)朝～8日(月・祝)夜 3泊4日(3泊10食)
- 定員 80名(最少催行人数15名)

行先 飛騨高山スキー場(岐阜県)
宿泊 国立乗鞍青年の家
費用 45,000円(内申込金9,000円)

E. 中高生スキー春 初心者～中級者向き 対象 中学1年～高校3年生
日程 3月25日(日)夜～31日(土)朝 6泊7日(6泊10食、うち車中2泊)
定員 30名(最小催行人数15名)
行先 野沢温泉スキー場(長野県)
宿泊 野沢温泉ホテル
費用 69,000円(内申込金 10,000円)

F. チャレンジスキー春 中～上級者向き 対象 小学4年～高校3年生
YMCA ワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります
日程 3月25日(日)夜～31日(土)朝 6泊7日(6泊10食、うち車中2泊)
定員 30名(最小催行人数15名)
行先 野沢温泉スキー場(長野県)
宿泊 野沢温泉ホテル
費用 69,000円(内申込金10,000円)

G. ファミリースキー
日程 1月5日(金)夜～8日(月・祝)夜 3泊4日(3泊5食、うち車中1泊)
定員 10家族(最小催行人数20名)
行先 志賀高原一の瀬スキー場(長野県)
宿泊 ホテルむつみ
費用 幼児20,000円・小学生35,000円・大人(中学生以上)50,000円
お申込金1家族30,000円

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中!!

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

日程 2007年3月29日(木)～4月2日(月) 4泊5日
場所 神戸YMCA 余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)
対象 小学2年生～高校3年生 男女20名
参加費 54,000円(内申込金10,000円)
会員外の方は別途シーズン会費2,000円が必要です。

お申込・お問合せは 三条本館 電話075-231-4388 まで

編集後記

今号にて今年を終了。公約通り、多大なる関係各位のお力添えで、月初旬の発刊を半期達成。めでたさは「平野ワイズ結婚」のトピックスでうれしい締めとなった。お二人の永久の幸せと、パレスブリテンが来年も楽しい”ストレスフリー誌”となる事を祈る。

Mail pr@kyoto-palace.com
Fax 075-257-6566
Tel 075-257-6767

(委員長・森田美都子)

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

1 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.1.1 発行
第 36 巻 第 7 号通巻 415 号
CHARTERED 1971

クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 “One for all, all for one” 「ひとりみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
IBC. DBC

聖句

わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。
ヨハネによる福音書第8章12節



上半期を終えて

副会長 西川寿一

「さらなるクラブ活性化のために」を標語としてスタートした第36期井上会長の上半期を終えた今、いろんな予想もしない事があり、正直私自身としては「やっと終わったなあ」という感じを持っています。

例年上半期は事業が集中して大変忙しいのですが、今年はYMCA理解とサポートをより一層強めようという会長の方針により、これまでのリトセンファミリー例会を11月のYMCAオータムフェスタに振替えましたので、より一層忙しい上半期になりました。その上、井上会長もお母さんの入院等諸事情の為体調をくずされたため、皆が少しずつ代役を務める事で、上半期の目玉企画であったオータムフェスタ例会を乗り切る事が出来ました。

この例会実行に至るまでのプロセスは本当に見事で、メンバーの連携と適材適所の活動をみるとパレスの力はまだまだ健在であり、他のクラブにはないすばらしい団結力を持っている事が実証されたと感じました。その事は綱引き大会に優勝するという形でも表れたと思っています。綱引きは一人一人の力がいくら強くても勝てないゲームです。皆の気持ちが一緒になって綱を引かなければ大きな力にはならない。パレスクラブのメンバーの気持ちが一緒になって大きな力になり優勝出来たのです。

これからもこの気持ちを忘れる事なく、皆の気持ちが一つになるように下半期も色々な事業に取り組んでまいりますので、メンバー各位の更なるご協力をお願い致します。

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
1 2月第1例会	32名	1 2月第1例会	8,000円	切手	0PT	1 2月	1,446,012円
1 2月第2例会	40名	1 2月第2例会	6,000円	累計	0円		
在籍者数	49名			現金	0PT		
出席率	89.6%	累計	170,000円	累計	0円	累計	1,513,245円

12月第1例会「ゲストスピーカー山田浩典氏」(第853回例会)

日時 2006年12月13日

場所 プライムホテル

平井久夫

例年ならば、小雪が舞う頃にもかかわらず連日雨模様の温かい師走です。今日も雨の12月13日、第1例会です。司会は隠塚君です。定刻に開会の点鐘がされました。会長挨拶では街にあふれるクリスマスのイルミネーション、又、クリスマスケーキ、プレゼント等々を、楽しむ日本人、色々な文化、宗教を受け入れる事が出来る我々を「日本人の寛容性」と表現し、テーマとして話をされました。通常ならば、諸報告から食事へと移る所ですが、本日は、ゲストスピーカーの要望により、食前のスピーチとなりました。スピーカーは、グリーンテック株式会社、取締役会長の山田浩典氏です。テーマは[究極の生き方]です。山田さんは[太陽光発電、オール電化]等に関する事業をされていますが、本業以外に、メンタル、イノベーションセミナーを主宰されています。このセミナーは、6時間にも及ぶものですが、それを本日は、特別に50分に集約してお話いただきました。という事で、結論から入ると前置きされて[何があっても感謝]を結論とされました。人が秘めて持っている能力を引き出す為、又、高める為に何をすべきか、山田さんが読まれて感動された数々の文献を引用して、各テーマを解析しながら展開されました。人間だけでなく、太陽光発電などを含め、自然が持っている無限の力を引き出そうとするのが、山田さんの[究極の目的]のように、私は感じました。阿部主事の食前の祈りの後、食事、懇談時の各テーブルでは[感謝]と言う言葉が、あちこちで飛び交っていました。諸報告では、1月の京都部主催のボーリング大会の件と、4月のIBC 訪韓の日程についての案内がありました。そして定時、閉会の点鐘となりました。



12月第2例会「クリスマス家族例会」(第854回例会)

日時 2006年12月20日

場所 ブライトンホテル

田中一馬

クリスマス例会は前半のドライバー委員会の仕上げの例会である。三役さんとPTを組み数ヶ月前から段取りを行った。アトラクションは誰にしよ？プログラムはどないしよ？司会はだれがやんの？・・・少しずつ積み上げて当日を迎えた。まずは西川副会長を先頭にコメント・メネットによるキャンドルサービスの入場。うちのクラブにも小さい子供けっこういるやん！あと数年は子供のキャンドルサービスできそう！高谷名誉主事、会長の挨拶のあとよいよお食事の時間に突入。今年も全メニュー制覇と意気込んだが、ドライバー委員長としてのプレッシャーが早々にギブアップし、周りのメンバーとしばし談笑。わきあいあいとみんなとつてもいい感じ。

ふと時計を見るとアトラクションの時間が迫ってきた。今年のアトラクションはミスターカラーというマジックで、去年、別の会合で彼のマジックを見たとき、来年のクリスマス例会に絶対よんでやろうと思っていた。司会から紹介されミスターカラーが登場した。ぐちゃぐちゃの空の缶ビールが元通りになり最後は本物のビールが出てきたり、実際に名前を書いた1枚のトランプが未開封のお茶のペットボトルの中にあたり、消えた1万円がその場で切ったオレンジの中から出てきたりと、「なんで??」と感心するばかりの本当に楽しいマジックであった。

アトラクションのあとは井上会長サンタからコメントたちへクリスマスプレゼントがあり、そしてお待ちかねのドアプライズへと突入した。最後に残った目玉商品のアイポッド・ナノは見事に杉井くんがゲット！も本人はアイポットの価値がわからず、まさに猫に小判、豚に真珠状態！最後は「お正月」をみんなで歌ってお開きとなった。まあなんとかドライバー委員長の責任は果たせたかな？と思いつつ、ご協力をいただいたPTの皆さんありがとうございました。



「クリスマス週間」

広報委員会

12月になると街のアチコチでイルミネーションが輝きます。松ヶ崎のノートルダム学園でのイルミネーションです。さすが瀬戸さん、LEDを多く使った豪華なものです。また12月15日は恒例のクリスマスキャロリング。子供もええオッサンも童心に返っての、讚美歌行進。一方YMCA三条本館では15日、16日のロビーコンサートが開催されました。今年は第1年度のため、聴衆は少なめでしたが、15日は京都クラブが16日はセンチュリークラブが担当され、夕方6時30分からクリスマスらしい音楽会が開催されました。



「忘年会」

日時 2006年12月29日
場所 DINING&BAR きらら
小林 千春

さる12月29日、「きらら」にて三役主催忘年会が行われました。当日は、参加メンバーが20名を切ったり、参加メンバー中クラブ暦が一番浅いメンバーがボクだったりなどちょっと寂しい忘年会かと思われましたが、30分遅れでボクが参加したときには(遅れてスママセン)すでに組んず解れつゝの宴となっていました。

思えば、「さらなるクラブ活性化のために」という会長標語のもと船出した36期ですが、半期を終えてパレスクラブは活性化しましたでしょうか。それとも、沈滞してしまっているのでしょうか。これらの評価はメンバーの皆さんに委ねざるを得ないのですが、我々三役としましては、下半期も井上会長を中心に猪突猛進したいと思っております。

忘年会中、こんな堅苦しいことを考えていたりするといつの間にか綺麗どころが隣席されていて、初心なボクは勧められるがままに次々とグラスを空け続けて酩酊状態になったところで、空手家直前会長の号令のもと、女医さん+綺麗どころ×6名による正拳突きで1次会はお開きとなりました。

みなさま、下半期もよろしくお願いいたします。

(写真は次ページを見てくださいね！)



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」
「童心へリタ〜ンでリフレッシュ」

堤 雄二

今で言うならゲームセンター？みたいな所でした、道路に合わせて、車を左右にハンドルで動かし道路上のピンを跨いで行くゲーム機しませんでしたか？コレはいまでは、プレステなどのゲームソフトで、レーザー気分で遊べます、専用のハンドルセットも有ります、しかし、これで遊ぶと子供には絶対勝てないストレスたまりまくりになります。

そこで今回くつろぎのアイテムは鉄道模型(Nゲージ)です、線路幅は9ミリで、狭い我家でも何とか走らせられます、マニアは山や川、風景を作りジオラマセット？にする人もいますが、私はそのつど、適当に線路を繋げて走らす、コタツがトンネル、本が駅と頭の中は解釈している、元々子供に買った玩具だから、今では私が遊ばないときは、数年間も物置で埃を被っているし、走らすのは、子供も嫁も出かけて何かの拍子に思い出して走らす、でも、この時は完全に何もかも忘れて子供の時の時間に戻る事ができます、後はかたづけ、嫁に又こんな物出して誰がかたづけるの！と怒られて現実の世界へカムバ〜かな。

模型の線路は、ほぼ必ずループに成っています、何周も回らせないとね、走らす車両は好きな様に決められる、新幹線と蒸気機関車をつなぐ事も出来る、駅で左右どちらのホームでもポイントの切替で自由に意思決定できる、退避線にはいれば、本線に戻る時はバックも必要、スピードを出しすぎれば脱線もする、コントローラーを握る人間次第である、どこかの世界と一緒に。



>>>次回は誰に?? 乞うご期待!!

新年ムリヤリ特別寄稿依頼

新年明けましておめでとうございます

隠塚 功

「命」で表された2006年も終わり、新たな目標と期待を抱きつつパレスの皆さんも新年をお迎えになられたことと思います。私も例年以上に強い信念の下、再スタートに向けての一步を踏み出すこととなりました。振り返りますと4年前、京都市会議員に当選する前に、「当選したら」との条件付で京都部のEMC主査をお引き受けしたことから始まり、この4年の間に私としては経験のないEMC主査と副会長をさせていただき、それまでとは全く違う意識でワイズ活動に関わることができました。もちろん、議員としての生活も始めてであり、常に新鮮な気持ちで、前を向いて取り組むことの出来た4年間でした。そうした、全ての活動に対する評価が私たちには4年毎に訪れ、今年はまさにその判断が下される時を迎えるのです。



とにかく、自分が必要と思うことに遮二無二取り組んできた4年間であったことを、審判の時までに一人でも多くの方にご理解いただけるよう努力をし、期数が浅い(言葉の裏には「議員としての力がない」ということが込められています)2期目の議員というよりは4年間の実績を持った5年目の議員として、また1ワイズメンとしてではなく10年目を迎えるワイズメンとして、今までの取り組みを土台とした活動をこの1年も行っていけるよう、まずは頑張り抜きたいと考えています。

>>>次月号は「節分ムリヤリ寄稿依頼」やろうかな？
乞うご期待！（広報委員会）

奉仕クラブの基本原則(第6回・最終回)

「奉仕の心」について (第26回北西部部会講演より)

中央大学教授 小堀 憲助

第12、人間ということ

さあそこで私は再び言いたいのです。国家が制度をつくり、行政官吏が管理いたします。地方自治体がいろいろな福祉制度をつくり、そうすると福祉社会はできるだろうか？とこう申し上げたいのです。答えは明らかにノーであります。

役人が制度をつくり、人を雇い、財政を使い、そして困った人達を収容するというだけで、福祉社会というものは絶対にできない。

なぜできないかと申しますと、これは国家社会がそもそもできあがるもとにある、人間、いう字をよくごらんいただきたいのです。中国人は立派でした。これは中国人が作ったのだから。肉体に心が宿っているこの実態なら、人でいいのです。人間とは言わないのです。なぜ「人」と言わないで「人間」といったのだろうか、「人の間」ということです。人と人とのあいだ、人と人との関係、つまり人間は、自分ひとりで、これは人類がはじまってからこんにちに至るまで、自分ひとりのことだけを追っていただけでは、生存を全うすることができなかつたという厳然たる事実を示すわけです。

子孫を生むためには最愛の女性を得て、心身を結合しなければならない。それから企業の効率を高めるためには会社組織をつくらなければならない。企業の諸々の危険負担に対応するためには保険制度をつくらなければならない。その制度を活用するため、そういう複雑な人間のグループ活動の中に一個の自分のしあわせ、二度とない人生を営むという人生行路が位置づけられているということ、こういう重要な事実がございます。

これは国家だとか、地方自治体ができる前から人間が千差万別な進化の法則に則ってそういう制度を生み出してきた。

それを支えているのは何かというと、人は有縁無縁の因縁によって場合によると自然とすら人だけ栄えれば、こおろぎは死んでもいい、こういう考え方ではだめなのです。

動物とも、それから自然とも結びつけられて、その相関関係における行動をきめてきたのが、由来たればこそ、人類の今日の発展があるんだ、人間というのは、一人の人間は人なんです。自分を中心に、ありとあらゆる現象と結びつけられた自覚を蘇った人のことを人間、とこういうのです。

第13、奉仕クラブの実践活動の場はどこにあるか

奉仕クラブのメンバーは奉仕クラブの親睦活動を通じて、まず自らが高度な因縁の自覚を行ない、その因縁の自覚をもって、ひとりひとりのメンバーが、個人的に困った人が道を歩いていたなら、その人の不親切にならないようなかたち、その人の迷惑にならないようなかたちで接近をいたしまして、「どこに行くのですか、わたしはそっちの方まで行きますから御一緒いたしましょう」というような細かいこと、これは福祉制度では達成することはできない。

奉仕の世界というのは福祉世界ではございません。全福祉制度というものを包摂いたしまして、その受け皿になる。社会のすべての人達の意識革命の問題だ、こういうことを言っておかなきゃならない。朝起きたら「おはよう」と言おう、会社に出たら「おはよう」と言おうってんで、「おはよう」といったらどうなるんだろう、つて、そうじゃないんで、「おはよう」と言ったためにつぶれかかったテレビ局が一年間のうちに黒字になったという、こういうケースがございます。NTBです。

あれはもう何時つぶれるか、いつつぶれるかという、みんながこう何となく給料がもらえるのかなあという気分になると、みんながこんな気分になるでしょう。その時にあるタレントが、朝でた時に、お早よう、てこう言ったのです。言われて悪い気持ちほしくないから、お早ようってこう言ったらですね、職場が明るくなって、みんながこう精神衛生の問題が解決されて、頭がくるくる回転するようになって一年間の後にテレビ局が黒字になるに至った。

この「おはよう」の価値をわれわれは金銭にいくらかに評価するか、測ることのできない、精神的なある種のものを、この社会の、社会そのものの受け皿の中に、われわれは造っていくんだというところに奉仕クラブの実践活動の本当の場があるのだ。

肢体不自由児をどうこうしちゃいけないとか、精薄児をどうこうしちゃいけない、つていつてるわけじゃないんです。やらなきゃいけないのです。欠点の、制度のひずみのあるところに・・・は必ず顔を出さなければいけないが、それだけではなんともならないのです。受け皿の問題をひとりひとりが手分けをして、つくりあげていく、高度の相互扶助、世俗の論理、この世の中ではですね「人の上に人をつくり、人の下に人をつくって」おります。

世俗の論理の切断、人は人の上に人をつくり、人の下に人をつくっておきましょう。一例として申しますと、ある病院があった。そこで一番いけないのは病院長なのですよ。

おれは病院長だと、おれは人命を救い、看護婦はおれの手下で、事務職員は事務を束ね帳簿をキープする、こういう判断だから、わたくしは近代医学は、科学は発達、技術が発達するにつれてですね、人命を救うことが少なくなった。こういうことを言いたいのです。

病人というものは不幸せを負ってやってきております。診療行為がいつ始まるかという病院の玄関をくぐった時から診療行為が始まる。事務職員、看護婦、ありとあらゆる病院に働いている人達が院長と同じ気持ちをもって、患者と対応する、その管理体制がなくて、なんでこちらの方へ反映できるか、こういうことを言いたいんです。

ある医者が、「わたしは人命を救う聖職でございまして、通常の実業人とは全然ちがうのでありますよ」と、言ったから、「あんた言葉ってものはだいに使ってもらいたい、あんた人命を救ってませんよ」とわたしが言ったら、「なんですか、じやなにをやってるって言うんですか」と聞いたから、「症状を治しておかねを頂戴してる、て言って下さい、それが人命を救うかどうか、これはもう一度再検討しなきゃいけない、あんたの病院はこうなってますか」こう言ったら、その院長はえらい人でね、「判ったなるほど、その線でやりましょう。」いまやその院長は人命を救うお医者さんになっておられます。

これをわたしは言いたいのです。その病院では院長は看護婦のことなのです。看護婦は院長のことなんです。看護婦は事務職員のことなんです。院長は事務職員のことなんです。それから建物は院長のことなんです。地域社会の中にその病院がそういうかたちでできている。細かい配慮をもってできているということが、地域社会における診療行為の始まり、ということになって、その院長ははじめて自分の医療技術をもって、人命を救済しておる、こういうことができるんで、このへんの反省は奉仕クラブに参加しないとできない。

医者どうし、付き合ってたんじゃ、その世間知らずばかりが勝手なことを言ってたって何もでてこないんです。奉仕クラブにくるから、そういうものができる。だけどこれは医者だけじゃなく、大学教授、その業の実業家というものについてもあるし、そこでできた心をこちらに受け皿の方に、社会の受け皿の千差万別なモメントの中で生かすところに奉仕の実践というものがでてくるんだ、奉仕クラブはこのところに焦点を置かないと、自分というものを失うのだ、いうことを指摘いたしまして、3月に参りました時には、じやこれの因縁の自覚をし、世俗の論理を切断し、高度な相互扶助を行っている奉仕クラブのメンバーは、これを、こっちへ移しやいいんですから、われわれの生活と一と言いで呼んでおりますが、生活には利益を追求するものもあります。そうでないものもあります。千差万別のものがございます。これを原理の柱といたしまして分類をして、実践活動の中には、どういう肛構えをもって、どういう具合に対処していかなければならないのか、というのを3月にお話し申しあげることいたします。

終わり

ようやく小堀理論なるものの連載を終えた。皆さんの感想は如何でしょうか？多くのメンバーに戸惑いがあったと思う。しばしば小堀理論を評して、「親睦はスタート」との巷の理解があるが、その話す人により、自らの都合に合うように小堀氏の論述を引用したりしていることが多い。そのような意味で原典に接することの重要性を思い、文献として現在あるものを、出来るだけ忠実に再現させたつもりである。この講演録は奉仕クラブ理論一つの考えではあるが、正論であるか否かについては評価は出来ない。ただパレスクラブのメンバーがこの講演を聴取したことをきっかけとして、「小堀理論」を大きな財産として、メンバー数、活動態様において、日本のワイズメンズクラブの先進的なクラブに発展し現在もその地位を保持していることは間違いない。

かかる意味で我々が本原典に接し、さらなる、「クラブ活動とは？」「奉仕クラブとは？」「YMCAと在り方とは？」を議論し発展させる一助となればと思う。

講演録に対する忌憚のない投稿を期待する。

(編集者)

お知らせ

12月役員会報告

承認事項

第1号議案 12月第2例会(クリスマス例会)の件

子供のプレゼントは親が持ち込んだ物をサンタが手渡し、プレゼントの持ち込みについては、1000円の補助を拠出する事を承認。なお、持ち込みのプレゼントについてはあまり大きくないもので、5000円程度までの事。当日のプログラムについてはクリスマスPT一任。

第2号議案 新年例会の件・メネット、ゲストは会費7000円、内容はドライバー委員会一任。

第3号議案 CSボウリング大会の件。和敬学園生を招待する事を承認。

第4号議案 半期総会(1月第2例会)の件。時間の使い方を三役で再考すること。

第5号議案 次々期会長の件。田中一馬君を38期会長候補とし、半期総会議案として議案に加える事を承認

第6号議案 ブリテン印刷の件。広報委員会の予算の中で印刷して配布する事を承認。

第7号議案 平野君お祝い金の件。11月第2例会にて贈呈を承認。

報告確認事項

三尾君YMCA維持会費の件-YMCAより免除の承拓を得る。

金沢クラブ60周年について(5/26(土) 金沢ニューグランドホテル)

韓国チェンムルボクラブ40周年について(4/21(土)22(日))交流委員会に一任

2010年国際大会を日本に誘致する件。西日本区として賛成する事で西日本区役員会で承認された。

三役主催忘年会の件-12月29日午後7時きらら(フォーラム木屋町ビル5F)会費1万円。

1月のスケジュール

10日 1800・1月役員会

10日 1900・1月第1例会・新年例会(嵐山・良弥)

24日 1900・1月第2例会・半期総会(ブライTONホテル)

21日 1430・京都部ボウリング大会(しょうざん)

24日 1000~1500・献血・YMCA青少年センター

Happy Birthday

1日 杉井メネット。 3日 阿部君。 4日 河合メネット、安岡メネット。 9日 高田メネット

10日 西枝君。 11日 田中君。 21日 井上彰君、村田君。 23日 小西君。

24日 山本一博メネット。 25日 安達君。

Happy Anniversary

11日 安岡御夫妻。 30日 平井久夫御夫妻

YMCA NEWS

1.正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために正会員としてYMCA運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象にYMCAについての理解をより一層 深めてもらうための講座です。

日時 2007年1月29日(月) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館

対象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月23日(火)までにYMCA受付または
FAX、E-mail にて申込みください。

2.創立118年会員集会

日時 2007年2月23日(金) 午後7時～9時

場所 三条本館

内容 近未来の京都YMCAを語る

対象 維持会員・正会員

3.スキーキャンプ 参加者募集

白山スキー 日程 2007年2月9日(金)夕～12日(月・祝)夜 3泊4日(3泊9食)

対象 小学1年～6年

行先 石川県 白山瀨女高原スキー場

宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

費用 47,000 円

※上記プログラムすべてに関するお問い合わせ・お申し込みは

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 E-mail kyoto@ymcajapan.org

編集後記

お正月号本日めでたく発刊。そもそも何故お正月を祝うかという「新たに迎えた年が良い年であるように」と期待する“予祝”の意味があり、めでたい、めでたいと先に祝って神様に頑張ってもらおう(プレッシャーをかける?)事から始まったとか。今期の広報委員はパレスのみんなに成り代わり、神様に一年の予祝を祈って先の初詣写真となった。チャリオンのお賽銭でどこまで聞いてもらえるやら。後半のブリテンも、乞うご期待!

Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

Tel 075-257-6767

(委員長・森田美都子)



京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

2 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.2.1 発行
第 36 巻 第 8 号通巻 416 号
CHARTERED 1971

クラブ主題

「さらなるクラブ活性化のために」

国際会長主題

“Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」

アジア会長主題

“Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」

西日本区理事主題

“One for all, all for one” 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」

京都部部長主題

「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
TOF. CS

聖句

知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝から神をほめたたえなさい。 コロサイの信徒への手紙 第 3 章 16 節

田宮慎治委員長に捧げる

地域奉仕事業委員会委員長 安岡忠男

今期事業半ばにて突然に田宮君が退会させることは、スポンサーとしては誠に残念であります。彼の事業委員長としての働きは機敏でかつ、根気よくまじめに活動されたと思う。また委員からも大変に評判も好く頼もしい人物でした。パレスを去るのは寂しいかぎりです。

和敬学園に対しては、事業が有る都度に学園に行き先生と打ち合わせを度々熱心行われたと聞いております。田宮君の事業委員長として活動された事業を振り返ると、まずは和敬学園の地蔵盆開催日は残暑厳しく、気温が 35 度ほど上昇した中、午後から恒例のタコ焼き・かき氷の準備から本番への参加も 28 名と盛大に開催された事を思い出します。

10 月 29 日には秋晴れの中、京田辺山城大橋付近でパレスメンバーと和敬学園園生と先生を含む総勢 28 名が無農薬栽培のサツマ芋堀レクリーションに参加し、自然と土にふれあい、園生たちも楽しい一日の思い出が出来たと思います。当日はサツマ芋のお土産もたくさん持ち帰る事が出来、集まったサツマ芋を参加メンバーに販売し、売り上げをニコニコ資金としてチャッカリと集金する発想はたいしたものでした。

下期事業は 1 月にはグローバルクラブと合同の献血活動の実施がありました。続いて、京都部主催のボーリング大会がしょうざんボウルで開催され、田宮委員長は和敬学園とコミュニケーションをよく取り、和敬学園園生が 30 名弱、我がパレスクラブからの 20 名とあわせて 50 名近い参加で、順位は別として楽しい事業ができたと思います。

下期残りの事業活動としては、2 月第 2 例会は TOF 例会「タイム・オブ・ファスト」が三条 YMCA マナホールで開催されます。

そんな中、田宮君がパレスクラブを退会するにあたり、委員長代行が副委員長の私にお鉢がまわってきた次第です。本人からの依頼でもあり引き受けざるを得ない状況なので、とにかく頑張ります。しかしながら、泥舟代行業委員長になるかも！！。



例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
1 月第 1 例会	4 2 名	1 月第 1 例会	9,000 円	切手	0 PT	1 月	17,200 円
1 月第 2 例会	3 6 名	1 月第 2 例会	17,000 円	累計	0 円		
在籍者数	4 7 名			現金	0 PT		
出席率	9 5.6 %	累計	196,000 円	累計	0 円	累計	1,530,455 円

1月第1例会「新年例会」(第855回例会)

日時 2007年1月10日

場所 嵐山・良弥

西村道隆

「新年会は嵯峨野か…、北白川からだと言いな…、7時からだと一時間半はみておかないと…」と昨年パレスの出席ボードを確認して即座に考え、仕事場の予定表に「5時にあがり」と記入、年が明け、当日は結構忙しく5時半まで伝票処理が押し「新年からまた遅刻か～」と慌てて白梅町まで送ってもらい、そのときはすでに私の頭の中は6時開始と勘違いされておりイライラ状態、嵐電の駅に着き切符を買おうとすると、販売機がない！

窓口に行き「切符は何処で??」と聞くと「降りるときに払って下さい」と冷たい返事、そして駅に入ると、終点の嵐山に行くのに電車の掲示は「帷子ノ辻」と読めない漢字が…、その辺のおじさんに「この電車嵐山に行きますか?」と尋ねたら「かたびらのつじで乗り換えです」「おお! そのように読めないこともない」と安心、走り始めると走る速度が遅い遅い、イライラしながら、しかしどこか懐かしい電車で、子供の頃を思い出し、立派な駅名になんだか感動、「御室、常盤、有栖川、車折、鹿王院」など、高貴な名前が連なり、イライラと郷愁が交錯し、ようやく6時半に到着、着いてから7時開始を知りほっと一息、日頃乗るはずもない電車に乗り、こんな体験ができるのも、やはりパレスに入っているおかげですかね?

会場は京都嵯峨料理「良弥」(嵯峨料理って何なんでしょうか?)、7時が近づき皆さん集まり始めると、何だか会う人すべて新鮮で心なしか何時もより爽やかで引き締まった、そして輝いた表情に感じます。「さすが新年!」とここでもちょっと感動!、平井ワイズの司会で始まり、田宮ワイズ岡本ワイズがゲストになっていることを聞き、仲間が減ることにちょっとさびしさを感じましたが、川上ワイズの乾杯の音頭でスタート、新年の挨拶と歓談で終始和やかに進行、会半ばにはファンドの委員会主催?の対抗早食い競争もあり、「吉岡ワイズの酒はだめでも甘いものはすごい」にビックリ!盛り上がりの中、夜9時にはお開きとなり、解散。しかし新年会はいきなりビールを飲めるし、難しい話もほとんど無く、和やかだし、やはり特別ですね! また来年のもこの中に参加したいと感じた一年のスタートでした。



1月第2例会「半期総会」(第856回例会)

日時 2006年12月20日

場所 プライオンホテル

平野雅幸

期首の通常総会で、総会前に総会資料を配布して欲しいとの要望を受け、半期総会では事前開示する事となりました。

それぞれの事業委員長から提出いただいた原稿を、ワードの一連のファイルとして作成。閲覧者による表示の違いをなくすためにPDF形式にてアップしました。訂正箇所も反映したし…バッチリなはず。が、どういうわけか、急いでいかなきゃいけない日に限って急用が入ります。資料の持込を河合ワイズにお願いし、定足数の確認を書記の堤ワイズにお願いして(いつも、いつも申しわけありません。)仕事を終えて車に乗り例会場に着いたのは、食事も終わりそれぞれの事業報告も終わったであろう頃(事前に事業報告を見ていただいていると思うので早く終わったのだろうと推測…)、井上会長が演壇で財務委員会の答申を行っている真っ最中でした。

財務委員会の答申の書類を、財務委員会の事業報告のあとに続けて綴じこんだために、混乱が生じたようでした。井上会長より今後の検討課題であることの説明があり、騒然とした場は落ち着きました。

その後、次期会長による 37 期三役紹介。今までとは異なる三役の構成(ウワサに聞くとところによると・・・役員が続投を避け積極的に新しいメンバーを組み入れえたとか)はとても素晴らしいことだと思います。

続いて 35 期為国会長より次々期(38 期)会長、田中一馬ワイズが紹介されました。

こうして次期、次々期の紹介があると今年一年が終わったような気がしてしまいますが、油断禁物、まだまだ 36 期は半分です。残り半分下半期をどう運営していくか、会長、三役の手腕が問われるところです。

これから始まるメンバーの熱っぽい話を聞いて、襟を正さないとなあと痛感した例会でした。



第4回チャリティーボウリング(2ゲーム制)

日時 2007年1月21日

場所 しょうざんボウル

丹羽裕二

開会式の始球式の後、合図の笛とともに試合開始、今回も前回と同じくらい沢山の参加者が有ったそうで、発表では 214 名でした。私はグループ第 9 レーンは、岡見さん、田中君親子、そして私の 4 人で、隣が為国君、田宮君、堤君、西川君でした。

私達のレーンでの始球、初球はおかみさんで、一投目からストライクと出足は良かったのですが、皆の 2、3 投後にトラブル発生で、ピンが倒れたり、全ピン無かったり、機械の調子が悪いレーンで、私が投げた瞬間分かったのですがヘッドピンが無くビックリでした。



ゲームは 2 ゲーム制で各クラブの「得点の高い人達の合計で順位を競います(上位 3 名の合計点)ボウリング世代が多いのか、周りの皆さんも上手な人が多く、楽しそうに投げているのではないかなと思います。

岡見さん、1 ゲームは良かったのですが、さすがに 2 ゲーム目は少し辛いのか G マークが少し多くなったようでした。と対照的に田中氏は上手にゲームを作り、ミスが少なく 2 ゲームとも 150 点オーバーだったと思います。

私はボウリング世代なのでフォームは良いのですが、点数はまったくダメでしたが、きっちり懸賞品のトースターを頂きました。ラッキーでした。

ホストクラブの方が招待していた、知的障害者の人達 5 名はスペシャルオリンピックの選手だそうで、招待される中、知っているお子さんと同じ方がいるなと感じた時に、ホストクラブの方のお子さんでした。そのお子さんはスケートで銅メダルを獲得したそうです。その方々の子育てとは、私のような健常者には到底分かりっこない大変な苦勞があると思うし、子供達も良い形で育てられないと思いました。

そんな中、和敬学園の園生で一人だけ気になる生徒がいました。その子は子供達の中で一番小さい、年少の子だと思います。ピンクのズボンで裸足にスリッパで来ていて、ボーリング中もあちこちのレーンに行き回って皆と話をしていました。この子、子供達と我々がその日だけでも最も身近に感じて色々な話を聞くにはどうしたら出来るかと考えていました。私の提案ですが、今後ボーリング大会では、個人でゲームをするのではなく、パレスの人達だけでも、和敬の子供とペアになって色々な事を話しながらゲームを楽しんだら良いのではと思います。



物資が豊富で心貧しい現在人、そんな中で育った子供達へ、我々と先輩方々の貧しき中でも心豊かに育った中高年の人間が未来ある子供達へ、物を渡すのではなく、暖まるハートと言うか手の温もりを伝えられたと感じた私の一日でした。

※ブリテンの巻末に参加した和敬学園園生からの感想文を添付しました。ご覧下さい。

「パレスの献血」

日時 2007年1月24日
場所 YMCA 青少年センター
杉本泰造

パレスクラブ地域奉仕委員会の事業として位置づけられて来た献血も31回目を迎えました。これ迄、世の為、人の為と言う奉仕クラブの理念を背負って活動して参りましたが、今回31回目を迎える献血は田宮委員長の再度に渡るアピールにも関わらず、献血の量が昨年をかなり下回ったのは、誠に残念であり、まさに笛吹けど踊らずでありました。

例年冬場は献血の量が足らず、京都赤十字血液センターも背水の陣で取り組んでいます。31回目の献血量は「15800mL」パレスは14名「内 6 名ゲスト」の献血でありました。パレスの献血が何故年々減少していくのか……原因は明白でありますので、これからクラブの事業としての様に取り組むかが課題であります。

特に、献血に適合するにはかなり難しい条件になって来ており、大学の受験に通るより難しいとか冗談を言っていました、とにかく続けるのは大変であります。私も年齢制限で来年の献血をして終わりですが、後釜2名はこれからも必ず来てくれます。クラブの事業とはこういう事でないかと私は思っています。



30回目で素敵なクリスタスカップの記念品戴きましたので皆さんガンバッテ献血を続けて下さい。そうでないと京都赤十字血液センターも、このまま献血量が減少すると献血バスを出さないようになる。そうなれば YMCA とパレスの真価が問われることになるのではないかと危惧しております。パレスクラブにとって献血活動の意義は大きいのです。

最期に、入会二年目で今期パレスの地域奉仕委員長として、真剣に、真面目に、緊張感を常に抱いて活躍されてきた田宮委員長が、仕事上パレスに在籍することが出来ず、一月第二例会で献血の報告をして責任を果たされましたが、任期半ばでパレスクラブを去ると、一生懸命頑張った思い出がこみ上げ例会場の片隅で涙していたのを見て、私も共に感涙しました。

私のオススメは車です、バイクも好きですが、今回は車です、車＝移動手段と言う方が多いと思います(ステータスシンボルの方も多いか?)私に取っての車はホビーの割合が非常に多くを占めています。現在乗っているのはマツダRX-8です、知る人ぞ知る世界唯一現在市販されているロータリーエンジン搭載車で、あのプロジェクトXでも2度も取り上げられたエンジンです、そのロータリーの特徴はコンパクトで、ガスを回転運動で爆発させ高回転までストレス無く回るエンジン、重量的にもレシプロエンジンの3分の2ぐらいと軽量で、エンジン高自体は直列4気筒とほぼ同じですが重心と体積が圧倒的に低いのです。

あと、この車の特徴は、コンパクトなロータリーだから可能になった前後輪のウエイトバランスが5対5と言うスーパーカーにしか出来なかったバランスを作り出し、走る・曲がる・止まる・あらゆる面がとても自然で、違和感のない、オンザレールのハンドリング感覚を生み出しています、その上に4ドア4人乗りなど、上げだしたらきりが無いほど多彩です。

ただ、購入する時点での問題点は、たまに妻が使用する事と(ウエート大)仕事でも使用する事(これは無理やりOKとする)でした、しかも、私は2台もつ甲斐性は無いし・・・(笑)。ですから、妻に説明する時は過激な所は極力オブラートに包み、使い良い所を極力アピールし、半ば事後承諾で契約しました。

購入してしまえばこちらの物♪～初めはノーマルに近い形でしたが、少しずつエアロ(外装空力パーツ)やカラー・カッティングステッカーや吸気・点火・排気等を改造して行きました、2年たった今ではだんだん派手になり、多分世の中に一台しかないマシーンに仕上がっています。

休みにドライブに行く時や、仕事が終わってから雑誌やネットを見ながら次はどんな風に改造しようかと考えている時等、私は少年に戻っています確実に・・・。皆さんも、もう少し車＝移動手段ではなく、自分なりのダンディーな車や、可愛い車にリフォームし楽しいカーライフを過ごされると、心の栄養になるのではないのでしょうか。



改造前



改造後

あと一年で10年！副会長までやらして貰って！「岡本君！うちのクラブは洋服屋さんいないから商売になるよ！」とスポンサーさんから言われて、あんまり何も考えずに入会しました。スポンサーが当時の会長、オリエンテーションも無く1回ゲストで参加しての入会！もしかしたらこの9年はオリエンテーションだったのでは？(-_-#) 京都部会の準備では制服作る！作らない！で振り回されました！西日本区大会の準備でも振り回されかけました！入会して最初の2、3年は商売の為に参加してるクラブ！と言う意識でした。29期の高岡会長の元で書記をした頃から「商売よりもまず、会長に恥かかしちゃいけない！」と思い始め(結局かかしたかもしれませんが！)段々と商売よりも役に立つ事の喜びが出て来ました！事務的能力に乏しい私は「マルコパスタ」で少しはクラブに貢献出来ているのかなあ？！と感じていました！そうすると自然に「仲間」的な意識も生まれました。今思うと色々な事を経験させて頂きました！当然、商売も結果的にチョコチョコさせて頂きました！それと同じ位に色々なアドバイスも頂きました。このクラブに！このメンバーの方々と縁があったからこそ、行動に起こせたと今は思えます。異業種の50人の仲間と出会えた事はとても胸をはれる事だと思っています。皆さん本当にありがとうございました！たまには例会や熱海か東京グリーン主催のイベントにフラッと顔を出したいと思います。あっ！それから、再入会したら「元副会長経験者」の肩書きは消えるのでしょうか？

次々期会長としての抱負

次々期(第38期)会長 田中 一馬

ついに「会長」という役割が回ってきた。思い起こせば25期の井上均会長の時に、なにがなんだかわからないままにパレスクラブに入会し、それから約11年が経過した。そんなに熱心に活動するわけでもなく、これといった功績も無くあつという間に時間だけが過ぎた感じがする。広報委員会より今月号のブリテンに「抱負を」と言われたのであるが、まだ良くわからなのが正直なところである。まあしいて言うなら抱負と言うよりもむしろ不安のほうが大きいのか…?



個人的には最近やっとクラブの楽しさがわかってきた。新しいメンバーも増え、今のパレスクラブはそこそこいい雰囲気だと思う(といっても古い歴史の中の最近11年しかわからないが…)。細かいことを言い出したらきりが無いが、老若男女それぞれがいい刺激を与え合っているように感じる。会長の責務はそんなクラブがもっている雰囲気を、さらにいいほうへ引っ張っていくことではないかと思う。具体的にどうやったらいいかは全くわからないが、今後はそのことを意識してクラブを見ていく必要があると考えている。そして自分の身の丈にあった「抱負」が早く語れるようにならなければならないと思っている。

お知らせ

1月役員会報告

承認事項

第1号議案・1月第2例会(半期総会)の件・・・上半期報告書を各委員長にメール17日までに異議ある方は返信、なければ承認とみなし、掲示板に事前アップ。

第2号議案・2月第1例会の件・スピーカーはて隠塚功君(市政報告等)・(ニコニコ)

第3号議案・2月第2例会(TOF例会)について。プログラムについて地域奉仕委員会一任。

第4号議案・3月第1例会・ゲストスピーカー 木村隆様予定。 題目予定 生きながらにして死ぬ。戦艦大和撃沈目撃者

第5号議案・3月第2例会について・EMCアワー(メンバースピーチ)EMC委員会一任

第6号議案・岡本君、田宮君の退会について。12月末で退会。

第7号議案・村田君委員会配属について・ひきつづきEMC委員会に配属。

第8号議案・次期三役について

副会長 河合信也、別所修 書記 安達雅直、川勝政男 会計 下坂大司、小櫻武彦

第9号議案・京都部合同メネット会(2月24日)参加の会費クラブにて負担する。

報告確認事項

- 1 1月21日 CSボウリング大会参加者と敬学園生30人先生パレスメンバー計49名で申し込む。
- 2 1月24日 献血
- 3 フィリピンルソン島台風21号被災者支援金への協力締め切り1月末
- 4 2月25日 車椅子駅伝について参加アピール(自由参加)
- 5 入会候補者 黒田氏、今回は辞退

2月のスケジュール

- 1月31日 三役会
- 2月7日 1930 役員会(ブライトンホテル)
- 14日 1900・2月第1例会・通常例会(ブライトンホテル)
- 24日 1900・1月第2例会・半期総会(ブライトンホテル)
- 21日 1900・2月第2例会・TOF例会(三条YMCA)リング
- 24日 ・京都部メネット会

Happy Birthday

1日 高谷君

7日 川上君

25日 丹羽君

Happy Anniversary

3日 山岸君御夫妻

6日 井上彰君御夫妻

12日

福井君御夫妻

14日 谷口君御夫妻

YMCA NEWS

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。

スイミングスクール

幼児・少年体育活動

2月21日(水)午前10時より

電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ

2月21日(水)午前10時より

電話075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

コース名	対 象	日 程	行き先
リトルキッズスキー春	小学1年～2年生	3月26日(月)朝～30日(金)朝	志賀高原
小学生スキー 春	小学3年～6年生	3月26日(月)朝～30日(金)朝	志賀高原
中高生スキー春	中学1年～高校3年生	3月25日(日)夜～31日(土)朝	野沢温泉
チャレンジスキー 春	小学4年生～高校3年 生	3月25日(日)夜～31日(土)朝	野沢温泉

※ チャレンジスキーは緩斜面での確実な平行操作が出来る方 中・上級者向き

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)

日程 2007年3月29日(木)～4月2日(月)4泊5日

対象 小学校2年生～高校3年生

費用 54,000円(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

4. 2006年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。

日時 3月11日(日) 午後

場所 京都YMCA 三条本館マナホール

5. 創立118年会員集会

日時 2007年2月23日(金) 午後7時～9時

場所 三条本館 マナホール

内容 近未来の京都YMCA～公益法人制度が変わります～

対象 維持会員・正会員

6.春スイミング・デイキャンププログラムご案内

A・B・Cとも 受付 会員とその兄弟 2月2日(金) 午前10時～ 会員・一般 2月2日(金)午後2時～

A.春休みスイミングスクール

期間 3月25日(日)～30日(金) 連続6日間

対象 新年中・新年長(平成13年4月2日～平成15年4月1日生)

新小学・中学生

場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 室内温水プール

費用 8,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

B. デイキャンプ 日帰り連続4日間

◎幼児フレンドシップ 期間 3月26日(月)～29日(木) 午前9時30分～午後4時30分

対象 新年中・年長(平成13年4月2日～平成15年4月1日生)

費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

◎小学生フレンドシップ 期間 3月26日(月)～29日(木) 午前9時～午後5時

対象 新小学1年～3年生

費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室

対象 A・Bクラス 新小学1年生～6年生(定員25名)

C・Dクラス 新幼児年中～小学3年生(定員25名)

日時 3月25日(日)～29日(木) 連続5日間

Aクラス午前9時～10時10分 Bクラス 午前10時25分～11時35分

Cクラス 午後1時～2時10分 Dクラス午後2時25分～3時35分

場所 京都YMCA今出川センター体育館(上京区烏丸今出川下ル西入ル)

費用 10,000円 (会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

①～⑤に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)231-4388

①⑥に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)255-4709

編集後記

1月「行く」、2月「逃げる」に肖ったのか原稿依頼者に何故か数件逃げられ? 苦戦月となった。しかし急遽代理依頼のパレス面々はさすがの文才揃いで発刊セーフ。

去る人に関する記事多しでチョップリ悲しの号となったが、3月号は「去る」と云わずに芽吹き季節が「来る」号にしたものだ。

Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

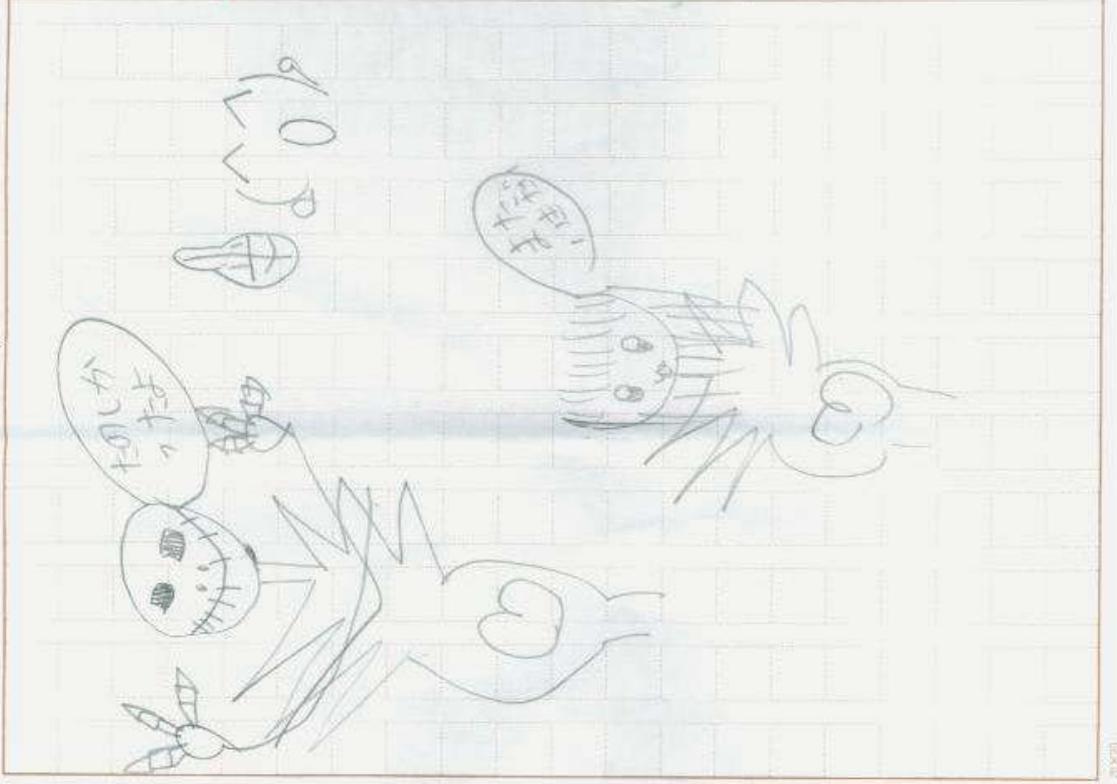
Tel 075-257-6767

(委員長・森田美都子)



京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直

ボーリングをつれていってくださる
か
知は、サークルの中で、いちばん大人
まっかぶくくおけこいましてが知は、サー
クルの中でおけこいしても知は、すっくたのし
かりたでもまだ行きたいな、と思いました
でもこれまでにボーリングをやましストライク
がとれたります、でも知は、スッくたのし
は、あります。



「一」の「一」も…… ぬ

「おらぬは、一」の「一」で「ち」を「さ」にする「一」を
「思」て「たけ」ぬ「一」を「た」ら「え」す「い」が「い」と「お」も
「う」る「一」を「た」す「う」く「た」の「し」い「な」も「一」を「思」は「お
う」た。「一」の「一」は、「ま」けて「て」「ち」を「さ」にする「一」
を「か」思「て」た「け」ぬ「あ」と「か」ら「た」す「う」く「た」お「う」た
に「か」水「て」た「う」く「た」の「し」か「一」た「で」す。「一」の「一」
は、「お」ら「ぬ」か「ら」た「う」く「た」お「う」た「に」か

た「の」で「た」す「う」く「た」水「し」か「一」た「で」す。で「か」つ
た「の」目「が」と「も」た「う」く「た」で「し」た。で「か」ち「を」
た「の」し「か」た「で」す。お「た」し「う」に「た」し「て」お「し
こ」で「す。お」が「う」く「た」ら「ぬ」か「た」い。



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

3 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.3.1 発行
第 36 巻 第 9 号通巻 417 号
CHARTERED 1971

クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 “One for all, all for one” 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
EF. JWF

聖句

人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである

マルコによる福音書 第 10 章 45 節

交流事業とは

交流事業委員会委員長 小西孝典

今期交流委員長の私ですが、IBC, DBCについてどんな内容で文章を書かせて頂こうかと・・・色々迷ったのですが、初めてのIBC訪問した時の体験が、今の私の交流に対する基本的な姿勢を作ったと思っておりますので、その時の事を含め書かせて頂きます。

私の初めてのIBC訪問は34期(2005年)に森田委員長以下メンバーと台中エヴァグリーンクラブの30周年のお祝いに台中へ行った事です。その時は漠然とフレンドシップを高められれば良いと言うぐらいに、交流と言う事を考えて出発したのですが、まず最初の昼食会場で台中でのエヴァグリーンクラブの熱烈歓迎に驚きました！川上ワイズ他、何人かはエヴァグリーンメンバーと面識があり握手&ハグで盛り上がっていましたが、ボーっと見ている面識の無い私にまで同様に熱烈歓迎して頂き、日本的な感覚では有り得ない事だと感じました。が、直ぐに仲良くなれ、それ以上に感動を覚えたのを思い出します。そして実際にエヴァグリーンクラブの、台中地震で無残に崩壊した学校の再建支援などの活動を見せて頂き、ワイズとしての奉仕や助け合いの理念は国境を越えても、人種が違って何ら代わりが無い事を実感出来ました。記念パーティーも再建した中学校で行われ、学生諸君にも歓迎を受け、この訪問で私自身がワイズメンとして勉強でき成長できた事は間違い無いと思っています。

今期は、来る4月20日にインチョン・チェムルポクラブ40周年記念式典に韓国を訪問する予定です、「素晴らしい交友関係を作り出す」と言う理念にもとずきワイズメンとして色々な体験をしませんか？

メンバー多数の参加をお待ちしております！！



DBC 活動 「神田川船の会」

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
2月第1例会	37名	2月第1例会	44,000円	切手	0PT	2月	0円
2月第2例会	32名	2月第2例会	0円	累計	0円		
在籍者数	47名			現金	0PT		
出席率	93.3%	累計	240,000円	累計	0円	累計	1,530,455円

2月第1例会「ゲストスピーカーおんづか功ワイズ」(第857回例会)

日時 2007年2月14日

場所 京都ブライトンホテル

瀬戸伊佐雄

定刻19時井上会長の点鐘で2月第1例会が始まりました。大野ワイズにより、本日のゲストで入会候補の奈良様、宇野様が紹介されました。会長の挨拶に続き、和敬学園の二人の園生さん(内1名は風邪のため欠席)に奨学金が贈呈されました、

諸報告、食事と進み、本日のゲストスピーカーはわがクラブのおんづか功君の「市政報告」でした。4年間の議員活動の報告です。

今の京都市の職員不祥事、公金詐欺、薬物使用、暴力事件、飲酒運転など公務員としてあるまじき行為によって逮捕者がでた。調査特別委員として追求により、多重債務や無計画な休暇取得、服務規律違反などの問題をかかえる職員が多数いることが明らかになった。職員採用の甘さと共に、管理、指導などにも問題があったことが大きな原因であった。と報告されました。彼は一日も早く市民の信頼を回復するため奮闘しますと決意を述べられました。我々も4月の選挙にむけて応援していきましょう、

がんばれ、おんちゃん!



2月第2例会「TOF 高田繁尚氏(YMCA国際協力専門委員会委員長)」(第858回例会)

日時 2006年2月28日

場所 三条YMCA

平井久夫

TOF(タイム・オブ・ファスト)断食の時という意味です。2月はTOFの強調月間です。パレスクラブでは例会の食事を断食して、その費用を献金する、これをTOF例会と位置付けています。

記録的に暖かかった2月、その最終日の例会です。会場は三条YMCA202号室です。ゲストスピーカーに高田敏尚さん(京都クラブ)と、前回に続きゲスト参加の宇野祐介さんをお招きしています。定刻7時、開会の点鐘です。進行は為国ドライバー委員です。ワイズソングは会場の関係で割愛されました。会長挨拶は、TOFについて敢て触れず、ゲストの紹介程度で終わりました。続いて、地域奉仕委員の岡見さんより、TOFは世界中のワイズメンが行なう国際事業の一つであり、その意義について、多くの資料を示して説得力のある説明が成されました。又、京都部の地域奉仕が5ヵ年事業で取り組んでいる「STOP THE HIV/AIDS」についても、データを示し話されました。

いよいよゲストスピーチです。高田さんは、京都教育大付属高校の社会科の先生でワイズメンです。NGOで、長年にわたりバングラデシュにおいて小学校、中学校の建設に携わっておられます。世界を100人の村に例えて、20人は飢餓と貧困にあえいでいるが、15人は肥満である矛盾を指摘しながら、スライドを交えて話していただきました。教室の子供たちの生き生きとした目の輝きがとても印象的でした。TOF例会にふさわしい内容だったと思います。通常のスピーカーに対する謝礼の受取は辞退されましたが、学校建設の資金にと、クラブからの1万円は納めていただきました。そしてファミリーファストの献金袋も回収された頃、通常例会より約1時間早く閉会となりました。



HIVワークショップに参加して

2007年2月18日

場所 三条YMCA本館

岡見 紫

京都部主催のHIVのワークショップに参加した。初めに京都産業大学の鬼塚先生の紹介があり、彼のリードでワークショップが開始された。最初のプログラムはリーディングという体験者からのメッセージの披露と感想が述べられた。どれも同性愛の若者の話だった。異性間感染も増加しているのにどれも同性愛者のものだったのには少し不満を感じた。別世界の話という感覚を持ってしまうのではないかと憂えたからである。エイズは同性愛の人特有の病気だという偏見がまだまだ世の中に満ちているのかな。次に京都第一日赤の大野藍子医師による京都のHIV・AIDSの状況と世界の状況についてのスピーチがあった。

その後7、8人の小グループに分かれてHIVの感染を防ぐにはどうすれば良いかそれぞれがメモに書き、各グループのリーダーがそれを一つずつ取り上げ、掘り下げていき最後に各グループの発表という手法で進められたのだが、中高年と若者の意識の隔たりが浮き彫りとなった。中高年に多いのは「エイズや性感染症や避妊と言った話題は家庭では扱いにくいので学校で欲しい。」や「貞操観念が欠如しているので道徳教育に力いれなあかん。」とか「20～30年前に戻すべきだ。」といったアナクロな保守的で無責任な意見であった。なかには「公営の赤線を復活せい。」といった的外れな上、けしからん意見もあってびっくりした。

想像はしていたがやっぱりね、って感じた。YMCAのリーダーの女学生が同じ班に一人いたのだが、私が「学校の、例えば体育の教師なんかにはそういう話されるのは思春期の生徒にはあまり嬉しいものではないし、時にはその教師の性に関する価値観によって左右されるんじゃない？」と質問したら「そうです。やっぱり今日の講師の様な専門家にお話して頂いたら説得力ありますよね。」との答えであった。我々のグループの結論は①人が避けて通れない性についての科学的、医学的な知識に裏付けられた教育を義務教育の段階で実施する事、②人にとって性とはなにかという一大テーマについてのワークショップなどをしなければならない③ワークショップ実施の為の専門的知識のある指導者を育成するNPO法人などを援助したい、といったものになった。

私はHIV/AIDSの予防啓発は非常に色々な要素に左右されるのではと思っている。環境、状況、人生観、性に対する考え方、倫理道徳観、教育観、宗教観、貧富の差、教育の差、価値観などなど。だから単に怖いウイルスに感染しない為にコンドーム使えよっていう方法論だけでは駄目だと思う。多様化する価値観、性的体験の低年齢化などを今更古臭い道徳論で封じ込めは出来ないであろう。インターネットの規制の強化やサイトの禁止等を唱える者もいたが、パンドラの箱は既に開け放たれてしまったのであるからナンセンスだ。アメリカのブッシュ政権は結婚までの禁欲を大真面目に提唱しているらしい。アメリカ様の唱える、現実から目を逸らした保守路線を支持する小泉、安倍政権では性教育がやりにくい状況になっているとの報告もされた。今更結婚するまで綺麗な体でいてね、なんてどだい無理であろう。30年、40年前と今では体格も青少年をとりまく情報量も格段に違うのだ。

建前論、臭い物には蓋をしておけという政策だけでは日本はこの後も先進国では唯一HIV感染者が増え続けるであろう。タイは1991年当時、年間14万人のペースで感染者が増え続けた為国家が緊急事態宣言を出し対策に国をあげて取り組んだという。その結果2004年には年間2万人以下に抑えるまでに至ったという。若者を中心にピアエデュケーションという啓発運動を展開し、ライフガードとしてコンドームの装着を促すといった地道な活動が功を奏したと言われている。日本は東アジアの中では先進国であると思っているが、今こそタイに習い国家として真剣に取り組まねばならないと思う。



今迄どちらかというと趣味といえばスポーツ系、体を動かすものばかりに興味があったのですが、若い頃は邪魔くさいなあ～なんて思っていたものにも興味がわいてくるようです。50歳を過ぎてからは始めた趣味が全てインドア系で、その極みが「透明水彩画」です。当然ながら自ら興味を持って始めた訳ではなく、水彩画をやっている大事なお客との繋がりを持つ為に始めたという不純な動機ではありますが、その為どうしても1枚絵を描いて持っていかななくてはならない状況になったのが面倒臭がり屋の私には良かったようです。

とにかく絵の具を使うのは中学校以来で、余り得意な方でもなかったのですが、そのお客(師匠)に会うと大体いつも水彩画の話を1時間以上聞かされ、構図の決め方から筆の使い方、色の作り方等々・・・、それが1年以上続いていた為、完璧な耳年増状態で、自分でもひょっとすると描けるのでは？なんておかしな錯覚が生じたのかも知れません。

取り合えず友人のH君と一緒に沢池まで写生に行ったのが始まりでした。それから1年半、気が向いた時にしか筆を持たない為、まだ完成した絵は7点しかありませんが、とにかく集中して没頭できる事が最大の利点で、嫌な事なんか忘れるにはもってこいです。しかし、逆に思った表現が全く出来ない時のストレスも多々有り、そのあたりが完成品の少ない理由でもあるのですが、別に仕事じゃないやん、趣味趣味と気楽に考えるようにしています。

また、美術館なんかにもちょくちょく行くようになり、水彩画だけでなく油絵や日本画などにも興味を持つようになりましたが、これはあくまで鑑賞的興味で、私が描いているのは専ら透明水彩画です。でも美術館や美術雑誌なんかの主流は油絵で、水彩画も不透明水彩の作品が殆どようです。

透明水彩画の主な特色は、基本的に白色絵の具は使わず、白い部分は色を付けずに残して表現します。また色を重ねて塗っていくと下の色と混ざった色になり、その辺りも最初から計算しておかないと上手くいかず、何でもやってみると中々奥深いものです。透明水彩画は、油絵の迫力には到底適いませんが、癒し系で心が安らぐ作品をお好みなら透明水彩画がお奨め、大きなビルのロビーに飾るなら油絵、自分の部屋にさり気無く飾るなら断然に透明水彩画じゃないでしょうか。

写真の絵は私の一番新しいもので、描き始めた時は綺麗な紅葉でしたが、出来上がった頃にはすっかり季節外れになっていました。とにかくまだまだ勉強中で、今後はもっと色んなものにチャレンジしたいと思っています。さしずめ次の目標は「裸婦」？ モデル探しに何処へ・・・



京都YMCA 創立118周年記念会員集会

井上 彰

創立118周年の記念集会在2月23日(金)三条YMCAで開催されました。

第一部、記念礼拝では、同志社女子大学生生活科学部人間生活学科助教授、小崎眞氏により『みえない宝』という演題で奨励がありました。氏がバングラディッシュにボランティアで訪れた時の話をされ、自分の物差しに縛られてしまい自分の中で判断してしまう事が大きな自己中心主義になってしまっていることを聖書の言葉で、『私たちは見えるものではなく見えない物に目を注ぎます。見える物は過ぎ去りますが、見えない物は永遠に存続するからです。』とあり、見える、分かる、納得している事で世界感がなりたっているから反対に、見えない、分からない、納得していない事に目を向けていく必要があると話されました。

第二部では、近未来の京都YMCA～公益法人制度が変わります～のテーマで、特定公益増進法人 日本YMCA同盟主任主事 井筒 洋一 氏の講演で、公益法人制度が改定され2008年より施行、財団名称も変更になるため、公益財団法人の認定を目指し、公益認定制度の公益の基準をクリアーするための現行事業の公益性の証明、収入に占める会費(対価性のない)、寄付金の大幅な増加等、認定委員会の目に見えるような内容にしなければならない事を話して頂きました。結構、専門的知識が必要な内容であったため充分理解が出来たとはいえませんでした。

そして、京都YMCAの使命の交読、YMCAの歌、で集会は終わりました。

合同メネット会に参加して

川上秀子

2月24日午後1時30分より、YMCA三条本館の地下マナホールにて、合同メネットの集いが開催されました。岡見裕子メネット様の司会で、まず京都部メネット事業主査、赤松好美様の歓迎の挨拶から始まり、来賓挨拶として、京都部部長の大槻信二様、西日本区メネット事業主任松田洋子様様の挨拶と進んで行きました。

次に、安部和博京都YMCA主事の進行で、日本語学校留学生の皆様の紹介とスピーチが始まりました。京都YMCAの留学生を対象とした日本語学校は1985年より始まり、すでに千人以上の留学生の方が卒業され、それぞれの国で活躍されている方、日本の大学に進学される方とさまざまです。この日のスピーチをされた方は5人で、全員中国の方でした。5人とも日本語がとても上手で、来日されて1年半から2年弱とは思えませんでした。その方達の中かでひとり、二胡を演奏される方がおられて、4曲程演奏されました。4才より二胡の演奏を始められ上海の楽団に所属されており、高校生の時に来日され枚方市のホールで演奏されたそうです。2月25日にも一人で演奏されるとの事でした。

その後ティータイム、歓談、参加クラブの紹介と進み、赤松好美様のお礼で閉会となりました、久しぶりにメネットの集いに参加して、大変楽しいひとときでした。



お知らせ

2月役員会報告

承認事項

- 第1号議案・地域奉仕委員長、副委員長人事の件。安岡忠男委員長を承認、瀬戸伊佐雄副委員長とする。
- 第2号議案・2月第2例会(TOF)ゲストスピーカー。京都クラブ前会長 高田敏尚氏(YMCA国際協力専門委員会委員長)。バングラディッシュに建てる小学校の建設資金として1万円寄付(地域奉仕委員会のその他経費より)。会場は三条YMCA202号室。例会後の食事会はTOFの趣旨から会場は設定しない
- 第3号議案・3月第2例会の件。3月第二例会と第一例会を入れ替え、3月第一例会で臨時総会を開催し財務委員会提案の会費改定問題、37期役員について決議を行う。余剰時間をEMCアワーとしメンバースピーチを行う。3月第2例会は通常例会とし、ゲストスピーカーは木村隆氏
- 第4号議案・4月花見例会(会場、プログラム、ゲスト会費)。メネット、ゲスト、コメント7000円。
会場 セブントゥー(ウエディングレストラン)木屋町三条上ル
- 第5号議案・4月第2例会(ゲストスピーカー)。石井 浩一氏。
- 第6号議案・リーダー卒業祝金。5万円を拠出する(2月第一例会で贈呈)。

報告確認事項

- TOF例会プログラムについては地域奉仕委員会、進行はドライバー委員会。
- 2月第一例会にて和敬学園奨学生支援金、リーダー卒業祝金、国際協力募金の贈呈を行う。
- 3月第2例会(EMCアワー)6名のメンバースピーチを行う。
- チェンムルポ40周年訪問・4月20日出発、22日帰着。宿泊は会場であるインチョンロイヤルホテルを確認中。
- 京都部ワイズター STOP HIV/AIDSワークショップ(2/18 PM15:00～ 三条YMCA)参加者、井上彰、岡見
- 京都YMCA創立118年会員集会(2/23) 参加者 井上彰

Happy Birthday

4日 高田君 10日 谷口君 13日 西中君

Happy Anniversary

3日 丹羽君御夫妻 13日 川上君御夫妻 20日 松崎君御夫妻
22日 井上均君御夫妻 26日 下坂君御夫妻

YMCA NEWS

1.2006年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。

3月11日(日) 午後2時～5時30分 京都YMCA三条本館マナホール

2. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動 電話075-255-4709 グローバルアウトドアクラブ 電話075-231-4388

3. 春休みスキーのお知らせ

コース名	対 象	日 程	行き先
リトルキッズスキー春	小学1年～2年生	3月26日(月)朝～30日(金)朝	志賀高原
小学生スキー 春	小学3年～6年生	3月26日(月)朝～30日(金)朝	志賀高原
中高生スキー春	中学1年～高校3年生	3月25日(日)夜～31日(土)朝	野沢温泉
チャレンジスキー 春	小学4年生～高校3年生	3月25日(日)夜～31日(土)朝	野沢温泉

4. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。

場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)

日程 2007年3月29日(木)～4月2日(月)4泊5日 対象 小学2年生～高校3年生 費用 54,000円
(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

5.春休みスイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室のご案内

春休みのスイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室参加者募集中です。

①春休みスイミングスクール

期間 3月25日(日)～30日(金) 連続6日間

対象 新年中・新年長(平成13年4月2日～平成15年4月1日生)、新小学～中学生

場所 京都 YMCA ウェルネスセンター三条 室内プール

費用 8,000円(会員以外の方はシーズン会費2,000円が必要です。)

②鉄棒・とび箱が好きになる教室

対象 ABクラス 新小学1年生～6年生 CDクラス 新幼児年中～小学3年生

日時 3月25日(日)～29日(木) 連続5日間

A午前9時～ B午前10時25分～ C午後1時～ D午後2時25分～

場所 京都YMCA今出川センター体育館(上京区烏丸今出川下ル西入ル)

費用 10,000円(会員外の方はシーズン会費2,000円が必要です。)

※Cクラスは定員に達しております。

③デイキャンプ 日帰り連続4日間

◎ 幼児フレンドシップ 期間 3月26日(月)～29日(木) 午前9時30分～午後4時30分

対象 新年中・年長 (平成13年4月2日～平成15年4月1日生)

◎ 小学生フレンドシップ 期間 3月26日(月)～29日(木) 午前9時～午後5時

対象 新小学1年～3年生

※以上、費用 28,000円(会員以外の方はシーズン会費2,000円が必要です。)

6.京都YMCA軽度発達障害児理解セミナー

2007年度より教育現場で特別支援教育が本格的にスタートします。市民の方々が理解を深め、軽度発達障害児が健やかに成長できる社会作りに貢献できればと願いセミナーを開催いたします。

日時: 2007年3月3日(土)午後1時～午後3時 場所: 京都YMCA三条本館 マナホール

講師: 小谷裕実 大阪教育大学助教授、小児科医

講演: 1. 発達障害とは

2. ソーシャルスキルとトレーニングの実際～サポートプログラムを通して～

7. リトリートセンター夏期利用案内

京都YMCAリトリートセンターの中を魚や、カニがいるきれいな川が流れ、鳥の声が聞こえます。夕食はバーベキューをご用意いたしております。自然いっぱい心で安らぐリトリートセンターでは夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

夏期(7・8月)利用受付開始 30名以上 3月14日(水)午前10時～ 30名未満 3月22日(木)午前10時～

※2007年4月～2008年3月まで(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

※お問い合わせ(詳しい内容)・お申し込みは

①②③④⑥⑦ 電話(075)231-4388

②⑤ 電話(075)255-4709

編集後記

三月は「寒梅」を愛でる一時の風情を心待ちにする季節でもある。何故か今年は早くも「暖梅」?がいつの間にか満開らしくて桜さえも咲き急いでいるらしい。日本人の美学は、ゆっくり待ち望む季節感にあると常々思っているのだが、どうもはぐらかされっ放しで情緒が無い。

ブリテンも「もう3月かいな」と只の月刊号としてなおざりにされないよう“月感匂う”そんな号にしたいと常々願っている。

(委員長・森田美都子)

Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

Tel 075-257-6767

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会

委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

4 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.4.1 発行
第 36 巻 第 10 号通巻 418 号
CHARTERED 1971

クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 “One for all, all for one” 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
Yサ・ASF

聖句

天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。

マルコによる福音書大13章31節

YMCAサービス事業について

パレスクラブ担当主事 阿部和博

ワイズメンズクラブは定款に自らをYMCAに対する忠誠心とYMCAの活動を支援する団体であると規定しています。そのことから私たちはワイズとYMCAは良好な関係を保ちつつ、共に平和な社会を築いていく使命を強く感じます。また、ワイズの各事業の中でもYサ事業はワイズがワイズである根底を成す重要な事業であることも強く認識させられます。

さて、パレスのYサ事業はYMCAからの支援要請を受け、そのことに全力を尽くし、YMCAプログラムの支援活動を人的・財的に大きく支えてきました。他方、Yサの働きには社会の変化の中でYMCAの目的達成のために方策を共に考え、実現に努力することもあります。その努力とはYMCAにとって必要な運動・事業・プログラムを考え、企画・運営に積極的に参加することかと思えます。そして、実行委員会や運営委員会に委員として関わり、私たちパレスの知恵と力を結集してYMCAを強化し、京都の地に無くてはならない存在とすることです。その働きをYサが行うことができればもっとさらに誇りのもてるYMCAとワイズになるのではと思います。三条YMCAで行われている祇園祭の屋台やクリスマスイルミネーションなどワイズの提案を受けて共働で実施したYMCA活動がいくつもあります。この数年、パレス各委員会の会合をYMCAの施設で行う機会が増え、YMCAでできる・やるべきことのイメージが膨らんでいるかと思えます。これからのYサ事業は従来の受動的支援活動に加えて能動的支援活動を行うことで、より充実したワイズ活動を展開することができるのではと考えます。より良いYMCAに私たちがすることが、よい良いワイズにすることであると思えます。私たちのワイズ、私たちのYMCAの発展のため、これからのYサ事業はますますその重要性が増してきたようです。



例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
3月第1例会	33名	3月第1例会	12,000円	切手	0PT	3月	0円
3月第2例会	35名	3月第2例会	43,000円	累計	0円		
在籍者数	47名			現金	147,000PT		
出席率	91.1%	累計	295,000円	累計	147,000円	累計	1,530,445円

3月第1例会「臨時総会・メンバースピーチ」(第859回例会)

日時 2007年3月14日

場所 京都ブライトンホテル

井上 均

今日の例会は臨時総会とメンバースピーチ。7時過ぎ司会の開会宣言。例会場はメンバーが20数名このままで臨時総会が開けるのかなあ……

会長挨拶はYMCAリーダーの卒業祝会での話し、諸報告の後の楽しい食事。食事の後、臨時総会この頃には(書記発表)メンバー数32名、委任状5通、何とか定足数を満たし臨時総会が開かれた。

<第1号議案>会費改定の件では色々と意見が出されたが1名1ヶ月¥2,000の値上げが承認された。質問に対しもっと意見交換がされ、今後の方策を述べて貰いたかった。

<第2号議案>次期事業委員長の件も承認された。次期事業委員長の一年間のご活躍を期待致します。

今回のEMCアワーはメンバースピーチ。

トップは山本好一君。葬祭士ディレクターの試験と現場での仕事は「基本に戻る」大切さを感じるとの話し。

2番手は金村孝一君、入会早々にスポンサーが退会され悩んでいたが頑張っていると決意され、ご自分の会社の経歴と方向を話された。

3番目は次期会長の川上孝司君。次期三役、役員の方々に自分の役員、委員長経験談話をされユーモアのこもった激励の言葉を送られた。

4人目は村田佳秀君。納涼例会に初めてゲスト出席した時、自分の居心地の良い場所に居るより、厳しさと楽しいパレスに入会しようと思った話。

ラストは永井孝君。自分が会長をしていた95年1月の阪神淡路大震災の翌日には京都部全会長が出席しYMCAと共にワイズメンの行動力と働きは凄いと思った話し。

会費の値上げは承認されたが、今回の様な出席率や遅刻者を無くす方策も大切ではと思うのは私だけでしょうか。これでも一日は過ぎて行く。



3月第2例会「ゲストスピーカー・木村隆氏」(第860回例会)

日時 2006年3月28日
場所 京都ブライトンホテル
笹山直世

今年には入ってもう3ヶ月が終わろうとしている・・・「早いねえ」なんて、春の訪れのせいか、仕事疲れのせいか、最近少しボーっとした感じの日々でした・・・

3月第2例会は井上会長の点鐘で、常同様に始まり、ゲストスピーカー木村隆様の紹介が済むと、京都トップスクラブのPRタイムへと入った。その後、食事を頂くのだが『やはり大勢で食べる食事は旨い、ホテルの食事ともなれば尚更だ』と、私はメインディッシュの肉を嚙締めた。

いよいよゲストスピーカー木村隆様のお話が聞けると、私の胸は躍った。私にとって、戦争体験談を、直接聞くのは初めての事で、それには非常に興味が有った。

木村隆様、大正14年生まれ、昭和17年日本海軍へ入られたとの事、戦場での出来事を聞いていると、余りにも異常で、ふと何処かの物語でも聞いているのかと、錯覚してしまいそうになった。いやいや是は紛れもない事実なのだ。戦場では皆、殺さなければ殺されるという極限状態に置かれているのだ。船内の壁に飛び散った肉片のお話、出血→のどが渇く→水を飲む→死ぬといったお話、愛する者の名を言って死んで行くのだというお話。強烈だった。

自分の体に多量の銃弾を撃ち込まれるところを想像してみたが、想像しきれなかった。

私が生まれたのは1970年、戦争が終わって25年後の事、自分の目で見て来た歴史は、大体分る。私が生まれる前の25年間はいったいどんな風だったのだろう、テレビなどで見る、戦後の何も無い景色からたった25年で、私の見て来た景色へとつながっていくのだ。

戦争が終わって今年で62年、戦争の恐ろしさと、歴史に付いて考えさせられ、少し気の引き締まった3月第2例会であった。



彦根シャトークラブ 25周年記念例会に出席して

日時 2006年3月4日
場所 彦根プリンスホテル

パレスクラブ 爲國 光俊

気温は20℃をこえて4月のような暖かな天候に恵まれた3月4日(日)、井上会長の運転で、以下、宮本・杉本・河合・為国の5名が彦根シャトークラブ25周年記念例会に出席してきました。

彦根シャトークラブの親クラブにあたる彦根クラブのメンバーとパレスとは古くから交流があり、その関係から彦根シャトークラブ設立時からおつきあいをしていると言ったパレスとの昔からのつながりの話や、グルメ、健康と、行きの車中では話題が拡がり、「もう年往くと身体がガタガタや」とか言いながらも「どこそこで食べた酒肴は旨かった」、「今年は暖かったからゴルフ三昧で忙しかった」と、どう考えてもガタガタやない話しばっかりに大いに盛り上がりました。

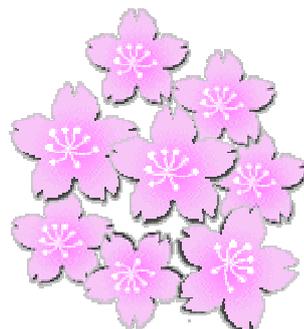
彦根シャトークラブは滋賀県多賀町にある風の谷キャンプ場管理等の建設を25周年記念事業として掲げられ、子クラブである長浜クラブと共同でYMCAをサポートされてこられました。式典では、その贈呈式がおこなわれ、祝部滋賀YMCA総主事から「管理棟建設によってリーダー達がさらに活動しやすくなった。利用者も毎年増加している」と感謝の言葉が述べられました。リーダー達を見据えての奉仕活動といったことはパレスではあまり例がないようで、大いに学ぶべき点だと思います。

ところで、記念例会といえば本来は厳粛な空気の中での式典となりますが、司会をされていた伊藤忠夫ワイズは、頭の回転が速く大変ジョークの上手なユニークなワイズメンで、挨拶のスピーチをされる方も、



参加者も、終始なごやかな雰囲気の中で進行していき、あっという間に時間が過ぎてしまうものでした。肩肘張らずに和気藹々と楽しめる例会運営をされているんだなということが伺える、彦根シャトークラブのメンバーシップが大いに発揮された式典でした。そうそう、伊藤忠夫ワイズはパレスでは●●忠男ワイズとよく似ているように思えました。皆さん、そう言えばイメージが湧きやすいでしょ。なぜか名前の読みも一緒ですので偶然の一致とは思えません。

その後は、元イラク復興業務支援隊の初代隊長を務められた佐藤正久さんの講演で、命懸け体験から得られた人種を越えた信頼関係の大切さの話に感動し、懇親会では、一井ワイズ(草津クラブ)率いるギターアンサンブル「トリオE」が奏でる、春や明るい未来を予感させる美しいメロディの演奏に酔いしれ、参加者全員が満足した、楽しいひとときを過ごすことができました。今後も、他クラブへ訪問する機会があれば三役の皆さんは是非ともご出席いただき、若いメンバーや入会間もないメンバーを誘ってあげていただきたいと思います。



2006 年度京都 YMCA 卒業リーダー祝会

日時 2006 年 3 月 11 日

井上 彰

三月は卒業式のシーズンです。恒例のYMCA卒業リーダー祝会が行われました。礼拝式次第では聖書朗読一ルカによる福音書第10章25節から37番一の朗読がされ、奨励として、門脇光禅牧師のお話がありました。

続いて行われた祝会ではウェルネス事業委員長の宮本隼史ワイズが祝辞を述べられ、乾杯、懇親と続き着物姿の卒業リーダーもおられ華やいだ雰囲気になりました。リーダー達と一緒にゲームをしたりして楽しい時間を過ごしている時に、リーダー達に「ワイズメンズクラブを知っていますか？」と尋ねますと、「知りません」と言う返事が返ってきました。4～5人のリーダーに訪ねますとやっと一人の方が「知っています。」と答えてくれました。そこで「どのような内容でボランティアをしているクラブですか？」訪ねますと、「詳しくは知りません。」と答えが返って来ました。この事で分かるようにリーダー達に我々ワイズメンズクラブがどのような奉仕クラブであるかを知って貰う必要があると感じました。リーダー達と共に相互理解を深めYMCAへの奉仕活動をよりいっそう強いものに行かなければなりません。

よく「今の若い物は、……」と言う事を聞きますが卒業するリーダー達においてはそのような言葉は全く必要がありませんし、近い将来ワイズメンズクラブに入会してくれるようなりっぱな社会人になってくれることを願い、祝会を後にしました。

じゅず繋ぎシリーズ

我が家の「おすすめ」

山本好一

先日家のFAXからブリテン原稿執筆のお願いと書かれたFAXが届いているのを見て、何をすすめていいかと大変困っています。しいて言えば私も小西ワイズと同じく車が好きで免許を取って以来、父親のカリーナを改造車にして乗り回し、今日までにハコスカ、セド、マークII、クレスト、クラウン、セドワゴン、シャレード、ローレル、グロリアセダン、キャラバン、インテグラ、MPV、ハリヤーと続いています(その筋の人にはたまらんでしょう?)

基本はローダウンにワイドタイヤにフルスモーク、これは私の中で車の絶対条件として一步も譲れないものがありました。



ちなみに今の車を紹介します。

年式は少々古く 98 年式の 2. 2L, Gパッケージ、もちろんダウンサスは当然、20インチのレーベンハートでピレリーの245-35のなかなか減りの早いタイヤ、あえてノンエアロで乗っています。

私の車に対する考えはもちろん日常の足ですが、唯一のストレスの解消、趣味、オモチャなんです。

それから小西ワイズと少々違うのは、車の性能、乗り心地なんかは全く気にしていません。先に書いた車は殆どがシャコタンのため、最悪の乗り心地又スピードも出せない、止まらないと言った物で相当のテクニックを要します。なんでそんな車が？そうその気持ちは誰にも理解出来ないでしょう。

今のハリヤーもしっかりとハンドルを持っていないと道路の表面に合わせてハンドルを取られるし……、一度運転したい方はどうぞトライされては？

又この車を洗う毎に安らぎを感じる毎日です。たぶん死ぬまで。

ここで私のおすすめの一品ガラスコーティング、クリスタルワン！！しばらくは水洗いだけでOK、ぜひ使ってください。

毎日の通勤約20分程、キャッツアイを気にしながら走ってます。見たらすぐわかりますので！



37 期三役の抱負

副会長 河合信也

次期またまた副会長という大役を仰せつかる事となりました。今期久々に役から離れさせて頂き、仕事・趣味・チョメチョメとお気楽な立場でのクラブライフを過ごさせて頂きましたお陰で、すっかりクラブの知識は飛んでしまい、ユルユルでナマナマ状態です。(ナンノコッチャ!)元に戻るまで何ヶ月いや何年?(終わってるやんケ)掛かるか分かりませんが、しっかりしている相方にオンブにダッコ、他の有能な三役さん達にも思い切り寄り掛かり、今期以上にクラブライフを楽しみたいと思っております。なんて事を書いたらお叱りを受けそうなので、最後は真面目に「川上次期会長をサポートしていくぞ!」と力強く宣言させて頂きます。メンバーの皆様にはワイズ精神の温かい心でのご協力・ご指導をお願い致します。

副会長 別所 修

第37期の副会長をお受けする事になり。不安と期待に胸膨らませております。そもそも私は京都パレスに入会したきっかけは奉仕活動について興味があったのは勿論の事、自分自身をより成長させたい思いがあり、このままでは現状維持、いやマイナスになるとの思いで入会いたしました。もともと大勢の人が集まる所や初対面の人と接する事が大の苦手で一匹狼のようなライフスタイルが自分にいちばんあっていると思っておりました。入会してしばらくは、例会や色々なイベントに参加する事がとても億劫で何に対しても消極的でこのままではいつまで続けられるか自分自身とても不安でした。そうしたなか、クラブ活動の事、仕事の事と色々な方から声をかけていただき少しずつ自分のクラブでの位置付が明確になってきた様に思います。今回、川上次期会長よりお声をかけて頂いた時も、お断りする理由を色々考えてしまう自分がおりましたが、入会当初の目的をもう一度再確認して、次期川上会長、そしてパレスクラブを盛り上げる為、少しでもお役にたてる様努力して、37期を有意義な一年にしたいと思っております。今後とも、宜しくお願い致します。

書記 川勝政男

川上新会長の下に書記を拝命する事になりました。2回目の書記です。前回は、西枝先輩と一緒に、色々なことを聞きながら、またミスを起こした時は、西枝さんどうしようかと相談しながら何とかやり終えることができました。

今回は有望な新人の安達さんと書記タッグを組むことができるので、新委員長の方々、あれはどうやったと色々な事をお聞きしますが、宜しく申し上げます。こころ強い他の三役の皆さんと、前回はできなかつたことを少しでも改良を加えることができれば嬉しく思います。情報の書記として気が付いた事があれば、何にでも連絡を下さい。「できることは直ぐに行く」モットーに。

川上新会長以下三役一致団結して、Hand in Hand 笑顔でクラブライフを送れるよう頑張りますので、皆様のご協力の程 宜しく御願致します。

書記 安達雅直

次期書記という大役を拝命致しました。もちろん、初めての役員・書記です。川上次期会長からご指名頂いた時は、書記の仕事内容を全く理解しておらず、正直戸惑いましたが、今となって、ようやく書記という仕事の内容が少し見え始めると共に、その大変さに気付いております。まだまだ、知らないことや分らないことが多々あり、皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、心強い川勝さんにご指導頂きながら、また自分自身もより深くクラブを知ること、この大役を努めたいと思っております。

次期会長には、クラブ入会が一年に満たない私をご指名頂き、クラブについて学べる機会を与えて下さったことに感謝致します。最後になりますが、次期会長の三十七期を盛り上げられるよう、そして次期会長の特色を十分に味わえる一年になるよう、三役さんと共に協力していきたいと思っております。皆様、ご指導ご鞭撻の程、よろしく御願申し上げます。

会計 小桜武彦

会費の改定される第37期会計を拝命致しました。新しく下坂会計と共に資金面でクラブの更なる発展に努力させて頂きます、世間では連続好況と言われ乍ら実感無き景気回復の中、年間1000万円以上の貴重なメンバーの財源をお預かりする訳であります故慎重にクラブの健全且つ有効な運営に供したいと思っております。今までの各事業の見直しも含めメンバーの皆さんに会計面でも活発で前向きなご意見をお願い致します。

メンバー各位のご協力を宜敷く御願申し上げます

37期会計としての抱負は特にありません。ただ、先日の例会で、37期三役承認での私のコメントで申し上げた”会計が三役とは知らずにお受けした。”という言葉ですが、この意識を撤回して、今よりもさらに京都パレスワイズメンズクラブを”活性化”させるために川上会長を全力でサポートしていきたいと思っています。

また、今回は役員や各委員長に私を含めて入会歴の浅い方が多く含まれています。解らない事や失敗もあると思いますが、先輩の皆様、”優しく”指導していただけたらと思います。私自身も責任感をもって会計の仕事だけでなく、クラブ全体を運営する役員として動きたいと思っています。よろしくお祈りします。

トッチャンが「ジャパングジャーナル」に掲載されました。

杉本泰造君 提供

Twisters of Threads 組ひも(訳文)

宮本隼史さん家族は、100年以上に渡りふさと組みひもを作っています。しかし、彼らの技術はそれよりもかなり古いものです。

みこし、着物、髪飾りなど公式行事や毎日の場面の中で、ふさと組みひもは日本人の生活に優雅さと色を与えてきました。その色と形は、その使われる方によって異なり、何百という数のバリエーションがあります。ふさと組みひもは縄文時代に登場し、王朝時代の装飾品の発展のためのアジア大陸の文化と融合しました。そのような長い歴史と文化価値にもかかわらず、決して威圧的なものではありません。「ふさとひもは、人生と共にあります。しかし、注意を払わない限り、その存在に気がつきません。ふさとひもは、単独では売られません；脇役として存在します。その役割は重要でないかもしれません。

ふさと組みひもの職人である宮本さんの話では触るだけで損害と弛緩の位置が分かるといいます。彼の大きな手のひらの指紋は、摩擦によってすり減っています。

宮本さんは110年の歴史を持つ京都のふさと組みひも名門店の4代目です。8人の職人と共に、小さな装飾的なふさからみこしのために使われる大きな組みひもまで幅広く手がけています。宮本さんは14歳のときに家業を手伝い始めました。彼の兄が病気がちだったので、彼は大学に行くことをあきらめて、高校卒業後に家業をつぐことになりました。映画の中で使われるように馬装飾のふさと組みひもが特に彼を魅了しました。彼自身の好奇心が彼の技術の進歩に役立ち、後に黒澤映画の中で使われるようにの組みひもを作るようになったのです。

宮本さんの技能はみこしや国宝の建築物・よろいのふさと組みひもの復元をリードし、1971年に、京都の二条城のふすまの飾りひもを復元しました。上質の絹とは簡単にすり減らないため、城が17世紀初期に建てられて以来、ほんの少しの職人だけが、その仕事を務めました。最後に務めた職人はもうずいぶん前に亡くなられています。残った組みひもを新しくしていくのは世代を超えた職人間の技術・経験のバトンリレーのようなものです。

ふさと組みひもが全盛だった、皇族やサムライの時代が終わり、月日は長くたち、日本のライフスタイルは劇的に変わりました。ふさと組みひもは今日では頻繁には使われません。

しかし、宮本さんは悲観的ではありません。ワインのボトルの飾りふさ、ひもで包まれた真珠のネックレスなど新しい用途の発見を楽しんでいます。「私は、私の息子の結婚式でワインのボトルふさを紹介しましたが、あまりよい商売にはなりませんでした」と宮本さんはいたづらっぽい微笑を浮かべて話された。

「50年もの仕事の中で満足いく作品はまだありません」と宮本さんは言います。それが理由で現在見習い中の彼の息子に早く店を渡したいと望んでいます。「全身全霊をこめ職人魂を持たなければ、何もよいものを作ることができません。私は、出来る限りスローライフに徹しようとしています。コンピューターもなく着物を着て楽に生きること。私が仕事をやめて精進込めて集中することができた時、きっと満足するものができるでしょう」と、宮本さんは語ります。そして、こうしてまた、最初に渡されたバトンを次へとつなげて行くでしょう。

The Japan Journal とは

外国語で日本を伝える The Japan Journal。「必要な国」と思われるために中国や韓国で反日感情が強まるなど、今ほど日本を世界に正しく伝える取り組みが求められている時はない。そんな中、外国語で日本を伝える月刊誌「The Japan Journal」の意欲的な取り組みが注目される。

(株)ジャパングジャーナルの社長兼編集長は、評論家の粕谷一希氏(75)。かつて「中央公論」の名編集長として知られた氏に、海外広報の重要性を聞いた。(植田滋)「ジャパングジャーナル」編集長の粕谷一希さん「『ジャパングジャーナル』は日本では無名だけれども、海外ではかなり有名です。途上国の首相クラスからも反応があります」。粕谷氏は



発行から1年半になる月刊誌の現状をこう説明する。発行部数は英語版(40ページ)が約5万9000部、中国語版(20ページ)が約7000部、スペイン語版(16ページ)が約5000部。外務省など行政機関一定部数を買取ってもらうなどの協力を得、各国の政府、政府機関、報道機関、知識人などリーダー層に配布しているため、部数の割には高い影響力を確保できているという。

内容は、政治経済から科学技術、文化芸能に至るまで、幅広く、「日本がどういう国であって何をしているのか、正確に発信するようにしている。」劇作家の山崎正和氏や国際政治学者の田所昌幸氏らが編集委員を務め、これまでに「観光からみる日本」「国際紛争に対する日本の貢献」「省エネルギー技術」などの特集を組んだ。最新号(11月号)ではメインに「日露修好150周年」を取り上げている。ただし、靖国神社問題など意見の分かれる話題は意見が収斂してくるまで掲載を待つこととし、「一党一派に偏さないようにしています。」インターネットが普及している現在、活字メディアでは日本を紹介する意味はどれだけあるのか。粕谷氏は、「新聞や雑誌は情報を載せるだけでなく、膨大な情報から選んで伝えるところに価値がある。何を捨て、何を選ぶかは、経験と見識がないとできない。価値ある情報は一国の運命をも左右する」と強調する。

長期的に見た時、海外広報の大きな狙いは、「日本という国が世界にとって必要な国だと各国に思われること」だという。日本が経済的に強すぎるだけでは世界から歓迎されないが、「日本が豊かであることが、世界にとって利益になるイメージを抱いてもらえればいい。」

いまの課題は、やはり悪化している中国との関係。現状では3か国版とも同じ内容だが、中国語版だけは情報を補足するなど増強し、「中国には日本人として言うべきことは言うという方針を検討している」。加えて、報道の自由が制限されている中国の現状にあたっては、「白川静氏や吉川幸次郎氏のように、中国人にも尊敬を得られるような日本の中国学者を発掘していかなければいけない。」他方、ASEAN諸国やイベントへのアピールを強めていくことも大事だという。現在、広報外交の巧みさに関しては、日本は中国の後塵(こうじん)を拝しているといわれる。「これからは日本人にジャパンジャーナルの取り組みを理解してもらい、海外広報を強めていければと考えています」

The Japan Journal のHPは <http://www.japanjournal.jp/> (本記事は2005年 10月31日付け読売新聞より)

お知らせ

3月役員会報告

承認事項

- 第1号議案・5月第一例会について・ゲストスピーカー未定。ゲストスピーカ都合により第二例会と入れ替えの可能性あり。
- 第2号議案・5月第二例会について。ゲストスピーカー下坂ワイズ。謝礼は三万円。
- 第3号議案・夜桜フェスタについて(4月22日)。
実行委員長として平井副会長を選出し、具体案についてはYサ委員会で検討。
- 第4号議案・チャリティランについて(5月20日)
Yサ委員会で人数集めを行い、和敬学園については地域奉仕委員会で確認をする。
河川敷での火の使用ができないので屋台出店はしない。
- 第5号議案・次期事業委員長の件
原案通り臨時総会議案とすることを承認。

報告確認事項

1. 臨時総会での会費改定議案についてまだ周知説明が出来ていない委員会は総会までに各委員に説明を行う。
総会までに会員掲示板に会長より会費改定議案について説明文を掲載する。
2. 韓国チェンムルポクラブ40周年記念例会訪問の件
現在のところ参加者は確定5名と未確定2名計7名

Happy Birthday

2日 森田君、 13日 松崎君

Happy Anniversary

12日 西村君御夫妻 16日 村田君御夫妻 17日 吉岡君御夫妻 18日 瀬戸君御夫妻
20日 高岡君御夫妻 30日 河合君御夫妻

YMCA NEWS

1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申しあげます。
おかげさまで今年も18名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。
いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきました。
ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力のお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人たちへの援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただいています。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2007年4月～6月
1口募金額 1,000円（何口お寄せいただいても結構です。）
納入方法 京都YMCA各館受付または、郵便振替でも受け付けております。

3. リトリートセンター第7回夜桜フェスタ 開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントを楽しみましょう。

とき 2007年4月22日(日)午後5時～8時
ところ 京都YMCAリトリートセンター
集合・解散 現地
JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり4月16日までに事務局にお申込みください。(有料)
参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料
※チケットは三条本館・今出川YMCAで販売中

4. スイミング・体操・バスケットボール・サッカー各クラス参加者募集中 受付中

対象 スイミング: 幼児年少～中学3年生 / サッカー: 年中～6年生
体操: 幼児年中～小学6年生 / バスケット: 小学1年生～小学6年生
費用・クラス日程などの詳細は、京都YMCA ウェルネスセンターまで。

5. インドのハンセン病患者支援のためのチャリティーコンサート ロマン派音楽の夕べ

日時 2007年4月21日(土) 開場 午後5時30分 開演午後6時
場所 ウイングス京都 イベントホール(東洞院六角下る)
入場料 3,000円
ピアノ 岡部佐恵子(同志社女子大学・大阪音楽大学非常勤講師)
児玉実英(元同志社女子大学学長)
ヴァイオリン 山本裕樹(同志社女子大学学芸学部音楽科専任講師)
※チケットは三条本館・今出川YMCAで販売中

以上のお申し込み・お問い合わせは 京都YMCA
本部・野外活動・リトリートセンター・文化(①②③⑤) 電話075-231-4388
ウェルネスセンター(スイミング・ユーススポーツ)(④) 電話075-255-4709

編集後記

今月号は海外広報紙に取上げられたパレス匠のインターナショナル版を掲載。次期三役さんも六者六様?に咲き始めのコメントあり。

“ 花はさかりに つれづれなるままパレスブリテンの春四月号 ”

(委員長・森田美都子)

Mail pr@kyoto-palace.com
Fax 075-257-6566
Tel 075-257-6767

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会
委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

5 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.5.1 発行
第 36 巻 第 11 号通巻 419 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 "Active Participation with Love" 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 "Participation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 "One for all, all for one" 「ひとりみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間
LD

聖句

貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。

ルカによる福音書第6章20節

ワイズリーダーシップ開発委員会

為国光俊

西日本区にはワイズリーダーシップ開発委員会 (LD 委員会) なる常置委員会があります。その目的は、「ワイズ運動を理解して、自らのリーダーシップをたかめ、自己研鑽や地域社会に貢献できるよう、相互のリーダーシップ開発を実施する」ということですが、簡単に言えば、西日本区次期役員研修会と会長研修会の立案・進行のお世話を LD 委員会がやりなさいと言うのが主な仕事となります。私自身、今期から LD 委員会に配属されたので、ブリテン巻頭に寄稿の依頼が廻ってきたと理解しています。



これらの研修会は、西日本各地の次期リーダーの方々、区および部からの方針を理解し、またリーダーとしての心得や事務手続き等の様々なプログラムを受講するのですが、講師も当然のごとく、ワイズメンです。それを通じて、LD 委員という立場上、素晴らしいリーダーシップを発揮される諸先輩方と出会うチャンスが多くありました。

その中で、メンバー増強やクラブの活性化については、常に各クラブが真剣に取り組まなければならない大きな課題であり、事業活動を通じて若い世代へとバトンタッチを積極的に推し進めるパワーや組織作りが急務となっています。やはり「良きリーダーだなあ、素晴らしいなあ」と思える方は、「ビジョン」をしっかりと持たれているということです。それも少々のことでは揺るがない強い信念です。クラブ運営をうまく進めるために作戦を決めたり、メンバーの周知を得たりすることも大切でしょうが、「ビジョン」があるのとないのでは大違いであり、その「ビジョン」の原動力となっているのが、案外、自クラブに対する危機感や問題意識にあると思うのです。そこには、リーダーとしての傲りやつまらないプライドはありません。常に改善、改めていこうとする意識の高さです。皆さんは、どのようにお考えでしょうか。

しかし、もう一步深く考えてみると、この「ビジョン」を掲げただけでは、うまくいくわけではないと思われま。もう一つ大切なもの、それは「人となり」というような、その人の、人としての魅力、人を惹き付けるような人間味といったものでしょうか。リーダーになると権限が与えられますが、たとえリーダーでない立場であってもリーダーシップを発揮できるような人間関係を作れるように友情を重んじ、自己を磨き、またクラブライフを楽しもうと思う気持ちが大切だと思いませんか。

自分のことを棚に上げての寄稿であることをお許しください。次期の準備が立ちあがったことに大いに期待しています。パレスはリーダーシップを学ぶ不可欠の場であると思います。

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
4月第1例会	名	4月第1例会	7,000円	切手	0PT	4月	0円
4月第2例会	名	4月第2例会	7,240円	累計	0円		
在籍者数	名			現金	147,000PT		
出席率	%	累計	309,245円	累計	147,000円	累計	1,530,445円

4月第1例会(花見例会)(第861回)

日時 2007年4月7日

場所 セブントゥー

小林千春

4月7日(土),「SEVEN・TWO」にて花見例会が開催されました。

今年は暖冬の影響で桜の開花が早く、葉桜例会になるのではと危惧されましたが、寒の戻り?メンバーの功德?隠塚ワイズの前祝い?のおかげで満開の中での例会となりました。

ゲスト紹介,井上会長の挨拶に続き,川上次期会長による乾杯の発声で例会が始まりしばし歓談。今日はなかなかお酒が回ります。

そんな中,スッキリとした表情(に加えてちょっとお疲れ気味)の隠塚ワイズも例会場に駆けつけてくれました。

例会終盤にはテーブル対抗「パレス検定」が行われ,順当というべきか鉄板というべきか,熟年メンバーが鎮座するテーブルが優勝をかっさらっていき,井上会長より景品が贈呈されました。

舌の回転が怪しくなり始めたころに本日の例会は終了,花見日和の土曜日ということで,メンバーは思い思いの週末を過ごすべく夜の京都へ消えていきました。

ちなみに,花見酒のせいでしょうか,ボクは傘をなくしてしまいました(お気に入りだったのに!)。気付いたらスーツ姿のままうつぶせの状態でした(これは日常茶飯事)。



4月第2例会「ゲストスピーカー・石井浩市氏」(第862回)

日時 2007年4月26日

場所 京都ブライトンホテルホテル

松崎一博

私は、第1例会は仕事の勉強会で欠席となるので、第2例会は必ず出席するようにしています。4月第2例会は井上会長の点鐘で始まり、ワイズソング、諸報告等で通常通り進行していきました。

ゲストスピーカー「石井浩一」さんの紹介があり、石井さんのスピーチが始まりました。石井さんのお話は、最初から私の想像を超えるものでした。最初にフィーナさんと会った時にその目に宿る強い意志を読み取り、この人と一緒に暮らして希望を叶えてあげようと思われたことで、その後お二人で歩まれてきた一步一步は健常者である我々でもなかなかし得る事ではありませんでした。特に、フィーナさんにタージマハルを見せてあげるためにカルカッタ(現在のコルカタ)からタージマハルまで車いすを押してインド大陸を4ヶ月も旅行されたお話に引き込まれました。私は、障害を持つ人への哀れみではなしに一人の人間としてまた一人の女性としての石井さんのフィーナさんへの惜しみない献身愛を強烈に感じ大変感激しました。しかし、もし今後私の家族が何らかの事故等で障害を持つ身となった時にどれほどの事が出来るのかなと考えさせられました。



第8回YMCAリトセン夜桜フェスタ

日時 4月22日(日曜日)

場所 リトリート・センター

平井久夫

第8回目となった YMCAリトセン夜桜フェスタ「環境を考えたフェスタ」は4月22日(日)開催されました。午後5時開会に備えて、運営委員、実行委員などが午前中より小雨の中、準備に当たりました。午後3時半頃よりは、各クラブのメンバーが続々と現れ、出店屋台の準備が始まりました。パレスクラブでは、Yサ委員会が焼きそばの屋台とワインの店を出しました。焼きそばは福井君、ワインは西村君が主として担当してくれました。開会前の試食会がそのまま開店となり、各屋台には列が出来始め、午後5時の開会のセレモニーを待たずにフライングスタートとなりました。開会の宣言が総主事よりなされた頃には、すっかりと盛り上がっていました。ビールやワイン片手にメンバー間の懇談、懇親の場が整いました。



ステージではグリーンホーンジャズオーケストラ(約20名位のメンバー)の演奏が始まりました。演奏を聴きながらもあちらこちらで会話が弾む頃、パレスの焼きそば200食分は完売、閉店を余儀なくされました。山間の日暮れは早く、周囲が暗闇に包まれてきた頃、もう一つのステージが始まりました。エバーライジングと言うグループによるレゲエミュージックとダンスです。特に、レゲエのセクシーなダンスに、会場は大きな歓声と拍手に包まれていました。

再びジャズのステージとなり、いよいよ桜花のライトアップです。カウントダウンによって点灯された瞬間、静寂の中に浮かび上がる桜の花に、感動のため息が漏れました。点灯後はしばらくすると、会場を後にする人たちが目立ち始めました。その頃には、ワイン2ダースも完売して閉店、実行委員長の開会の挨拶の頃には後片付けも済ませました。やきもきした空模様もなんとか持ちこたえてくれました。会場全体の片付けを手伝って午後8時半頃家路につきました。

(コメント・山岸 弘侍)

例年なら固いつぼみのリトセンの桜は今年ばかりは9分からはほぼ満開で我々を出迎えてくれました。心配した空模様もフェスタの間は小休止状態を作ってくれて言うことなし。売れ筋をセレクトしたというパレスの”いか焼きそば”コーナーは開始後20分で完売といった成功度です。突然度肝を抜かれたレゲエダンス！ よかったー、びっくりしたー、ええ企画やー、拍手、拍手。軽快なジャズ演奏が始まり祭りは最高。なかでもトランペッターはすばらしかった。アンコール！！演奏者と参加者とがのった、酔った、満足した大盛り上がりの夜桜フェスタでした。



これぞ私のおススメ！ じゅず繋ぎシリーズ

稀少金属

永井 孝

K18(18金)は24分の18が金の含有量で残り25%は銀や銅で構成されています。K24は100%金だけれど、借金の担保に預かるようなのは偽物が多いので御注意。金の価格は日本では、2,755円(1グラム4月11日現在)とピークの6,495円(1980年1月)の半値以下の水準ですが、ロンドン市場では677ドル(1トロイオンス約31.1グラム)とピークの850ドル(1980年1月)の80%まで来ています。最も安値だった917円(1グラム1999年9月)から比べると大きく値上がりしています。金の有史以来の採掘量はオリンピックプール3.5杯分。現在の採掘は南アフリカでも地下4,000mの底を掘って1tの鉱石中3グラム程度、マイナス50度のアラスカでも1t中2グラム程度の採掘量と困難を極めています。それらを考えますと金の投資は有望ですが、買時期を間違えると楽しみは半減します。今はプラチナ他レアメタルが有望視されていますが、日本人は昔から金が好きなのです。秀吉が铸造した慶長大判などは貴重なもので大変な値段になっています。私自身としては、タングステン他のレアメタルの方が大切だと考えていますが、これは、ほとんど日本には無く中国での埋蔵量が世界を圧倒しています。いかに中国が日本にとって重要な国かこれからもわかってもらえると思います。8月の例会に田中貴金属特約店ゴールドスリータナカの齋藤社長をお招きしたいと思います。それまでに興味の有る方は一度同店をお尋ね下さい。尚、その時はマスクや覆面は出来るだけせずに御訪問していただきますように。

本日の金・プラチナ価格		
金	2755	2693
プラチナ	5151	5026

金地金特約店
株ゴールドスリータナカ



インチョン・チェムルポクラブ訪問

日時 4月20日～22日

場所 韓国 インチョン

安達雅直

20日、川上メネットと早朝のJAL便で韓国に到着。その後、別便で井上会長、小西交流委員長、笹山さんが韓国入りされました。

まず、到着日の20日は前夜祭。ホテルから車ですぐの中華料理店で、簡単なメンバー紹介があり、個別に名刺を交換しました。20人以上の方と名刺交換をしているうちに、いつの間にか名刺とお顔が一致しない始末に・・・。(ホテルに戻ってしっかりと名刺の整理をしたのは言うまでもありませんが)

そして2次会はカラオケへ。カラオケと言っても、日本のカラオケボックスでは無く、舞台上で熱唱するタイプのもので、歌唱力に全く自信がない私は、清水の舞台から飛び降りる思いでその舞台に足を踏み入れました。韓国のメンバーの方は皆さん大変上手で、もちろん我がパレスのメンバーも会長を始め皆さん歌手顔負けの歌声で、私は益々小さくなっていました。何はともあれ大変盛り上がった楽しい2次会でした。

翌日はインチョン市内の観光。現地の方が30分程の遅刻・・・、をされるという一幕もありましたが、その間、車中での会話に花を咲かせました。午前中は市内のチャイナタウン(戦時中は日本と中国の租界地)を散策。昼食は参鶏湯(鶏粥のようなもの)で、(前日の



中華料理とは違い・・・)やはり本場で頂く韓国料理は大変おいしかったです。午後は、ビルの展望台に行きましたが、あいにく黄砂の影響で遠くまでの景色は見られず残念でした。

夕方からは、今回のメインイベントの記念式典に出席。河合さんも到着され、韓国訪問メンバーが揃ったところで式典開始。井上会長が通訳を介して日本語でご挨拶され、式は滞りなく進み、最後はカラオケ大会となりました。韓国の方は非常にカラオケ好きで、また井上会長もお好きな方らしく、マイクを持つと水を得た魚のように元気に歌っておられたのが印象的でした。唯一、式典での音響が・・・、と言った感じで効果音を鳴らすタイミングが違っていたり、拍手の音が入っていたりとありましたが、チェムルポクラブの方の暖かい歓迎とおもてなしで、本当に素晴らしい式典、また韓国訪問となりました。

最後になりますが、チェムルポクラブの方のお話では、クラブに若い方が入会されず、現在45歳の方が一番若いメンバーで、会員数も年々少なくなっているとのことでした。将来に不安を感じずにはいられない印象を受けました。我がパレスクラブもさることながら、活動の幅を広げ、若い方の参加も促せるクラブになることを願っています。

次期は、台湾訪問??期待しています。



次期会長・主査研修会に参加して

日時 3月17日～18日
場所 マーチンダイズ・マートビル
川上孝司

去る3月17日(土)～18日(日)次期会長・主査研修会が開催されました。以前Yサ主査として研修会に参加させていただいた時は六甲山YMCAで行われていたのですが、今年は大阪マーチャンダイズ・マートビルでの開催でした。神谷次期西日本区理事の開会点鐘で2日間のプログラムがスタートしました。まず神谷次期理事より主題の「確信を持って前進しよう」を發表されました。1日目はキリスト教に対する理解をするための懇談会やYMCAの活躍状況などの發表がされました。二日目は、各事業主任の力強い初心表明を聞かせていただきました。国際統一事業「STOP HIV/AIDSプロジェクト」の継続活動、Y3の活動支援などいろいろ説明がありました。しかしEMC主任のお話が印象的でした。「何とかメンバー数を1800名以上超えなくてはならない、1800名が損益分岐点である、このままで行くと5年後にはワイズメンズクラブは西日本から消滅してします」と、かなり暑いお話を聞かせていただきました、やはり私も数はいろんな意味で力になると思います。あの澤田 EMC主任の演説にも似た初心表明が、今も頭から離れません。最後に会長・主査は参加感想文を書き参加者165名の会長主査研修会の幕を閉じました。今回、研修会にあたり準備などに多大なる苦勞をしていただきましたワイズリーダーシップ開発委員会の皆さんに対し心よりお礼申し上げます。



初めてのハネムーン。奇行・紀行・聞こう！！

平野雅幸

イアオラナ～(こんにちわ)

ようやく新婚旅行に行くことが出来ました。

行き先はタヒチ、[ボラボラ島](#)。

ゴーギャンの愛した所です。

不慣れな(苦手)飛行機では手にぐっしょりと汗を握り締めながらも行ってきました。

夜に出発して着くのは昨日の昼というなんともお得な経験をしつつ、タヒチのパーペテ空港に到着。ちょっと時間待ちして国内線に乗り換え。今回はプロペラ機でボラボラ島のファアア空港に飛びます。そこからさらにホテルの送迎の船に乗りようやくチェックイン。着くなりカードを控えられます。これでホテル内での飲食、物品購入がサインひとつで出来るということらしいです。恐ろしいですね。

微妙な味のココナッツ汁(中華街とかで売ってる椰子の実にストローの刺さったものと同じ感じ)がウェルカムドリンクとして出てきます。

部屋は写真に出てくるような水上コテージ。ガラスのテーブルからは水面が見え、そこからパンを落とすと池の鯉の様に魚が寄ってきます。

部屋のデッキからは海に降りれるようになっており、シュノーケリングのセットを身に付けて入ってみると・・・

カラフルな魚がたくさん。ほとんど警戒心も無くよってきます。珊瑚もいっぱい。泳ぎは得意でない(嫁さんは泳ぎが大得意。置いて行かれると心細かった・・・)のですがビデオ片手に夢中で潜りました。アクティビティを申し込み、エイに触れたのは感激でした。その周りをサメが泳いでいたのはちょっとなんとなく怖かったです・・・

潜ってばかりいるわけにも行かないのでヨットでクルージングに行ったり、バギーを借りて島一周したりと現地5泊の期間それなりに忙しく楽しい日々を過ごせました。

夜は服をちょっとオシャレに着替えて、ディナーです。主として魚介類の多いフレンチでとても気に入りました。あつというまに時間が過ぎました。竜宮城に行った浦島太郎はきっとこんな感じだったんだと思います。

そうそう、やはりウクレレが人気あるらしくいたるところでウクレレを持っている人を見ました。もちろん購入したのは言うまでもありませんがいざ弾いてみるとむっちゃむつかしいです。ウクレレが弾けるようになるのは程遠そうですが、タヒチアのガイドのパイナップルの剥き方が独特だったもんで見よう見まねでパイナップル剥きを体得しました。パイナップル買ってきてヘタを植えてみました。収穫の際にはご馳走します。

と、つらつらと書き綴りましたがとてもすばらしい新婚旅行でした。

また行きたいです。というかタヒチに帰りたい。そういう気持ちになれるようなところでした。



入会して半年経ちました

村田佳秀

早いもので正式に入会して半年が過ぎましたが、入会前と今とでは正直かなり印象が変わりました。最初にゲストで参加させて頂いたのが夏の納涼例会で家族連れの方もおられ、和やかな雰囲気の中、会を楽しませていただき『仲間に入れていただきたい』と安易な思いを抱きました。その後ブライトンホテルの例会に出席させて頂いた時、まだ会の趣旨が理解出来ず戸惑いも感じました。

最近は業務上の都合によりなかなか参加できない現状ですが、今後も多くの方々と接し自分の見識を広げ、会に貢献できることには積極的に参加したいと思っております。いろんな意味ですばらしい会だと思っています。

ただ新人の立場で発言するのは失礼だとは思いますが、今後の会の発展の為、折角の全員執筆参加の機会を頂いたので発言したいと思います。唯一、会の印象を悪くしている事があります。それは日々配信されるメール(掲示板等)の中で匿名での誹謗・中傷。時にはそれに対するバッシングがあることです。会への参加意識や意義を高める為にも、早く掲示板の常連に・・・という思いもあるのですが非常に関りにくいです。正直そういった書き込み等に興味はありませんが、そんなメールが一日に何度も来た時には何となく意欲が失せます。

最後になりますが、年末から春先までは繁忙期の為なかなか参加できず残念に思っています。否定的な内容もありますが入会半年の私の会に対する感想です。

今以上に参加・貢献できるよう、また自己のスキル向上の為にも意欲的に関わっていきたいと思います。

地方選挙かく戦えり(統一地方選挙)

隠塚 功

パレスの皆さん、今回の選挙では本当にお世話になりました。ありがとうございました。皆さんの気持ちが大変嬉しく、パレスメンバーの一員であって良かったと強く感じています。

ところで、今回の選挙は、2期目が厳しいといわれるにもかかわらず、候補者が乱立するなど、私自身大変厳しい環境での挑戦となりました。しかし、選挙区内では「隠塚は大丈夫！」と言われ、なかなかムードを盛り上げることができなかったために、選挙前には焦りもありました。しかし、選挙本番に入ると、私の名前や声に反応して出てきてくれたり、手を振っていただける状況が多く見受けられ、前回までの選挙と雰囲気が違うことを実感でき、精神的には落ち着いた選挙ができました。

中でも印象深かったのは、畑の中から手を振ってくれたお爺さんがおられ、愛想かも知れないと思いながらも駆け寄ってみると、「わしは隠塚さんに決めてるんや！」と心強い返事が返ってくる場面もありましたし、一緒に活動していた学生に対して「任せられるのは隠塚さんしかおらん！」と声を掛けて励まして下さる事もありました。そのような言葉を掛けてくれた方々が普段から接点があるかと言えば全くそうではない方々であり、知らないところで多くの皆さんが私の広告塔となって、活動を理解してくれる人の輪を拓けてくれたのだと本当に心強く、嬉しく思えた瞬間でした。こうしたことが選挙戦後半は毎日見受けられ、気持ちの上でも「必ず勝てる！」と強く思えたことが精神的に落ち着いた選挙へつながったのでしょう。

選挙は水物とよく言われますが、現職議員にとっては4年間の活動に対する評価であることも事実です。選挙だけを意識した政治活動を行うつもりはありませんが、私の取り組みを市民の方により見えるようにする努力が必要であることは実感しました。そんな事も意識しながら、皆さんにお約束したマニフェストの実行に邁進し、皆さんの声をしっかり受けて活動できる議員として頑張ります。これからも宜しくお願いします！



お知らせ

4月役員会報告

承認事項

第1号議案・5月第二例会について。ゲストスピーカー 川端伸也氏(前札幌地方検察庁検事正) 謝礼は三万円。
なお、当初の予定であった5月第二例会のゲストスピーカー下坂ワイズのスピーチは5月第一例会に行う。

HA・HBは第二例会。

第2号議案・夜桜フェスタについて(4月22日)・福井ワイズに焼きそばをする事を了解済み。

チケットはクラブで一括購入し参加者に配る。

第3号議案・チャリティーランについて(5月20日)

各委員会へ選手を最低2名出してもらおうようお願いする。参加者のために弁当、飲み物を購入する。

第4号議案・CS, BF, TOF 拠出について

今期、期首予算より理事ゴール不足分83,640円を拠出。内訳 CS・0→ 88,200 1800×49。

BF 129,600→147,000 3000×49。TOF103,680→ 88,200 1800×49

第5号議案・ハワイIBC公式訪問の件。5月18日ハワイリージョン大会(フィル・サマー氏退任式あり)参加者を募
参加者が有る時、ミアゲ代予備費から拠出する。旅費補助無し。

報告確認事項

1. 韓国チェンムルポクラブ40周年記念例会訪問者 会長, 河合, 安達, 笹山, 小西, 川上メネット
2. 金沢クラブ60周年(5月26日)

HB

19日 宮本君 23日 大野君 24日 永井君

HA

3日 阿部君夫妻 14日 永井君夫妻 19日 大野君夫妻 26日 高谷君夫妻

5月の行事

2日 36期役員会

9日 第1例会

16日 37期準備役員会

18日 ハワイ公式訪問

20日 チャリティーラン

23日 第2例会

26日 金沢クラブ周年記念式訪問

27日 EMC特別企画行事

YMCA NEWS

1.定期会員総会のご案内

日時 5月26日(土) 午後6時30分～9時

場所 京都YMCA三条本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。

お問い合わせは 電話075-231-4388

2.障がいのある子ども達のための第3回京都 YMCA インターナショナルチャリティーラン

チャリティーランは、YMCA が提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時: 2007年5月20日(日) 午前9時～午後3時

会場: 鴨川公園 特設コース(京都 北大路大橋～出雲路橋間 1週1.7km)

競技内容:

レースは、タイム順位制及びタイム設定制により順位を決めていきます。

1.小学生による駅伝競技 (1チーム4名)

2. グループで走る(2～5名)でタイムレース タイムはレース後のゲームで決定

3. 一般駅伝(1チーム4名・中学生以上で駅伝方式の競技)

4. 個人駅伝(中学生以上)

(次ページへ続く)

1位、2位、3位には、表彰状・賞品を授与します。

その他、グループランではコスチュームやパフォーマンス等で優れたチームには特別賞があります。

※ご協賛のお願い チャリティーランの趣旨にご賛同いただき、ぜひご協力をお願い致します。

協賛金 個人一口 5,000円

企業・団体一口 10,000円

編集後記

華やかな彩り内容になった今月号に、微妙な明るい季節到来を感じ留めていただけたか否か・・・編集後記というものも、その時々のパレスの時代臭を残すようなコメントであるべきだと常々感じつつ、余すところラスト1号のみとなった。

(委員長・森田美都子)

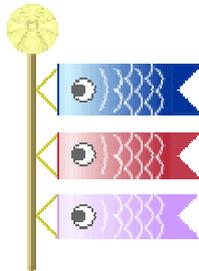
Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

Tel 075-257-6767

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会

委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直





THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

6

2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.6.1 発行
第 36 巻 第 12 号通巻 420 号
CHARTERED 1971

クラブ主題 「さらなるクラブ活性化のために」
国際会長主題 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
アジア会長主題 “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題 “One for all, all for one” 「ひとりはおみんなのために、みんなは一人のために」
京都部部長主題 「百花繚乱 一京都部一」

会 長 井上 彰
副会長 西川寿一
副会長 平井久夫
書 記 堤 雄次
書 記 平野雅幸
会 計 山本一博
会 計 小林千春

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

**強調月間
評価・計画**

聖句

愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、
愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。

ヨハネの手紙一 第4章7節

こんな委員会ありきの一年

36期広報委員長 森田美都子

思えば無謀な委員長人選に成り立った今期の広報委員会でした。だからよかったの委員会もありきの立証にもなりました。何もしませんでした、できません委員長でした。でも大きな功績はなくとも大きな叱責もなく滞りなく終える事ができたのは優秀なる広報委員4名と担当三役の皆様方の協力的強力頭脳集団のおかげ以外の何物でもありませんでした。この場をお借りして今期のチーム編成を与えて下さったパレスの皆様方にも御礼を申し上げます。

話は飛びますがかつて私が勤務していた外資系企業では「すばらしい働きだ、レコグナイズしよう！」とか「みんなでレコグニションをさしあげよう！」とかよく叫ばれ、それが一つのプライドであり励みとなって仕事に邁進しました。

Recognize (認める、賞賛する) recognition (承認、報酬、表彰、賞賛)

広報委員会のみならず全ての委員会、役員はこのレコグナイズされる事を暗黙の内に欲して活動を頑張っているのではないのでしょうか。つまり無視されない事、無反応でない事が重要なエネルギー源となるのです。



今期の広報委員会は多くの目標を掲げていましたが固執した点がありました。

“絶対に期限を守って第一例会までの発行とする”

“誰もがとっつきやすいブリテンにしよう”

「今期はすごいなー、毎回ちゃんと月初めにだしてるやん」「じゅず繋ぎ、今度誰が書くねん？楽しみにしてるでー」「なんで今更、小堀健介理論やねん？読んでるけどええ事や。」このパレス読者の数少ない反応を拾い集め、無視されていないゾ、レコグナイズされているゾと年間奮起する事ができたのです。「旦那の帰ってこない家庭は奥さんの手料理の味が落ちる」といわれています。

何事にも選らず無視、無反応、無関心は活動と云う料理の腕を低迷させ落ち込ませます。次期組閣に対してパレスはどんな活動に対しても常にレコグナイズを怠らない全ての面々が嬉々としたクラブであってほしいと願います。最後に、無能な名ばかりの委員長であった私に無事終了という小さな“レコグニション”を感じさせて頂いたパレスクラブに、今一度大きく感謝の意を表したいと思います。

例会出席		ニコニコ		BFポイント		ファンド	
5月第1例会	29名	5月第1例会	45,000円	切手	0 PT	5月	0円
5月第2例会	31名	5月第2例会	8,000円	累計	0円		
在籍者数	46名			現金	147,000 PT		
出席率	91.1%	累計	362,240円	累計	147,000円	累計	1,530,445円

2007 年度京都 YMCA 定期総会 今出川 YMCA 売却を決議

日時 5月26日

場所 三条本館

杉本泰造

例年通り、2007年度京都YMCA定期総会が、5月26日(土)に三条本館マナホールで6時30分から開会されました。総会には約50名の出席があり、現在の正会員は199名でありますので、例年に比べて出席率が良好であるのは、梅一輪ほどの喜びであります。

第一部は礼拝であり、柳井一朗牧師の奨励は「聖霊の働き」のメッセージで YMCA のエキュメニカルな団体としての活動を讃えられた。

総会の主たることは、事業報告・決算報告・事業計画・予算・常議員選出であります。大事なお金の決算報告では負債が増え続けて、ここ三期は連続赤字でありました。借入金も昨年より3000万程増えて、今37700万の借入金となっています。負債の増加を減らし、借入金を減らすことは愁眉の急であります。その為に京都YMCAは今出川のYMCAを売却する事を決断致しました。まことに残念なことでありますが、いかし方のない事と思はれ、誰も異議を問う事も無く、何か寂しい気が致しました。また今出川のYMCAを売却後の京都YMCAの進む道として、この度の公益財団法人の制度改革に伴い、これまでの一般財団法人から公益財団法人に進む事を決められました。公益財団法人になると個人・法人の寄付行為受け入れに税の優遇がとられるので、此れからの京都YMCAに新たなる活動が生まれてきます。公益財団法人の認定に向かって会員の強い結束が望まれます。

第二部はフェローシップアワーで、新正会員7名の紹介と、16名のユースボランティアの認定者が紹介され、若さ溢れる青年達に熱い拍手がありました。

で会も終わりに近づくと、自分にとっては夕餉の時はどうに過ぎ、酒肴の誘いも強くなって参ります。そうするとパレスのかぶと蟹さんと共々寺町の金扇に急ぎ食するが、美味なる鮪ねたとYY談議で酒量は増える一方……、明日は5時30分起きなのに……嗚呼。

5月第1例会(ゲストスピーカー・下坂大司君)(第863回)

日時 2007年5月9日

場所 京都ブライTONホテル

堤 雄二

ベ〜ンベ〜ンベ〜ンベ〜ン、ヨッ！ゲストの様でゲストでない、ベンベン、何をおっしゃるゲストです！ベンベン！それは誰かとたずねたら、下坂、下坂、下坂、ベ〜ンベ〜ン！座布団一枚！てなことで、5月第1例会のゲストスピーカーは、来期三役としての活躍も期待される、パレスで上り坂の下坂くんです。

今日の例会にも、若い(私より)ゲストの方もお見えになり、彼らが入会してくれると、平均年齢は若返り、クラブも活性して若返り、つられて年寄り(失礼)も若返り、と若返りトリオになると、いいジャン！ジャンジャン入ってチョウダイ！てなことで、本日のお題は、「インターネットで商売繁盛」ジャンジャン儲けてチョウダイ、近頃のインターネットの急発展には、付いていけない！なんて言ってちゃ時代の波に乗れずに溺れ死に、ここはひとつプロサーファーになってビッグウェーブにノリノリ、その秘訣は？インターネット検索時、常に1ページ目に乗ること(広告代を払わず)そのためには！そんなことこの紙面に書いたら、何十万といるパレスブリテン読者(万は削除)の知る所と成るので、例会に来た人だけのヒミツ！それと、参考資料の熱い胡椒は出来れば京都大阪神戸ぐらいでお願いします、高松はしまなみ街道でも行かん限り要が無い。



5月第2例会「ゲストスピーカー・川端伸也氏」(第864回)

日時 2007年5月23日

場所 京都ブライトンホテル

小林千春

まだ5月なのに夏日となった23日、36期最後の通常例会が行われました。ドライバー委員会の皆様、1年間ごろうさまでした。

開会点鐘、会長挨拶に続き、福井ワイズと山本一博ワイズに御見舞金の授与がなされました。お二人ともお元気そうで何よりです。

そして、最近では若干クオリティがアップしたような気がするブライトンホテル製の糧を食してしばし歓談。その後は川端伸也弁護士のゲストスピーチでした。

テーマは裁判員制度。この日の気温同様、ちょっとアツいテーマです。川端弁護士は、同志社大学を卒業後、検事として任官、司法研修所教官や最高検察庁検事等を歴任された後、盛岡・岡山・札幌各地方検察庁検事正の職務を全うされ退官、この5月には京都で弁護士登録をされました。

川端弁護士曰く、裁判員になることは怖くなんかない、みなさんの常識的感覚が大事だ、とのことでしたが、これは全くその通りで、例えば殺人事件なんかでは「容疑者は「殺すつもりはなかった」と述べています」と報道されたりしますが、刑事裁判では「はいそうですか、そしたら傷害致死ですね」なんてアッサリ刑罰が軽くなるハズもなく、その過程では「殺意の認定」がキチンと手法にのっとりなされます。

「殺意の認定」の手法がある、なんて聞いたらやはり尻込みしかねませんが、この中身を聞いたら「なんやそれ、当たり前やん」と思われるような内容でして、やはり大事なものは常識的感覚なのだと思います。

とはいえ、このへんは抽象論でして、実際に実施されてみないとどうなるのかわかりませんが、川端弁護士からは、裁判員の人選、対象事件、評議等についてもお話いただきました。杉本ワイズや永井ワイズはやる気マンマンでしたが、果たして念願叶って選任されるのでしょうか。

川端弁護士から、西村雅彦氏主演の裁判員制度DVDを寄贈いただきましたので、例会に欠席されたメンバーやドラマの続きが気になるメンバー諸氏は、DVDを管理されている井上会長までおっしゃって下さい。

例会終了後、ムーンシャイナーにて川端弁護士を囲んでの2次会。ウラ話を聞けたりして、こちらもアツい2次会となりました。



チャリティーラン 2007

日時 5月20日(日曜日)

場所 加茂川公園

小櫻武彦

5月と言ふのに肌寒い20日の早朝、京都市北区の鴨川公園に心熱き400名近い老若男女が集い京都YMCA、ワイズメンズクラブ国際協会京都部等主催の第3回インターナショナルチャリティーランが開催された。走ることで障害児の支援をしようと20年前から全国で行われているが京都では2年前から行われてきた。2005年の第1回には提唱者のチャックウイilsonも来たが今回は姿が見えないのはちょっと残念…。

オープニングセレモニーではYMCAの神崎総主事の挨拶のあと佛教大学の吹奏楽団の演奏、ノートルダム女子大学アミーガスのチアダンス等があり、10時から一周1,7Kmの距離を2周単独で走る一般個人の部がスタートを切った、パレスからは次期交流委員長の笹山直世君が単独出走。グループランではパレスから2グループが(株)大野提供の浴衣姿に丁髷や麦藁帽姿で出走した。最後の駅伝にも1チームを結成して力走… 上位入賞には賞品がそれぞれ用意されていたが結局パレスはグループランで待チーム？のコスチューム賞を得てそれなりの賞品を獲得した、山岸Yサ副委員長のアイデアが良かったのか役者がよかったのか…(両方です)

盲導犬の紹介と実演のあと例年通り各協賛企業や個人から提供された景品の抽選会が行われパレスクラブでも抽選券を購入に協力して発表を期待、当選した賞品はパレスのファンドオークションに提供された。

序盤は小雨もパラつく曇り日であったが最後のフラダンスも盛り上がり空も晴れあがって楽しいチャリティーランの一日であった。パレスからの参加者は井上会長以下荒川、岡見、小西、笹山、為國、平井、山岸、小櫻、小櫻コメ、協賛金や賞品で協力されたパレス関係の個人・企業等は京都パレス・井上彰・平井久夫・宮本(株)・大野(株)・(株)萬誠社・為國印刷(株)・(株)京阪エンジニアリング・西川(株)・杉本吉(株)・京都ブライトンホテル(以上敬称略)であった。



第 71 回ハワイ・リージョン・コンベンション

場所 米国・ハワイ
井上 均

第 71 回ハワイ リージョン コンベンションに川上ご夫婦と参加して来ました。

5 月 17 日 (木) 午後 9 時関空より一路ホノルル空港へ、17 日早朝ホノルルに到着。

まずはホテルに荷物を置きレンタカーを借りて今日の夜の為にアラモアナショッピングセンターへ買い物に出発。

今日の夜は日本文化センターにてエンドウメントファンドディナーが開催され日本からも多くのメンバー、メネットが参加されていた。参加クラブ紹介がされセントラルクラブのブラザークラブ「京都パレスクラブ」と紹介された。

18 日 (金) 朝からチャイナタウンウオーキング、セントラルクラブとヌアヌクラブのメンバーの車に乗ってチャイナタウンを散策。安くて新鮮な野菜、フルーツ、が山盛り積まれ、魚介類も所狭しと並べられ朝から活気がある。昼食後ホテルに戻りレンタカーで全米でも海がきれいである有名なカイルア方面へ美しい海岸線を走り観光とショッピング。ホテルに戻り登録を済ませ私と家内はファーストビジネスセッションに出席、その夜は皆それぞれに着替えウエルカムディナー。

19 日 (土) 早朝からKCC (カピオラニ・コミュニティ・カレッジ) のファーマーズマーケットに出かけ、地元の野菜、フルーツ、ジャム、食べ物屋さんのテントを回る。その後セカンドビジネスセッションは休み、4 人でショッピングと観光に出かけた。

この日の夜はコンベンション最後でインストレーションディナー、次期役員が順番に舞台に紹介され舞台に上がる時、川上君が舞台に上がって行った。後で聞くと君も次期会長だから舞台に上がれと誘われたらしい。

20 日 (日) ブランチの後閉会。川上ご夫婦はセントラルクラブメンバーに観光へ連れて行ってもらった(後で聞くと昨日と同じカイルア方面へ行ったらしい)。

その日の夜カイククラブのインダさんの家でカイククラブとセントラルクラブのメンバー・ファミリーと私たち 4 人も参加してホームパーティーが開かれた。川上君は現地ですら買ったバンジョー(ギブソン)を弾き、セントラルクラブのフィル・サマーもウクレレを弾きメネット二人とメンバーもフラを踊り、全員で連想ゲームをやり楽しい夜は過ぎた。

21 日 (月) 川上君夫婦は最後の 1 日なのでフリータイム、夜はカリヒショッピングセンターのチャイニーズレストランでブラザークラブアッセンブリーに参加しセントラルクラブメンバーと楽しい一時を過ごした。

ハワイのメンバーに大変お世話になり、楽しいハワイリージョンコンベンションでした。



金沢クラブ創立60周年記念例会

日時 2007年5月26日
場所 金沢ニューグランドホテル
西川寿一

5月26日(土)季節はずれの黄砂の影響で春かすみの金沢で、金沢クラブ創立60周年記念例会が、森本西日本区理事を初め多くの西日本区役員、メン、メネット総勢80余名の参加者のもとで、金沢ニューグランドホテルに於いて盛大に開催された。1部は記念式典があり、草野金沢クラブ会長の挨拶は大阪クラブのスポンサーにより、日本区で5番目にチャーターしたクラブで60年前といえば昭和22年敗戦から僅か2年しか経っておらず、戦後の荒廃が収まりきっていない時代の設立であり、その歴史の深さに驚きを感じ、今日に至る道のりは決して平坦でなかった。最大30余名のメンバー数を保った頃もあったが今は10名という状態である。しかしメンバー数が少ない反面、地道にYMCAの支援と地域奉仕活動を行っているのが金沢クラブの大きな特徴である。60年を迎えた今、もう一度原点に戻ってメン、メネットの親睦の中で培ったクラブのエネルギーを新しいメンバーの獲得に傾注し更に発展に向けて邁進すべく心を新たにしていると力強い言葉で締めくくられた。



その後来賓の祝辞があつて2部の記念講演に移った。記念講演は金沢能楽美術館館長藤島秀隆氏の「金沢の能楽の歴史」という演題で、加賀藩の能楽について話され、加賀藩前田利家は茶道に通じ、和歌、書道に巧みであったと同時に太閤秀吉の影響を受けて能楽の愛好者となった事で、加賀地方に能楽が盛んになった事など約1時間お話をされた。

3部は横笛奏者の藤舎真衣さんの演奏があつた。真衣さんは横笛奏者として大変有名な方で、若くて大変美しい方で、音色も大変すばらしかった。4部は祝宴に入り、出席されたメンバー全員が交代で舞台上上がり一言づつ挨拶をし、和やかな雰囲気の中で宴もたけなわに入り最後に澁谷ワイズのお礼の言葉があり、午後6時お開きとなった。参加者 川上、西川

EMC特別企画・比叡山の旅

日時 2007年5月27日
場所 比叡山
杉井恭敏

五月晴れの27日の日曜日、委員会最後のプログラムであるレクリエーションが副会長西川ワイズの提案で比叡山のガーデンミュージアム比叡とロテルド比叡を舞台に行われました。この日はあいにく黄砂の影響で頂上からの見晴らしはいまいちでしたが、ここ「ガーデンミュージアム比叡」はフランス印象派画家たちの作品をモチーフにした庭園美術館です。季節の花々やハーブが咲き匂う庭園にはモネ、ルノワール、ゴッホなどの絵画を陶板で再現して展示されています。「香りの庭」では畑状に植えられたラベンダー、ローズマリーなどの香りを楽しみ、「睡蓮の庭」はモネの自宅の庭をモチーフにした日本風庭園、睡蓮が咲き、藤のからまる太鼓橋から見る景色は心休まるひとときでした。



昼食は「ロテルド比叡」でフランス料理をいただきました。その繊細な味は日ごろなかなか味わえないものでした。なかでも鯛のトマトソースかけは特別でした。1時30分現地解散。今回の企画には川勝副委員長、荒川ワイズには何かと大変お世話になりました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



尚、出席者頂いた方は永井ご夫妻、西川ご夫妻、平井ご夫妻、平野ご夫妻、安岡ご夫妻、井上会長、西中君、谷口君、山本好一君、荒川君、川勝君、杉井の17名でした。

(次ページへ続く)



これぞ私のおススメ！ じゅず繋ぎシリーズ

漆 JAPAN

隠塚 文香

漆器は英語で Japan というのだそうです。ご存知ですか？

趣味と言えるほどのものではないのですが、4 年前から漆芸を習い始めました。最初は、私なんか出来るのかなあ・・・と、恐る恐る始めたのですが、今ではその奥深さに魅入られています。今は、麻布を張り合わせて形づくりのお抹茶茶碗を作成中です。1 回 1 回漆を塗っては乾かし研ぎ磨きを繰り返し、何十にもわたる行程を経て漸く完成に辿りつきます。このお茶碗でお茶を飲めるのは、いつになることやら……。漆にかぶれ、痒さに耐えながらの格闘中です。

塗りは、最初の型の作り方、磨き方で少しでも手を抜くと、後でごまかすことは出来ません。例えば、今作成中のお茶碗は糊漆で麻布を7枚貼り合せて型を作るのですが、その過程で少しでも空気が入ったり、漆が厚くなりすぎると、最終的には割れやすくなったり、ひずみが出来たりします。最初の基礎固めから、一つ一つの行程をきちんとしなければ、いいものは出来ないとされます。

また漆自体は大変貴重で、日本には漆の樹液の取れる木はほとんど無くその大半は中国からの輸入でまかっています。また、漆を塗る刷毛は、海女さんの髪の毛で作られ、蒔絵用の筆は、船底に生息するハコねずみのわき腹の毛を使ってきたそうです。漆器は Japan といわれるほど日本の代表的なものでありながら、今では、継承する人が少ないだけでなく、材料や道具も今では大変貴重なものばかりです。貴重な材料や道具を目の当たりにすると、自ずと物を大切に作る心も生まれてきます。

漆芸を通じ、様々な材料を大切にし、道具に手をかけ、一つ一つの緻密な作業を、時間をかけ、じっくりと取組んでいく。正に日本の心を学んでいるような気がします。

先生の数々の作品を見ては、あれもこれも創ってみたいと夢は果てしなく膨らんでいくばかりですが、千里の道も一歩から。あせらず気長に楽しんでいきたいと思っています。



「載ったよ」・・・なんちゅうやっちゃ

平井千香子

先だって、広報委員長からメールと電話が有り、連絡をくれとの事。何かしらと思い電話をすると、「今期のブリテンはみんなに書いて貰っているから、残りはあなた一人なの、書いて頂戴。」と。「何でも思い通りになると思ったらダメよ。」と、言いながらも乗ってしまっている私。

これと言って何も無いんだけど、最近私って本当に仕事が好きなんだなと気づき感動しています。三年後に向けて、また仕事に投資をしてしまったし……。わざわざ、しんどい思いをしに行っているけれど、仕事が楽しくて仕方がない。今の私には一番が仕事で、二番がお酒と男？三番がパレスにしとこうかな……。



お知らせ

5月役員会報告

承認事項

第1号議案 6月第二例会(引継ぎ例会)について。例会時間(19:00～21:30)を承認。内容は三役に一任。

第2号議案 丹羽君退会について。3月末での退会を承認。

第3号議案 EMCレクリエーション(5月27日)について。参加者一人当たり3000円をクラブより補助することを承認。

第4号議案 東日本区大会(6月2日～3日)について。参加者1名あたり15000円を補助、合計75000円を上限とする。申し込みは個人で行い、交通手配は交流委員会で行う。

第5号議案 弔慰金の件。別所ワイズご尊父様逝去に際しての弔慰金一万円を承認。

報告確認事項

1. ハワイIBC訪問の件(5月18日) 参加者(井上均、川上)、お土産代1万円。
2. チャリティーラン(5月20日) Yサ委員長より再度各委員長に参加要請を行う。
3. 金沢クラブ60周年(5月26日) 参加者(西川、川上)の見込み。
4. 下半期事業報告書について 近日中にフォーマットを配布、5月23日を締め切りとする。

HB 13日 平井久夫君

HA 19日 山本好一君御夫妻

6月の行事

2日 東日本区大会(伊東市)

6日 36期・37期合同役員会

9日 第1例会(西日本区大会・振替例会)(大阪市)

27日 第2例会(引継ぎ例会)

YMCA NEWS

YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ

会員 6月12日(火)～13日(水) 受付時間 午前10時～午後7時

会員・一般 6月14日(木)～ 受付時間 午前10時～午後7時

電話 (075)231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月12日(火)～13日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。 FAX (075)251-0970 / Eメール camp@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月15日(金) 午前10時～

会員・一般 6月15日(金) 午後2時～

電話 075-255-4709(お問い合わせも左記電話まで)

京都YMCAリトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしくお願いたします。

実施日 2007年6月24日(日) 集合 午前9時30分 解散 午後3時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問い合わせ 京都YMCAリトリートセンター事務局 中村 電話(075)231-4388

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

京都YMCAサバエ教育キャンプ場設営ワークご協力のお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし、成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様のお支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2007年7月1日(日)、7月8日(日)

集合 午前9時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市)

解散 午後3時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市)

※ 昼食をYMCAで用意させていただきます。

※ まもなく詳しい案内を各クラブにお配りします。恐れ入りますが、ご参加いただく人数を6月18 日(月)までにYMCAサバエキャンプ場 担当 松本までにお知らせください。

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

編集後記特集

河合信也

今期、私にとっては久々の広報委員会への配属でした。確か前回は8年前、まだブリテン委員会という名称であった頃で、原稿用紙に字数を合わせて書き換えたり、写真にトレペーを貼付け型取りしたりと、何やら忙しかった記憶が残っております。それが今や名称が変わっただけではなく内容も一変、パソコンとデジカメが必需品で、全てメンバーの手作り、原稿チェックもメールで出来、何とも楽チンになったものです。なんて事言うと、手作りしてくれてる若いメンバーに怒られそうですが、その楽させて頂いた分で、委員会探訪やら寄稿での協力が少しは出来たのかもと思っています。以前は作業に追われた委員会も、そのお陰で西中シェフの美味しい手料理を賞味出来るグルメ委員会へと変貌、私にとっては、大いに食べ、大いに楽しませて頂いた素晴らしい1年でありました。感謝！

西中日向

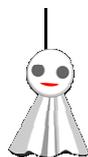
36期広報委員長森田ワイズのすばらしいリーダーシップにより(広報委員もベテラン、三役さんもいたれりつくせり)一年間を終える事が出来た。時代の流れでパソコンになり、写真もデジタルカメラになって何も協力出来なかったのが残念であった。でも楽しい委員会であった。一年間ありがとう御座いました。

西枝 攻

今期広報委員会は完全グルメ委員会と化しました。毎月月末西中シェフの手作り料理を楽しませてもらうことが出来ました。委員会らしいのは最初の5分、直ちに飲み食いしながら、次月号の編集作業の分担と、次々月号の執筆の打ち合わせでした。あとは怖い委員長が、執筆者への脅迫的原稿依頼と回収。おかげで毎月第1例会には、その月のブリテンを発行することができました。私はパソコンの貼り付け作業に勤しんで、一年間楽しませてもらいました。ありがとう。

安達雅直

36期広報委員会に配属され、大変貴重な体験をさせていただきました。委員会は最初の5分ほどで終了。あまりの仕事の速さについていけず、気付けば食事をしているという始末でした。肝心のブリテンの編集についてですが、担当三役の方々には色々と助けて頂き、ご迷惑をお掛けしながらも勉強させていただきました。編集の腕はまだまだですが、皆様のご助言のおかげで、良い広報誌を作れたと思います。また、今期は森田委員長を始め委員会の方々と非常に楽しい一年を過ごさせていただきました。そして、一年を通して美味しい食事を作って頂いた西中シェフには心より感謝しています。一年間ありがとうございました。



(編集後記特集は次ページへ続く)

担当三役 山本一博

誰も受け手の無かった広報委員長。男に勝る俠気にて引き受けて頂いたからには、PC が出来ないから広報は無理だ・・・なんていう逃げ口上が無意味であると証明しなければならない。そう思って担当三役としては必死の覚悟をしていたのだけれど、全くの杞憂であり私は委員会で楽しく飲み食いさせて貰っただけだった。野球を知らなくても球団経営は出来る。生産設備を持たないメーカーでも上場出来る。そういうのと同じ事じゃないだろうか。優秀なリーダーと団結心を保てるメンバーがいれば大抵のことは出来ると証明した委員会だったし、そこに関わった事に心から感謝している。

担当三役 平野 雅幸

今年の広報委員会には大きく二つの点で感心させられました。(モリリン委員長へのヨイショ抜きで)
納期を守るということ、メンバー全員が原稿を執筆したということです。はた目から見るととても簡単なことのように思えますが、発刊の遅れは原稿提出の遅れのせいに責任転嫁しやすく、また原稿依頼にしても、書いてくれやすいメンバーに偏りがちです。安易な方へ流れることなくブリテン発刊がきちり行われたのは、委員長のリーダーシップとそれに呼応した委員の面々の努力の賜物だと思います。担当三役として全く心配のない委員会でした。安心して西中ワイズの料理に舌鼓を打つことができました。あ、そう書くとほんと自分が役に立ってないように思えますね。なんせ三役よりもクラブ事情に詳しい面々でしたから。ホントに素晴らしい委員会でした。

一年間お疲れさまでした。

そして読者の皆様、ご愛読ありがとうございました。

2007年6月7日 平野雅幸 一年間の感謝を込めて。出張先の名古屋より。

第36期広報委員会

Mail pr@kyoto-palace.com

Fax 075-257-6566

Tel 075-257-6767

京都パレスワイズメンズクラブ第36期 広報委員会

委員長 森田美都子 / 副委員長 河合信也 / 委員 西中日向・西枝 攻・安達雅直

